

愛媛県感染症発生動向調査事業報告書

平成 16 年(2004 年)

愛媛県感染症情報センター
(愛媛県立衛生環境研究所)

は じ め に

平成 16 年愛媛県感染症発生動向調査事業を御報告申し上げます。

平素、当事業への御支援、御協力に感謝申し上げますとともに、御一読の上、御助言、御教示賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年目立った感染症として、これまで漸減傾向にあった腸管出血性大腸菌感染症及び感染性胃腸炎の大幅な増加と散発性も含め集団発生の多発が有りました。E 型肝炎でも認められた肉類等の生食の関与が冬期の貝類の生食ともどもリスク要因として認められ、広範な普及啓発が求められています。また、昨年始めて報告のあった日本紅斑熱、生態系が変化したのか県内に定着したようで注意を要します。

所で、今年西日本で発生した養鶏場での高病原性鳥インフルエンザ（H5N1）、リアルタイムで正に現在、国内では関東での弱毒株（H5N2）の侵入に留まっていますが、海外では東南アジアからロシアへと世界的に拡大しつつあり、パンデミックインフルエンザの発生危機の可能性も懸念されています。今後、その動向からは目を離せません。

終わりに、感染症発生動向の監視を目的とした当事業の重要性が益々増す中、迅速、正確、有効に機能し、更に、関係各位との密接な情報網が構築されますよう御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

平成 17 年 9 月

愛媛県立衛生環境研究所

所長 井上博雄

目 次

愛媛県感染症発生動向調査事業の概要	1
指定届出機関一覧	3
2004年(平成16年)感染症発生動向調査結果 - 患者情報 -	5
報告週対応表	
1 全数把握対象 ー 五類感染症	
(1) 一類感染症	5
(2) 二類感染症	5
(3) 三類感染症	5
(4) 四類感染症	7
(5) 五類感染症	8
表2-1-1 全数把握対象疾患発生状況(年推移)	11
表2-1-2 2004年全数把握対象疾患発生状況(月別)	12
表2-1-3 2004年全数把握対象疾患発生状況(保健所別)	13
表2-1-4 2004年全数把握対象疾患発生状況(年齢別)	14
2 定点把握対象 五類感染症	
(1) 定点把握対象疾患 発生動向の概況	16
表2-2-1 週報対象疾患 - 週別患者報告数	18
表2-2-2 週報対象疾患 - 週別定点当たり患者報告数	20
表2-2-3 週報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数	22
表2-2-4 月報対象疾患 - 月別患者報告数	23
表2-2-5 月報対象疾患 - 月別定点当たり報告数	24
表2-2-6 月報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数	25
(2) インフルエンザ定点対象疾患(週報)	26
(3) 小児科定点対象疾患(週報)	28
(4) 眼科定点対象疾患(週報)	54
(5) 基幹定点対象疾患(週報)	58
(6) STD定点対象疾患(月報)	64
(7) 基幹定点対象疾患(月報)	70

2004年(平成16年)感染症発生動向調査結果 - 病原体検査結果 -

1 細菌検査状況	73
(1) 全数把握対象感染症	73
細菌性赤痢	73
腸管出血性大腸菌	73
(2) 定点把握対象感染症	77
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	77
感染性胃腸炎	78
2 ウイルス検査状況	79
(1) 病原体定点種類別検体数	79
(2) 気道感染症等由来検体からの検出	81
(3) 感染性胃腸炎からの検出	88

2004年(平成16年)結核発生動向調査結果(速報値)

1 概況	91
2 新登録患者の状況	91
3 年末現在結核登録者の状況	93
表4-1 2004年新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、保健所別(速報値)	94
表4-2 2004年新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、性、年齢階級別(速報値)	94
表4-3 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別	95
表4-4 新登録結核患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別	95
表4-5 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別	95
表4-6 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別	95
表4-7 2004年新登録患者数 - 登録時結核病類、性、年齢階級別	96
表4-8 2004年新登録肺結核患者数 - 登録時職業、菌情報、保健所別	96
表4-9 2004年新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、発見方法別	97
表4-10 2004年新登録有症状肺結核患者数 - 登録時総合患者分類コード、発見の遅れの期間別	97
表4-11 2004年新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、化療内容、保健所別	98
表4-12 2004年年末現在登録者数 - 年末現在総合患者分類コード、保健所別	100
表4-13 2004年年末現在登録者数 - 年末現在総合患者分類コード、性、年齢階級別	100

資料

1 愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱	101
2 愛媛県感染症対策推進協議会設置要綱	122
3 愛媛県感染症発生動向調査病原体検査要領	124

愛媛県感染症発生動向調査事業の概要

愛媛県感染症発生動向調査事業の概要

本事業は、感染症の患者発生に関する情報（患者情報）と、感染症の病原体に関する情報（病原体情報）を迅速かつ的確に収集及び分析し、その結果を感染症情報として速やかに地域に公表することにより、感染症の予防、医療、研究等に役立て、有効かつ的確な感染症対策の確立に資することを目的とし、「愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱」（平成 13 年 1 月施行）に基づき、実施している。

対象疾患は一類から五類感染症 86 疾患である。このうち一類から四類感染症 44 疾患と五類感染症 14 疾患の合計 58 疾患は全医療機関を対象とする全数把握感染症で、その他の五類感染症 28 疾患は指定届出機関（定点）が週単位あるいは月単位で報告する定点把握感染症である。

1 一類感染症(7 疾患)

エボラ出血熱，クリミア・コンゴ出血熱，重症急性呼吸器症候群（病原体が S A R S コロナウイルスであるものに限る），痘そう，ペスト，マールブルグ病，ラッサ熱

2 二類感染症(6 疾患)

コレラ，細菌性赤痢，腸チフス，パラチフス，ジフテリア，急性灰白髄炎

3 三類感染症(1 疾患)

腸管出血性大腸菌感染症

4 四類感染症(30 疾患)

E 型肝炎，ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む），A 型肝炎，エキノコックス症，黄熱，オウム病，回歸熱，Q 熱，狂犬病，高病原性鳥インフルエンザ，コクシジオイデス症，サル痘，腎症候性出血熱，炭疽，つつが虫病，デング熱，ニパウイルス感染症，日本紅斑熱，日本脳炎，ハンタウイルス肺症候群，B ウイルス病，ブルセラ症，発しんチフス，ボツリヌス症，マラリア，野兔病，ライム病，リッサウイルス感染症，レジオネラ症，レプトスピラ症

5 五類感染症(42 疾患)

(1) 全数把握の対象(14 疾患)

アメーバ赤痢，ウイルス性肝炎(E 型及び A 型肝炎を除く)，急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)，クリプトスポリジウム症，クロイツフェルト・ヤコブ病，劇症型溶血性レンサ球菌感染症，後天性免疫不全症候群，ジアルジア症，髄膜炎菌性髄膜炎，先天性風しん症候群，梅毒，破傷風，バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症，バンコマイシン耐性腸球菌感染症

(2) 定点把握の対象(28 疾患)

インフルエンザ定点の対象(1 疾患)

インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)

小児科定点の対象(13 疾患)

R S ウイルス感染症，咽頭結膜熱，A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎，感染性胃腸炎，水痘，手足口病，伝染性紅斑，突発性発しん，百日咳，風しん，ヘルパンギーナ，麻しん(成人麻しんを除く)，流行性耳下腺炎

眼科定点の対象(2 疾患)

急性出血性結膜炎，流行性角結膜炎

STD 定点の対象(4 疾患)

性器クラミジア感染症，性器ヘルペスウイルス感染症，尖圭コンジローマ，淋菌感染症

基幹定点の対象(8 疾患)

クラミジア肺炎(オウム病を除く)，細菌性髄膜炎(真菌性を含む)，無菌性髄膜炎，マイコプラズマ肺炎，成人麻しん，ペニシリン耐性肺炎球菌感染症，メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症，薬剤耐性緑膿菌感染症

なお、結核予防法の規定による届出等に基づく結核患者の情報についても同事業で扱っている。

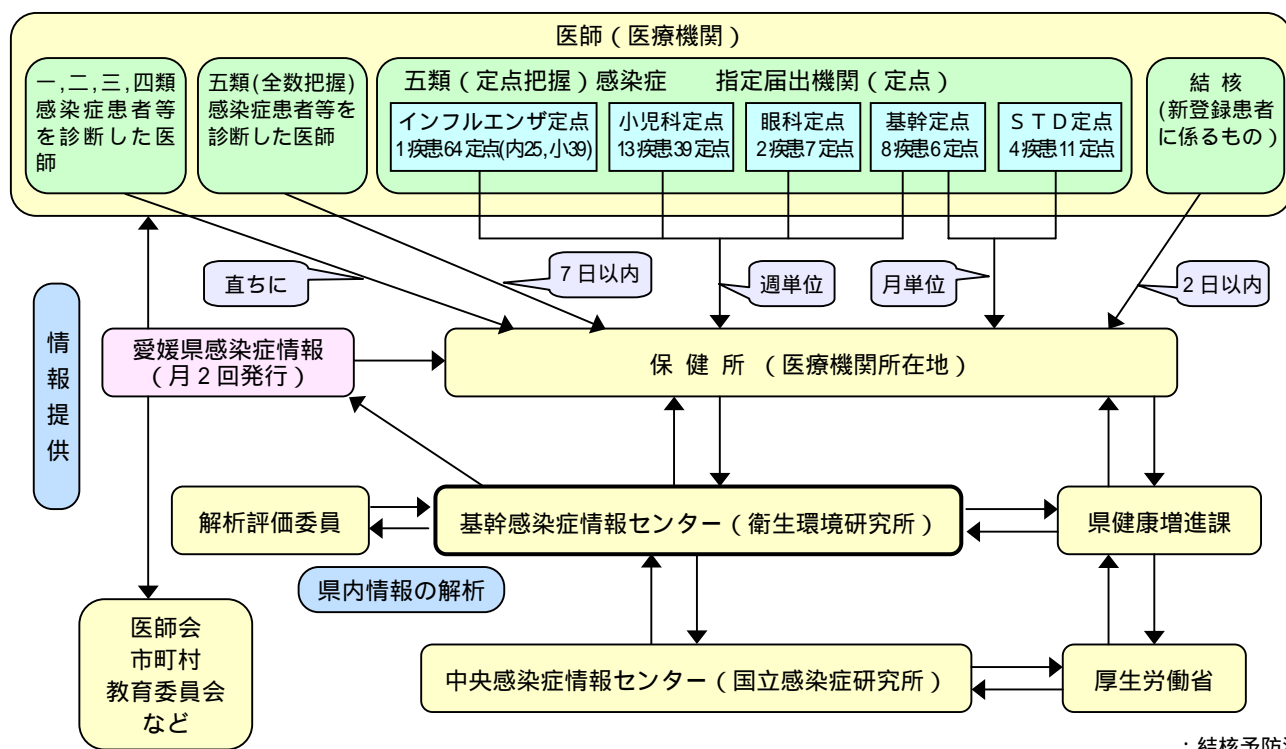
定点にはインフルエンザ定点（内科と小児科）、小児科定点、眼科定点、STD 定点（皮膚科、泌尿器科、婦人科）、基幹定点（内科と小児科を持つ 300 床以上の病院）の 5 種類あり、地域の流行状況について全体の傾向を可能な限り反映できるように、保健所ごとに設定されている。また、これらの定点の中から病原体定点を設定し、病原体の分離等の検査情報を収集している。

表 保健所別定点数

保健所	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹	病原体
四 国 中 央	5	3		1	1	2
新 居 浜	7	4	1	1	1	2
西 条 中 央	5	3		1		1
今 治 中 央	8	5	1	1	1	3
松 山 市	16	10	3	4		4
松 山 中 央	8	5	1	1	1	3
大 洲	3	2				1
八幡浜中央	5	3		1	1	2
宇和島中央	7	4	1	1	1	2
合 計	64	39	7	11	6	20

小児科定点はインフルエンザ定点を兼ねる。

医療機関からの患者情報は保健所を通じて愛媛県基幹感染症情報センター（衛生環境研究所）へ集約され、中央感染症情報センターへ報告するとともに関係機関へ週報単位で還元している。また月 2 回、解析評価委員による県内情報の解析・評価が行われ、その結果を「愛媛県感染症情報」として関係機関に提供している。これらの情報はホームページでも公開している。



：結核予防法

図 愛媛県における感染症発生動向調査事業のながれ

指定届出機関一覧(平成16年)

(平成16年末現在)

保健所	定点種別	医 療 機 関 名	所 在 地	病原体定点	備考
松山市	インフルエンザ	稲田内科消化器科医院	松山市		16年9月まで
		今村循環器科内科	松山市		16年10月から
		おおの内科消化器科医院	松山市		16年9月まで
		矢野内科	松山市		16年10月から
		冲永内科医院	松山市		
		重松内科胃腸科医院	松山市		
		久野内科	松山市		
		永山内科	松山市		
	小児科	石丸小児科医院	松山市		
		いとう小児科	松山市		
		加賀田小児科	松山市		
		平井こどもクリニック	松山市		
		河野小児科医院	松山市		
		児玉小児科医院	松山市		
		徳丸小児科医院	松山市		
		新野小児科	松山市		
		まつうら小児科	松山市		
		くす小児科	松山市		
		高岡眼科小児科医院	松山市		
	眼科	吉田眼科	松山市		
		一色眼科	松山市		
	STD	松山市赤十字病院(泌尿器科)	松山市		
		銚石医院	松山市		
		松山市民病院(産婦人科)	松山市		
		米本産婦人科医院	松山市		
四国中央	インフルエンザ	矢部内科	四国中央市		
		川関高橋医院	四国中央市		
	小児科	川上こどもクリニック	四国中央市		
		大坪小児科	四国中央市		
		鈴木医院	四国中央市		
	STD	大西泌尿器科クリニック	四国中央市		
	基幹定点	県立三島病院	四国中央市		
新居浜	インフルエンザ	発知医院	新居浜市		
		浜本内科	新居浜市		
		石川内科	新居浜市		16年6月まで
		中萩診療所	新居浜市		16年7月から
	小児科	山本小児科クリニック	新居浜市		
		マナベ小児科	新居浜市		
		しおだこどもクリニック	新居浜市		
		松浦小児科医院	新居浜市		
	眼科	鈴木眼科	新居浜市		
	STD	なめだ皮膚科医院	新居浜市		
	基幹定点	住友別子病院	新居浜市		
西条中央	インフルエンザ	医療法人土岐医院	西条市		
		福田医院	西条市		
	小児科	高橋こどもクリニック	西条市		
		医療法人ながい小児科	西条市		
		井上医院	西条市		
	STD	西条市立周桑病院	西条市		

(平成16年末現在)

保健所	定点種別	医 療 機 関 名	所 在 地	病原体定点	備考
今治中央	インフルエンザ	瀬戸内海病院	今治市		
		消化器科久保病院	今治市		
		重見内科医院	今治市		
	小児科	みぶ小児科	今治市		
		まつい小児科	今治市		
		今岡小児内科	今治市		16年3月まで
		済生会今治病院	今治市		16年4月から
		医療法人起生会 武田医院	今治市		16年3月まで
		あおい小児科	今治市		16年4月から
		喜多嶋診療所	越智郡		
	眼科	高木眼科病院	今治市		
	STD	今井皮膚泌尿器科医院	今治市		
	基幹定点	県立今治病院	今治市		
松山中央	インフルエンザ	医療法人かざはやクリニック	北条市		
		きむら内科クリニック	伊予市		
		みかわクリニック	上浮穴郡		
	小児科	檜垣小児科内科医院	北条市		
		久万高原町立病院	上浮穴郡		
		宇山小児科	伊予市		
		小泉小児科	伊予郡		16年4月まで
		むかいだ小児科	伊予郡		16年5月から
		いのうえ小児科	東温市		
	眼科	いずみだ眼科	東温市		
	STD	村上ひ尿器科皮ふ科	北条市		
	基幹定点	愛媛大学医学部附属病院	東温市		
大洲	インフルエンザ	市立大洲病院	大洲市		
	小児科	亀井小児科	大洲市		
		ごうお小児科医院	大洲市		
八幡浜中央	インフルエンザ	三瓶病院	西予市		
		西予市立野村病院	西予市		
	小児科	守口小児科医院	八幡浜市		
		芳我小児科	八幡浜市		
		山下小児科	西予市		
	STD	しまだ医院	八幡浜市		
	基幹定点	市立八幡浜総合病院	八幡浜市		
宇和島中央	インフルエンザ	田中循環器科内科医院	宇和島市		
		町立吉田総合病院	北宇和郡		
		粉川内科	南宇和郡		
	小児科	市立宇和島病院	宇和島市		
		石川医院	宇和島市		
		桑折小児科	宇和島市		
		県立南宇和病院	南宇和郡		
	眼科	阿部眼科	宇和島市		
	STD	秋山皮膚泌尿器科医院	宇和島市		
	基幹定点	市立宇和島病院	宇和島市		

2004 年（平成 16 年）感染症発生動向調査結果
- 患者情報 -

2004年(平成16年)感染症発生動向調査事業 報告週対応表

1月							
週	月	火	水	木	金	土	日
1				1	2	3	4
2	5	6	7	8	9	10	11
3	12	13	14	15	16	17	18
4	19	20	21	22	23	24	25
5	26	27	28	29	30	31	

7月							
週	月	火	水	木	金	土	日
27				1	2	3	4
28	5	6	7	8	9	10	11
29	12	13	14	15	16	17	18
30	19	20	21	22	23	24	25
31	26	27	28	29	30	31	

2月							
週	月	火	水	木	金	土	日
5							1
6	2	3	4	5	6	7	8
7	9	10	11	12	13	14	15
8	16	17	18	19	20	21	22
9	23	24	25	26	27	28	29

8月							
週	月	火	水	木	金	土	日
31							1
32	2	3	4	5	6	7	8
33	9	10	11	12	13	14	15
34	16	17	18	19	20	21	22
35	23	24	25	26	27	28	29
36	30	31					

3月							
週	月	火	水	木	金	土	日
10	1	2	3	4	5	6	7
11	8	9	10	11	12	13	14
12	15	16	17	18	19	20	21
13	22	23	24	25	26	27	28
14	29	30	31				

9月							
週	月	火	水	木	金	土	日
36			1	2	3	4	5
37	6	7	8	9	10	11	12
38	13	14	15	16	17	18	19
39	20	21	22	23	24	25	26
40	27	28	29	30			

4月							
週	月	火	水	木	金	土	日
14				1	2	3	4
15	5	6	7	8	9	10	11
16	12	13	14	15	16	17	18
17	19	20	21	22	23	24	25
18	26	27	28	29	30		

10月							
週	月	火	水	木	金	土	日
40					1	2	3
41	4	5	6	7	8	9	10
42	11	12	13	14	15	16	17
43	18	19	20	21	22	23	24
44	25	26	27	28	29	30	31

5月							
週	月	火	水	木	金	土	日
18						1	2
19	3	4	5	6	7	8	9
20	10	11	12	13	14	15	16
21	17	18	19	20	21	22	23
22	24	25	26	27	28	29	30
23	31						

11月							
週	月	火	水	木	金	土	日
45	1	2	3	4	5	6	7
46	8	9	10	11	12	13	14
47	15	16	17	18	19	20	21
48	22	23	24	25	26	27	28
49	29	30					

6月							
週	月	火	水	木	金	土	日
23		1	2	3	4	5	6
24	7	8	9	10	11	12	13
25	14	15	16	17	18	19	20
26	21	22	23	24	25	26	27
27	28	29	30				

12月							
週	月	火	水	木	金	土	日
49			1	2	3	4	5
50	6	7	8	9	10	11	12
51	13	14	15	16	17	18	19
52	20	21	22	23	24	25	26
53	27	28	29	30	31		

 「愛媛県感染症情報」 発行日

2004 年（平成 16 年）感染症発生動向調査結果 - 患者情報 -

1 全数把握対象 一～五類感染症

(1) 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

(2) 二類感染症

細菌性赤痢

細菌性赤痢は 3 人の届出があり、20 歳代女性、40 歳代男性、50 歳代男性各 1 人であった。推定感染地は海外 2 人（インドネシア、中国）、国内 1 人であった。分離された菌型は 3 人すべてフレキシネル型であった。

(3) 三類感染症

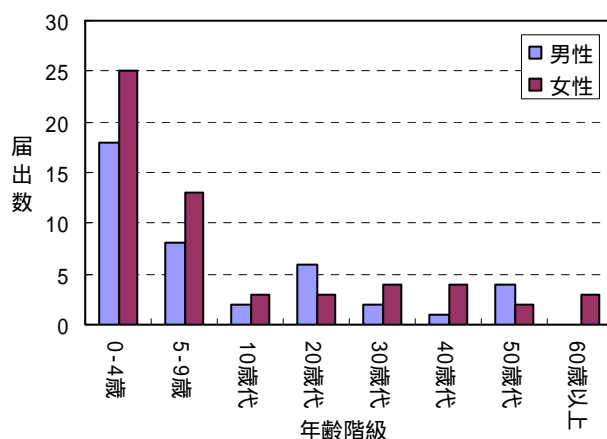
腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は 33 事例 98 人の届出があり、1999 年以降では最も多い届出数であった。性別は男性 41 人、女性 57 人で女性がやや多かった。年齢別では 0～4 歳が 43 人と最も多く、5～9 歳が 21 人、10 歳代 5 人、20 歳代 9 人、30 歳代 6 人、40 歳代 5 人、50 歳代 6 人、60 歳代 1 人、70 歳以上 2 人であり、10 歳未満が全体の 65.3%を占めた。

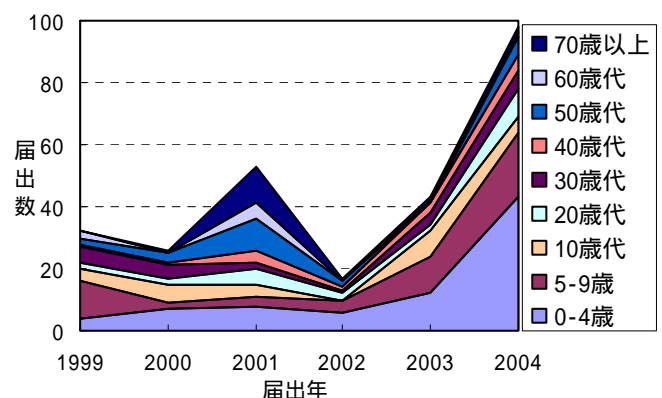
血清型（Vero 毒素型）は O26（VT1）が 59 人、O157 が 37 人（VT1・VT2 が 28 人、VT1 が 1 人、VT2 が 8 人）、O63（VT2）が 1 人、O111（VT1）が 1 人であった。2004 年は O26（VT1）による届出が急増し、全体の 60%を占めた。

月別に届出数の推移を見ると、5 月末に松山市の幼稚園（事例 3）、8 月中旬に西予市の保育所（事例 13）で、いずれも O26 による集団発生があったため、6 月及び 8 月に乳幼児を中心とした O26 の届出数が増加した。その後 10 月末～11 月にかけて、今治地区及び中予地区で O157（VT1・VT2）による散発あるいは家族内感染事例（事例 22～32）が多発したため、11 月に O157 の届出数が増加した。

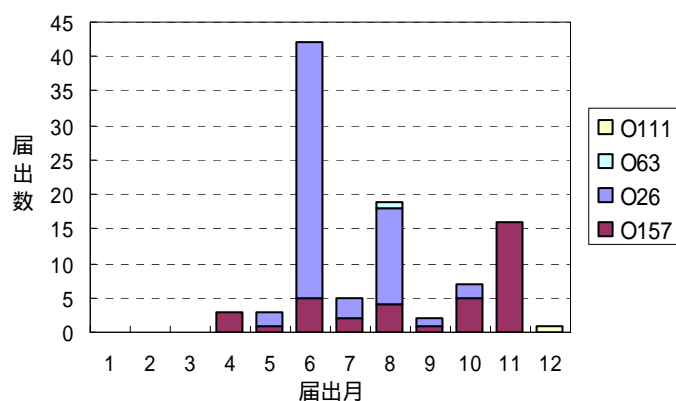
年齢階級・性別患者数(2004 年)



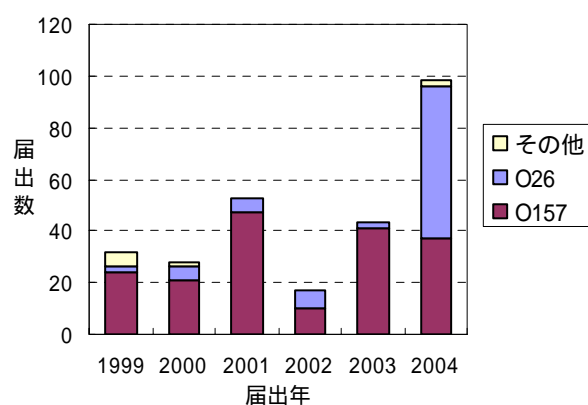
年齢階級別患者数（年推移）



月別・血清型別患者数(2004 年)



血清型別患者数(年推移)



腸管出血性大腸菌感染症 事例別一覧

事例番号	届出月日	発生地 (患者所在地)	血清型	ベロ毒素	患者・感染者数
1	4 月 5 日	松山市	O157	VT1・VT2	1
2	4 月 16 日 ~	今治市	O157	VT1・VT2	2
3	5 月 27 日 ~	松山市	O26	VT1	38
4	5 月 31 日	新居浜市	O157	VT1・VT2	1
5	6 月 9 日	温泉郡	O26	VT1	1
6	6 月 12 日	松山市	O157	VT1・VT2	1
7	6 月 21 日	越智郡	O157	VT2	1
8	6 月 24 日 ~	松山市	O157	VT1・VT2	3
9	7 月 1 日	西予市	O157	VT1・VT2	1
10	7 月 12 日 ~	松山市	O26	VT1	3
11	7 月 20 日	越智郡	O157	VT2	1
12	8 月 11 日	松山市	O157	VT1・VT2	1
13	8 月 11 日 ~	西予市	O26	VT1	15
14	8 月 13 日	高松市	O157	VT2	1
15	8 月 18 日	伊予市	O63	VT2	1
16	8 月 23 日	新居浜市	O157	VT1	1
17	8 月 27 日	越智郡	O157	VT1・VT2	1
18	9 月 10 日	松山市	O157	VT2	1
19	10 月 2 日 ~	松山市	O26	VT1	2
20	10 月 9 日	喜多郡	O157	VT2	1
21	10 月 16 日 ~	松山市	O157	VT2	3
22	10 月 22 日	今治市	O157	VT1・VT2	1
23	11 月 11 日 ~	越智郡	O157	VT1・VT2	2
24	11 月 13 日 ~	松山市	O157	VT1・VT2	2
25	11 月 16 日 ~	東温市	O157	VT1・VT2	2
26	11 月 16 日	伊予市	O157	VT1・VT2	1
27	11 月 16 日	松山市	O157	VT1・VT2	1
28	11 月 16 日	今治市	O157	VT1・VT2	1
29	11 月 18 日	松山市	O157	VT1・VT2	1
30	11 月 22 日	東温市	O157	VT1・VT2	1
31	11 月 22 日	松山市	O157	VT1・VT2	4
32	11 月 30 日	伊予市	O157	VT1・VT2	1
33	12 月 28 日	今治市	O111	VT1	1
計					98

(4) 四類感染症

E型肝炎

E型肝炎は2人の届出があった。1人はインドでの感染が推定される20歳代男性で、A型肝炎との重複感染であった。1人は国内での感染が推定される50歳代女性であった。国内感染例の多くはイノシシやシカ等の野生動物の生肉が原因と考えられており、本症例においてもイノシシ肉の摂食歴があった。

A型肝炎

A型肝炎は2人の届出があった。1人は上記のとおりインドでの感染が推定される20歳代男性で、E型肝炎との重複感染であった。また、国内での感染が推定される30歳代女性の届出が9月に1人あったが、感染経路は不明であった。2003年は18人の届出があったが、2004年は2001年と並んで最も少ない届出数であった。

オウム病

1999年以降、県内ではじめて1人の届出があった。患者は70歳代女性で、メジロを飼育中の感染が推定された。

日本紅斑熱

日本紅斑熱は5～11月の間に宇和島中央保健所管内から6人の届出があった。性別は男性1人、女性5人であり、年齢は30歳代1人、50歳代3人、60歳代1人、70歳代1人であった。いずれも国内での感染であり、すべてダニ（マダニ）による刺咬歴が確認された。媒介動物との接触場所は、みかん山4人、公園1人、不明1人であった。日本紅斑熱は2003年に県内で初めて2人の患者が確認されたが、2004年は6人に急増しており、今後の動向に注意が必要である。

マラリア

20歳代女性1人の届出があった。推定感染地域はインドネシアであり、三日熱マラリアが検出された。

レプトスピラ症

2003年11月の法改正で対象疾患となった後、県内ではじめて1人の届出があった。患者は60歳代男性で、水害の後片付け中の感染が推定された。

(5) 五類感染症

アメーバ赤痢

アメーバ赤痢は 3 人の届出があった。年齢及び性別は 20 歳代女性 1 人、30 歳代男性 1 人、30 歳代女性 1 人であった。推定される感染地域は、シンガポール 1 人、日本国内 1 人、不明 1 人であり、いずれも推定感染経路は不明であった。

ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）

ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）として 8 人の届出があり、B 型 6 人、C 型 1 人、その他（EB ウイルス）1 人であった。すべて国内での感染が推定された。

B 型肝炎は 20 歳代男性 2 人、20 歳代女性 1 人、30 歳代女性 1 人、40 歳代男性 1 人、50 歳代男性 1 人であり、推定される感染経路は異性間性的接触 2 人、不明 4 人であった。

C 型肝炎は 40 歳代女性 1 人で、推定される感染経路は不明であった。

EB ウイルスによる急性肝炎は 20 歳代女性で、推定される感染経路は異性間性的接触であった。

急性脳炎（ウエストナイル脳炎、日本脳炎を除く）

急性脳炎は 2 人の届出があり、1 歳女児 1 人、3 歳男児 1 人であった。いずれも病原体としてムンプスウイルスが検出された。

クロイツフェルト・ヤコブ病

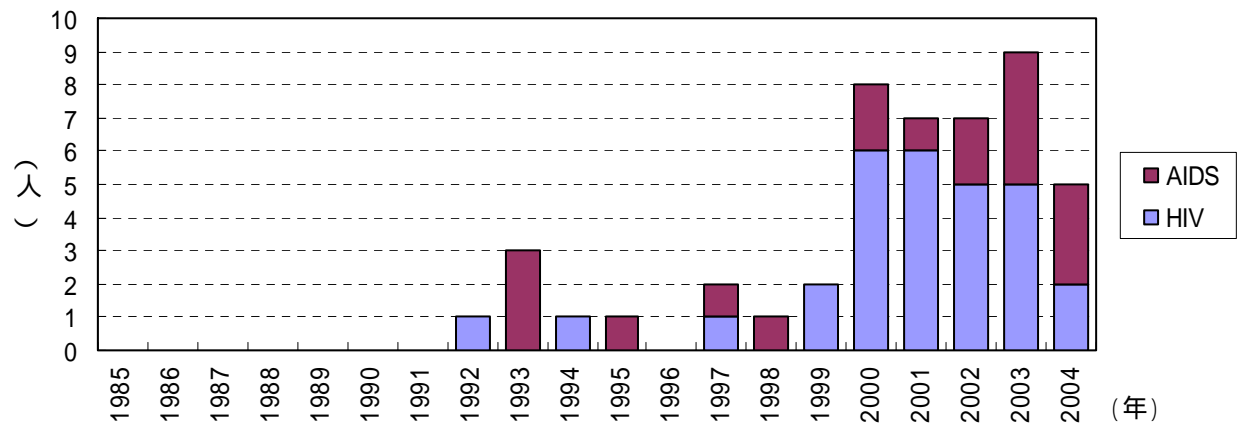
クロイツフェルト・ヤコブ病は 80 歳代女性 2 人の届出があった。いずれも弧発性クロイツフェルト・ヤコブ病で、ほぼ確実例 1 人、疑い例 1 人であった。

後天性免疫不全症候群

後天性免疫不全症候群は 5 人の届出があり、そのうち無症候性キャリア（HIV 感染者）2 人、AIDS 3 人であった。年代別の届出数（うち AIDS 数）は 20 歳代 2 (2)人、30 歳代 2 人、40 歳代 1 (1)人であり、性別はすべて男性であった。推定感染地域はいずれも日本国内であり、推定される感染経路はすべて性的接触（同性間 3 人、異性間 1 人、異性・同性間 1 人）であった。

県内の HIV 感染者及び AIDS 患者数の年次推移をみると、1992 年に HIV 感染者が届出されてから 1999 年までは毎年 1～2 人程度の届出数で推移していたが、2000 年以降は年間届出数 5 人以上と多い状態が続いている。1999 年 4 月 1 日以降感染症法に基づいて届出された 38 例の感染経路別内訳は、国内感染例 31 例のうち 22 例（71%）が男性の同性間性的接触（同性・異性間を含む）であり、全国的な傾向と同様、県内においても男性の同性間性的接触が主要な感染経路と考えられる。

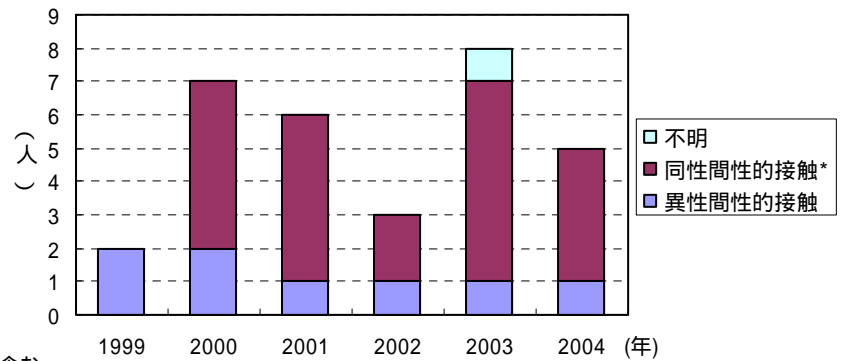
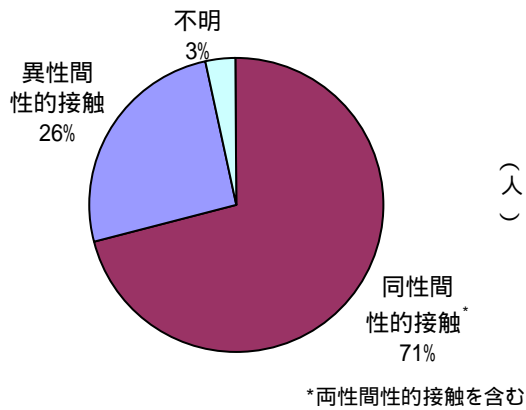
愛媛県における HIV 感染者及び AIDS 患者の年次推移



国内感染例の感染経路別内訳

(1999 年 4 月 1 日以降届出者)

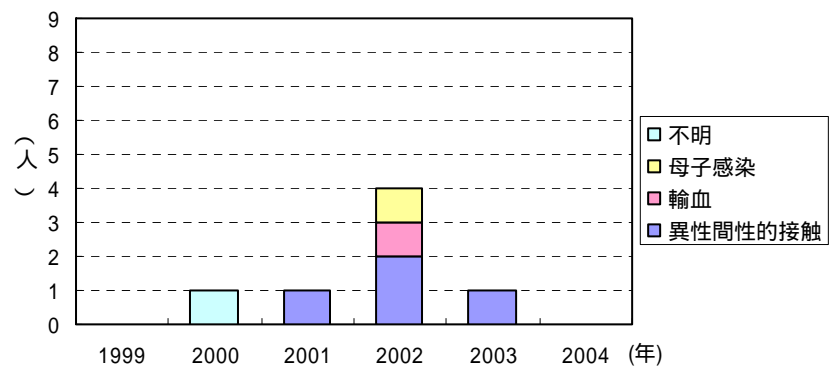
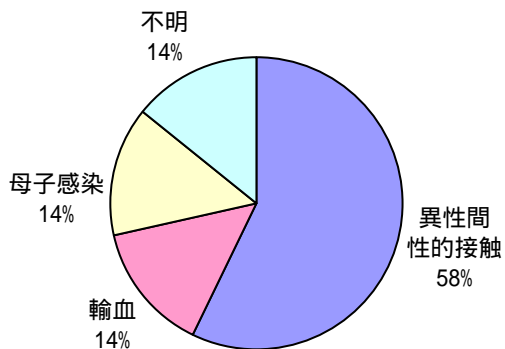
(年次推移)



国外感染例・不明例の感染経路別内訳

(1999 年 4 月 1 日以降届出者)

(年次推移)

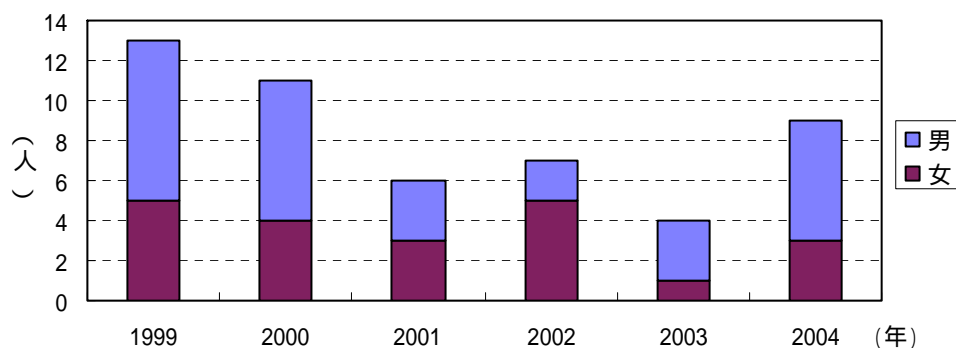


梅毒

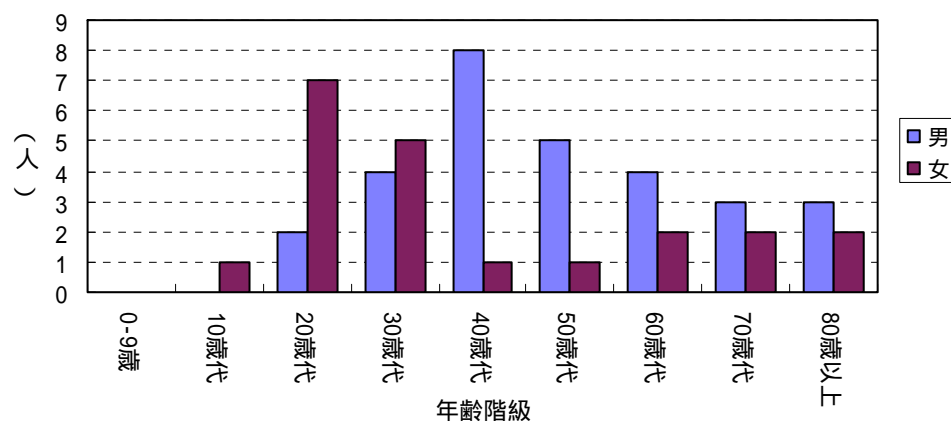
1999 年から 2003 年までは梅毒の届出数は概ね減少傾向にあったが、2004 年の届出数は 9 人と増加した。内訳は晩期顕症梅毒 2 人、早期顕症梅毒 3 人（期 2 人、期 1 人）、無症候梅毒 4 人であり、性別及び年齢は、20 歳代 3 人（男性 1 人、女性 2 人）、40 歳代 4 人（男性 3 人、女性 1 人）、50 歳代 2 人（男性 2 人）であった。推定される感染地域は日本国内 6 人、海外 1 人、不明 2 人であり、推定される感染経路は、異性間性的接触が 5 人、不明が 4 人であった。

1999 年 4 月 1 日以降感染症法に基づいて届出された 50 人（男性 29 人、女性 21 人）の年齢分布を男女別に比較すると、男性は 40 歳代を中心として 20 歳以上の幅広い年齢層に分布しているのに対し、女性では 20 歳～30 歳代の比較的若い世代が 57%（12/21）を占めているのが特徴である。

梅毒患者の年次推移



梅毒患者の年齢階級別届出数（1999 年 4 月 1 日以降届出者）



破傷風

50 歳代男性 1 人、60 歳代男性 1 人の合計 2 人の届出があった。両事例とも日本国内での感染であり、推定感染経路は外傷による創部からの感染が 1 例、不明が 1 例であった。

表 2-1-1 全数把握対象疾患発生状況(年推移)

感染症 類 型	疾病名	愛媛県						全国					
		2004	2003	2002	2001	2000	1999	2004	2003	2002	2001	2000	1999
一類	エボラ出血熱												
	クリミア・コンゴ出血熱												
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)*			-	-	-	-			-	-	-	-
	痘そう			-	-	-	-			-	-	-	-
	ペスト												
	マールブルグ病												
二類	ラッサ熱												
	急性灰白髄炎											1	
	コレラ							82	25	51	50	58	39
	細菌性赤痢	3	3	6	7	50	2	576	473	699	844	843	620
	ジフテリア											1	2
	腸チフス				2			66	62	63	65	86	72
三類	パラチフス							86	44	35	22	20	30
	腸管出血性大腸菌感染症	98	43	17	53	28	32	3,640	2,999	3,183	4,435	3,642	3,117
四類	E型肝炎	2	1					35	3	-	-	-	-
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)				-	-	-				-	-	-
	A型肝炎	2	18	7	2	12	3	136	13	-	-	-	-
	エキノコックス症							25	20	10	15	22	7
	黄熱												
	オウム病	1						39	44	54	35	18	23
	回歸熱												
	Q熱						5	7	9	47	42	24	12
	狂犬病												
	高病原性鳥インフルエンザ*			-	-	-	-			-	-	-	-
	コクシジオイデス症							6	1	3	2	1	
	サル痘*			-	-	-	-			-	-	-	-
	腎症候性出血熱												
	炭疽												
	つつが虫病					1		296	402	338	491	791	556
	デング熱							45	32	52	50	18	9
	ニパウイルス感染症*			-	-	-	-			-	-	-	-
	日本紅斑熱	6	2					67	52	36	40	38	39
	日本脳炎				1			5	1	8	5	7	5
	ハンタウイルス肺症候群												
	Bウイルス病												
	ブルセラ症									1			
	発疹チフス												
	ボツリヌス症												1
	マラリア	1	2	3				73	78	83	109	154	112
	野兔病*			-	-	-	-			-	-	-	-
	ライム病							4	5	15	15	12	14
	リッサウイルス感染症*			-	-	-	-			-	-	-	-
	レジオネラ症		1	1				162	146	167	86	154	56
	レプトスピラ症*	1		-	-	-	-	18	1	-	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	3	3		3	4	1	580	520	465	429	378	276
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	8	6	2	3	15	18	299	650	948	929	991	1,519
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎を除く)*	2		-	-	-	-	157	12	-	-	-	-
	クリプトスポリジウム症							91	8	109	11	3	4
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	2		3		1	167	118	147	133	108	92
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			3			1	53	53	92	47	47	22
	後天性免疫不全症候群	5	9	7	7	8	2	1,119	970	916	947	794	588
	ジアルジア症		1	1	1	1		85	103	113	137	98	42
	髄膜炎菌性髄膜炎							22	18	9	8	15	10
	先天性風しん症候群							10	1	1	1	1	
	梅毒	9	4	7	6	11	13	516	509	575	585	759	751
	破傷風	2	2	4	5	1	1	100	73	106	80	91	66
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症*			-	-	-	-			-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症							49	59	44	40	36	23
	計	145	97	58	93	131	79	8,616	7,504	8,370	9,653	9,211	8,107

注1: 1999年の報告数については4月から12月までの数値である。

注2: (*)の疾患については2003年11月5日からの数値である。

注3: 全国の2004年の報告数については概数である。

注4: 全国のウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)の報告数については、2003年11月5日以前はE型肝炎及びA型肝炎を含む。

表 2-1-2 2004年全数把握対象疾患発生状況(月別)

平成16年1月1日～平成16年12月31日

感染症類型	疾病名	月	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
一類	エボラ出血熱														
	クリミア・コンゴ出血熱														
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)														
	痘そう														
	ペスト														
	マールブルグ病														
	ラッサ熱														
二類	急性灰白髄炎														
	コレラ														
	細菌性赤痢	3						1			2				
	ジフテリア														
	腸チフス														
	パラチフス														
三類	腸管出血性大腸菌感染症	98					3	3	42	5	19	2	7	16	1
四類	E型肝炎	2		1						1					
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)														
	A型肝炎	2		1								1			
	エキノコックス症														
	黄熱														
	オウム病	1											1		
	回帰熱														
	Q熱														
	狂犬病														
	高病原性鳥インフルエンザ														
	コクシジオイデス症														
	サル痘														
	腎症候性出血熱														
	炭疽														
	つつが虫病														
	デング熱														
	ニバウイルス感染症														
	日本紅斑熱	6						1	1		1	1	1	1	
	日本脳炎														
	ハンタウイルス肺症候群														
	Bウイルス病														
	ブルセラ症														
	発疹チフス														
	ポツリヌス症														
	マラリア	1											1		
	野兔病														
	ライム病														
	リッサウイルス感染症														
	レジオネラ症														
	レプトスピラ症	1											1		
五類	アメルバ赤痢	3			1	1							1		
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	8			1			1	2	1			1	2	
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎を除く)	2						1	1						
	クリプトスポリジウム症														
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2											2		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症														
	後天性免疫不全症候群	5		1					1	1	1		1		
	ジアルジア症														
	髄膜炎菌性髄膜炎														
	先天性風疹症候群														
	梅毒	9		2			2		2			1	1	1	
	破傷風	2							1			1			
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症														
	計	145		5	2	6	7	7	50	8	23	6	17	20	1

表2-1-3 2004年全数把握対象疾患発生状況(保健所別)

平成16年1月1日～平成16年12月31日

感染症類型	保健所名	計	四 国 中 央	新 居 浜	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市	松 山 中 央	大 洲	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央
	疾病名										
一類	エボラ出血熱										
	クリミア・コンゴ出血熱										
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)										
	痘そう										
	ペスト										
	マールブルグ病										
	ラッサ熱										
二類	急性灰白髄炎										
	コレラ										
	細菌性赤痢	3			1		1	1			
	ジフテリア										
	腸チフス										
	パラチフス										
三類	腸管出血性大腸菌感染症	98		2		10	64	5	2	15	
四類	E型肝炎	2				1					1
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)										
	A型肝炎	2				2					
	エキノコックス症										
	黄熱										
	オウム病	1								1	
	回歸熱										
	Q熱										
	狂犬病										
	高病原性鳥インフルエンザ										
	コクシジオイデス症										
	サル痘										
	腎症候性出血熱										
	炭疽										
	つつが虫病										
	デング熱										
	ニバウイルス感染症										
	日本紅斑熱	6									6
	日本脳炎										
	ハンタウイルス肺症候群										
	Bウイルス病										
	ブルセラ症										
	発疹チフス										
	ボツリヌス症										
	マラリア	1							1		
	野兔病										
	ライム病										
	リッサウイルス感染症										
	レジオネラ症										
	レプトスピラ症	1							1		
五類	アメーバ赤痢	3				1	1		1		
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	8			3		2	1			2
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎を除く)	2					2				
	クリプトスポリジウム症										
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2					1	1			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										
	後天性免疫不全症候群	5			1		3	1			
	ジアルジア症										
	髄膜炎菌性髄膜炎										
	先天性風疹症候群										
	梅毒	9	2				5		1	1	
	破傷風	2				1	1				
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症										
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症										
	計	145	2	2	5	15	80	9	6	17	9

表 2-1-4 2004年全数把握対象疾患発生状況(年齢別)

平成16年1月1日～平成16年12月31日

感染症 類 型	年 齢 疾病名	計	0 歳 1 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70 4 9 14 19 24 29 34 39 44 49 54 59 64 69 歳 以上																
一類	エボラ出血熱																		
	クリミア・コンゴ出血熱																		
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)																		
	痘そう																		
	ベスト																		
	マールブルグ病																		
二類	ラッサ熱																		
	急性灰白髄炎																		
	コレラ																		
	細菌性赤痢	3							1			1		1					
	ジフテリア																		
	腸チフス																		
三類	パラチフス																		
	腸管出血性大腸菌感染症	98	4	39	21	4	1	6	3	2	4	1	4	3	3		1	2	
四類	E型肝炎	2							1					1					
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)																		
	A型肝炎	2							1		1								
	エキノкокクス症																		
	黄熱																		
	オウム病	1																	1
	回帰熱																		
	Q熱																		
	狂犬病																		
	高病原性鳥インフルエンザ																		
	コクシジオイデス症																		
	サル痘																		
	腎症候性出血熱																		
	炭疽																		
	つつが虫病																		
	デング熱																		
	ニパウイルス感染症																		
	日本紅斑熱	6									1			1	2		1	1	
	日本脳炎																		
	ハンタウイルス肺症候群																		
	Bウイルス病																		
	ブルセラ症																		
	発疹チフス																		
	ポツリヌス症																		
	マラリア	1						1											
	野兔病																		
	ライム病																		
	リッサウイルス感染症																		
	レジオネラ症																		
	レプトスピラ症	1														1			
五類	アメーバ赤痢	3						1		1	1								
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	8						4		1		1	1		1				
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎を除く)	2	2																
	クリプトスポリジウム症																		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2																	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症																		
	後天性免疫不全症候群	5							2	1	1	1							
	ジアルジア症																		
	髄膜炎菌性髄膜炎																		
	先天性風疹症候群																		
	梅毒	9						1	2			2	2	2					
	破傷風	2														1		1	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症																		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症																		
	計	145	4	41	21	4	1	13	10	5	8	6	7	8	7	1	3	6	

2 定点把握対象 五類感染症

(1) 定点把握対象疾患 発生動向の概況

2004 年(平成 16 年)における定点把握感染症の流行状況を、愛媛県内の流行規模で分類した。まず、週報対象疾患は以下のとおりであった。なお、(イ)はインフルエンザ定点、(小)は小児科定点、(眼)は眼科定点、(基)は基幹定点からの報告疾患であることを示す。

例年より大きな流行となった疾患

咽頭結膜熱(小)：報告数 773 人(定点当たり 19.8 人/年)で、過去 10 年間では 2003 年(946 人 定点当たり 24.3 人/年)に次ぐ流行規模であった。前年の流行が 1 月まで続いた後、3 月中旬に今季の増加が始まった。7 月中旬のピーク後 9 月上旬にはほぼ終息し、例年発生していた冬季の小流行はみられなかった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(小)：報告数 3,838 人(定点当たり 98.4 人/年)で、過去 10 年間で最も大きな流行規模となった。例年冬期と夏期に多発するが、2004 年は夏期に今治地区と松山地区で顕著な増加が見られた。

感染性胃腸炎(小)：報告数 18,991 人(定点当たり 487.0 人/年)で、過去 10 年間で最も大きな流行規模であった。1 月下旬にピークとなった患者数の減少幅が小さく、今治地区で 4 月下旬、中予で 7 月中旬まで患者数の多い状況が続いた。9 月下旬に再び増加に転じ、年末に冬季のピークを形成した。

急性出血性結膜炎(眼)：報告数 68 人(定点当たり 9.7 人/年)で、過去 10 年間では最も多かった。報告は 9 月下旬の宇和島地区にほぼ限定され、年齢は 10～40 歳代が中心であった。

例年並であるが 2003 年よりも増加した疾患

流行性耳下腺炎(小)：報告数 1,656 人(定点当たり 42.5 人/年)であり、非流行期であった 2003 年(467 人 定点当たり 12.0 人/年)に比べて増加した。本疾患は 3～4 年周期で流行しており、2001～2002 年の流行から 2 年を経過していることから、今後の動向に注意が必要である。

無菌性髄膜炎(基)：報告数 13 人(定点当たり 2.2 人/年)で、2003 年の 2 人(定点当たり 0.3 人/年)から増加した。

マイコプラズマ肺炎(基)：報告数 85 人(定点当たり 14.2 人/年)で、2003 年の 64 人(定点当たり 10.7 人/年)に比べてやや増加した。

ほぼ例年並の規模で推移した疾患

水痘(小)：報告数 3,982 人(定点当たり 102.1 人/年)で、例年とほぼ同程度の流行規模で推移した。

突発性発しん(小)：報告数 2,132 人(定点当たり 54.7 人/年)で、年間を通じほぼ一定の推移を示した。

ヘルパンギーナ(小)：報告数 2,477 人(定点当たり 63.5 人/年)で、2003 年(2,622 人 定点当たり 67.2 人/年)に比べ若干減少したが、流行のピークで比較すると、過去 10 年間では 2001 年に次いで大きなピークであった。流行時期は例年に比べて約 1 ヶ月早く、本県に特徴的であった。

流行性角結膜炎(眼)：報告数 729 人(定点当たり 104.1 人/年)であり、2003 年(1,053 人 定点当たり 150.4 人/年)よりも減少した。1995 年の流行以後は低いレベルの流行で推移している。

例年よりも小さな流行となった疾患

インフルエンザ(イ)：2003/2004 シーズンの報告数は 10,211 人(定点当たり 159.6 人/シーズン)であり、例年並の発生規模であった 2002/2003 シーズン(16,119 人 定点当たり 251.9 人/シーズン)の約 6 割の患者報告数にとどまった。

手足口病(小)：報告数 1,063 人(定点当たり 27.3 人/年)で、2003 年(3,892 人 定点当たり 99.8 人/年)よりも大幅に減少し、感染症法が施行された 1999 年以降では最も小さな流行規模であった。

非流行期にあたった疾患

伝染性紅斑(小)：過去 1992 年、1997 年、2001～2002 年と 4～5 年の周期で定点当たり 25 人/年を超す流行がみられている。2004 年は報告数 334 人(定点当たり 8.6 人/年)で、2003 年(157 人 定点当たり 4.0 人/年)に比べて倍増したが、引き続き非流行期にあたった。

報告が極めて少なかった疾患

百日咳(小)：報告数 4 人(定点当たり 0.1 人/年)で、過去 10 年間で最も少ない報告数であった。1995 年(定点当たり 5.4 人/年)の流行以降、報告数の少ない状況が続いている。

風しん(小)：報告数 6 人(定点当たり 0.2 人/年)であった。1995 年(定点当たり 41.7 人/年)の大流行以降県内で大きな流行はなく、報告数の少ない状況が続いている。

麻しん(小)：2004 年は報告がなかった。2002 年 10 月～2003 年 7 月に東予地区を中心とした麻しん(成人麻しん)の流行があったが、その後は新たな患者は報告されていない。

細菌性髄膜炎(基)：報告数 3 人(定点当たり 0.5 人/年)で、すべて 0 歳児であった。

クラミジア肺炎(基)：報告数 4 人(定点当たり 0.7 人/年)で、すべて 70 歳以上であった。

成人麻しん(基)：2004 年は報告がなかった。2002 年 10 月～2003 年 7 月に東予地区を中心とした成人麻しん(麻しん)の流行があったが、その後は新たな患者は報告されていない。

その他

RS ウイルス感染症(小)：報告数 116 人(定点当たり 3.0 人/年)で、1 歳以下が報告の 76%を占めた。本疾患は昨年 11 月から小児科定点の対象となり、年間を通じての調査は本年が初めてである。

STD 定点対象疾患(月報)では、性器ヘルペスウイルス感染症(71 人)、尖圭コンジローマ(74 人)は前年に比べて増加したが、性器クラミジア感染症(218 人)、淋菌感染症(135 人)は前年に比べて減少した。

また、基幹定点対象疾患(月報)では、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症(250 人)は前年とほぼ同じ報告数であったが、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症(7 人)、薬剤耐性緑膿菌感染症(3 人)は前年に比べて減少した。

表2-2-1 週報対象疾患 - 週別患者報告数

週	期 間	インフルエンザ 定点	小児科定点									
		インフル エンザ	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	風 し ん
1	12/29 ~ 1/4		2	25	16	293	131	6	4	22		
2	1/5 ~ 1/11	25	5	34	35	546	230	4	4	50		
3	1/12 ~ 1/18	105	3	18	56	628	137	1	5	40		
4	1/19 ~ 1/25	532	6	11	60	720	143	1	6	36		
5	1/26 ~ 2/1	1,592	12	6	74	681	111		8	40		
6	2/2 ~ 2/8	2,206	6	7	97	627	118		3	35		
7	2/9 ~ 2/15	2,051	4	7	57	486	96	1	6	36		
8	2/16 ~ 2/22	1,592	3	6	56	485	132		12	32		
9	2/23 ~ 2/29	964	1	6	69	473	113	3	10	41	1	
10	3/1 ~ 3/7	521	2	3	74	516	129		7	25		
11	3/8 ~ 3/14	345	11	24	76	521	85	3	6	48		
12	3/15 ~ 3/21	169	1	9	92	526	119	1	5	35		
13	3/22 ~ 3/28	62	6	8	100	458	153		9	32		
14	3/29 ~ 4/4	27	1	23	63	372	126		5	43		
15	4/5 ~ 4/11	1		17	53	351	149		13	40		
16	4/12 ~ 4/18	2		24	68	395	91		16	45		
17	4/19 ~ 4/25		1	17	57	342	110		14	50	1	
18	4/26 ~ 5/2		8	17	87	345	87		14	53		
19	5/3 ~ 5/9		1	8	61	239	78		8	22		
20	5/10 ~ 5/16			23	111	355	95	1	4	37		1
21	5/17 ~ 5/23			23	127	329	97	2	11	45		
22	5/24 ~ 5/30			27	136	379	76	10	11	25		
23	5/31 ~ 6/6		1	20	127	335	100	13	13	26		
24	6/7 ~ 6/13			13	147	327	81	23	5	28		3
25	6/14 ~ 6/20			15	156	302	74	23	15	41		
26	6/21 ~ 6/27			17	176	247	82	29	11	46		
27	6/28 ~ 7/4		1	30	157	206	71	20	22	45		
28	7/5 ~ 7/11		2	23	102	229	28	44	9	51		
29	7/12 ~ 7/18			53	103	230	46	65	5	45		
30	7/19 ~ 7/25			42	46	144	32	60	4	47		
31	7/26 ~ 8/1			48	30	125	25	76	2	46		
32	8/2 ~ 8/8			31	39	164	18	42	3	57		1
33	8/9 ~ 8/15			38	39	144	19	63		36		
34	8/16 ~ 8/22			22	24	166	17	43	1	42		
35	8/23 ~ 8/29			15	27	155	21	59		66		
36	8/30 ~ 9/5		2	11	23	131	21	65	7	42		
37	9/6 ~ 9/12			10	38	125	25	23	5	56		
38	9/13 ~ 9/19			7	41	167	26	38	3	51	1	
39	9/20 ~ 9/26				28	150	28	29	7	45		
40	9/27 ~ 10/3			5	35	164	18	39	5	51		
41	10/4 ~ 10/10			3	50	193	27	52	3	42		
42	10/11 ~ 10/17			2	34	177	21	45	2	25		
43	10/18 ~ 10/24				54	207	14	32	3	34		
44	10/25 ~ 10/31				63	223	38	19	3	38		
45	11/1 ~ 11/7		1		50	264	41	26	2	38	1	
46	11/8 ~ 11/14	2	3	1	63	260	45	15	6	46		
47	11/15 ~ 11/21		1		64	297	54	18	2	37		
48	11/22 ~ 11/28		1	3	65	405	52	19	3	27		
49	11/29 ~ 12/5	1		8	80	519	44	15	3	43		1
50	12/6 ~ 12/12	3	2	3	93	681	75	8	2	41		
51	12/13 ~ 12/19	3	11	2	101	797	54	13	1	38		
52	12/20 ~ 12/26	6	10	6	103	842	122	11	5	43		
53	12/27 ~ 1/2	7	8	2	55	548	57	3	1	27		
合計		10,216	116	773	3,838	18,991	3,982	1,063	334	2,132	4	6
男性		5,210	66	432	2,120	9,992	2,088	545	168	1,116	3	4
女性		5,006	50	341	1,718	8,999	1,894	518	166	1,016	1	2

(人)

[illegible]

表2-2-2 週報対象疾患 - 週別定点当たり患者報告数

週	期 間	インフルエンザ 定点	小児科定点								
		インフル エンザ	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	咽 頭 炎 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳
1	12/29 ~ 1/4		0.05	0.64	0.41	7.51	3.36	0.15	0.10	0.56	
2	1/5 ~ 1/11	0.39	0.13	0.87	0.90	14.00	5.90	0.10	0.10	1.28	
3	1/12 ~ 1/18	1.64	0.08	0.46	1.44	16.10	3.51	0.03	0.13	1.03	
4	1/19 ~ 1/25	8.31	0.15	0.28	1.54	18.46	3.67	0.03	0.15	0.92	
5	1/26 ~ 2/1	24.88	0.31	0.15	1.90	17.46	2.85		0.21	1.03	
6	2/2 ~ 2/8	34.47	0.15	0.18	2.49	16.08	3.03		0.08	0.90	
7	2/9 ~ 2/15	32.05	0.10	0.18	1.46	12.46	2.46	0.03	0.15	0.92	
8	2/16 ~ 2/22	24.88	0.08	0.15	1.44	12.44	3.38		0.31	0.82	
9	2/23 ~ 2/29	15.06	0.03	0.15	1.77	12.13	2.90	0.08	0.26	1.05	0.03
10	3/1 ~ 3/7	8.14	0.05	0.08	1.90	13.23	3.31		0.18	0.64	
11	3/8 ~ 3/14	5.39	0.28	0.62	1.95	13.36	2.18	0.08	0.15	1.23	
12	3/15 ~ 3/21	2.64	0.03	0.23	2.36	13.49	3.05	0.03	0.13	0.90	
13	3/22 ~ 3/28	0.97	0.15	0.21	2.56	11.74	3.92		0.23	0.82	
14	3/29 ~ 4/4	0.42	0.03	0.59	1.62	9.54	3.23		0.13	1.10	
15	4/5 ~ 4/11	0.02		0.44	1.36	9.00	3.82		0.33	1.03	
16	4/12 ~ 4/18	0.03		0.62	1.74	10.13	2.33		0.41	1.15	
17	4/19 ~ 4/25		0.03	0.44	1.46	8.77	2.82		0.36	1.28	0.03
18	4/26 ~ 5/2		0.21	0.44	2.23	8.85	2.23		0.36	1.36	
19	5/3 ~ 5/9		0.03	0.21	1.56	6.13	2.00		0.21	0.56	
20	5/10 ~ 5/16			0.59	2.85	9.10	2.44	0.03	0.10	0.95	
21	5/17 ~ 5/23			0.59	3.26	8.44	2.49	0.05	0.28	1.15	
22	5/24 ~ 5/30			0.69	3.49	9.72	1.95	0.26	0.28	0.64	
23	5/31 ~ 6/6		0.03	0.51	3.26	8.59	2.56	0.33	0.33	0.67	
24	6/7 ~ 6/13			0.33	3.77	8.38	2.08	0.59	0.13	0.72	
25	6/14 ~ 6/20			0.38	4.00	7.74	1.90	0.59	0.38	1.05	
26	6/21 ~ 6/27			0.44	4.51	6.33	2.10	0.74	0.28	1.18	
27	6/28 ~ 7/4		0.03	0.77	4.03	5.28	1.82	0.51	0.56	1.15	
28	7/5 ~ 7/11		0.05	0.59	2.62	5.87	0.72	1.13	0.23	1.31	
29	7/12 ~ 7/18			1.36	2.64	5.90	1.18	1.67	0.13	1.15	
30	7/19 ~ 7/25			1.08	1.18	3.69	0.82	1.54	0.10	1.21	
31	7/26 ~ 8/1			1.23	0.77	3.21	0.64	1.95	0.05	1.18	
32	8/2 ~ 8/8			0.79	1.00	4.21	0.46	1.08	0.08	1.46	
33	8/9 ~ 8/15			0.97	1.00	3.69	0.49	1.62		0.92	
34	8/16 ~ 8/22			0.56	0.62	4.26	0.44	1.10	0.03	1.08	
35	8/23 ~ 8/29			0.38	0.69	3.97	0.54	1.51		1.69	
36	8/30 ~ 9/5		0.05	0.28	0.59	3.36	0.54	1.67	0.18	1.08	
37	9/6 ~ 9/12			0.26	0.97	3.21	0.64	0.59	0.13	1.44	
38	9/13 ~ 9/19			0.18	1.05	4.28	0.67	0.97	0.08	1.31	0.03
39	9/20 ~ 9/26				0.72	3.85	0.72	0.74	0.18	1.15	
40	9/27 ~ 10/3			0.13	0.90	4.21	0.46	1.00	0.13	1.31	
41	10/4 ~ 10/10			0.08	1.28	4.95	0.69	1.33	0.08	1.08	
42	10/11 ~ 10/17			0.05	0.87	4.54	0.54	1.15	0.05	0.64	
43	10/18 ~ 10/24				1.38	5.31	0.36	0.82	0.08	0.87	
44	10/25 ~ 10/31				1.62	5.72	0.97	0.49	0.08	0.97	
45	11/1 ~ 11/7		0.03		1.28	6.77	1.05	0.67	0.05	0.97	0.03
46	11/8 ~ 11/14	0.03	0.08	0.03	1.62	6.67	1.15	0.38	0.15	1.18	
47	11/15 ~ 11/21		0.03		1.64	7.62	1.38	0.46	0.05	0.95	
48	11/22 ~ 11/28		0.03	0.08	1.67	10.38	1.33	0.49	0.08	0.69	
49	11/29 ~ 12/5	0.02		0.21	2.05	13.31	1.13	0.38	0.08	1.10	
50	12/6 ~ 12/12	0.05	0.05	0.08	2.38	17.46	1.92	0.21	0.05	1.05	
51	12/13 ~ 12/19	0.05	0.28	0.05	2.59	20.44	1.38	0.33	0.03	0.97	
52	12/20 ~ 12/26	0.09	0.26	0.15	2.64	21.59	3.13	0.28	0.13	1.10	
53	12/27 ~ 1/2	0.11	0.21	0.05	1.41	14.05	1.46	0.08	0.03	0.69	
合計		159.63	2.97	19.82	98.41	486.95	102.10	27.26	8.56	54.67	0.10
男性		81.41	1.69	11.08	54.36	256.21	53.54	13.97	4.31	28.62	0.08
女性		78.22	1.28	8.74	44.05	230.74	48.56	13.28	4.26	26.05	0.03

(人/定点当たり)

				眼科定点		基幹定点					定点数			
風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	成人麻しん	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
	0.08		0.08		0.29						64	39	7	6
	0.23		0.41		3.43			0.17			64	39	7	6
			0.23		1.71						64	39	7	6
	0.05		0.26		1.43			0.33			64	39	7	6
	0.10		0.23		2.71			0.17			64	39	7	6
	0.03		0.23	0.14	2.43						64	39	7	6
	0.03		0.41		1.14			0.50			64	39	7	6
			0.26	0.14	2.57			0.33			64	39	7	6
	0.03		0.67		3.14						64	39	7	6
			0.26		2.71			0.33			64	39	7	6
			0.23		1.29						64	39	7	6
	0.05		0.46		2.00			0.17			64	39	7	6
			0.36	0.29	1.86						64	39	7	6
	0.05		0.46		1.00			0.17			64	39	7	6
	0.08		0.67	0.14	2.29						64	39	7	6
	0.41		0.46		1.43			0.33			64	39	7	6
	0.44		0.62		1.29			0.17			64	39	7	6
	1.10		0.26		1.14			0.17			64	39	7	6
	0.46		0.21		0.43						64	39	7	6
0.03	2.33		0.56		2.29						64	39	7	6
	3.26		0.54	0.14	1.57			0.33			64	39	7	6
	5.33		0.62		1.57			0.33			64	39	7	6
	6.13		0.67	0.14	2.29		0.17	0.17			64	39	7	6
0.08	7.74		0.74		2.43						64	39	7	6
	6.13		1.05	0.14	1.57						64	39	7	6
	5.38		1.18		2.14			0.17			64	39	7	6
	5.21		1.18		1.86			0.17	0.17		64	39	7	6
	4.44		1.00		0.86			0.17	0.17		64	39	7	6
	3.26		1.26		1.86			0.33			64	39	7	6
	2.28		1.36		1.86			0.33	0.17		64	39	7	6
	1.56		1.46		3.29		0.17	0.17	0.17		64	39	7	6
0.03	1.36		1.05		3.14						64	39	7	6
	1.21		1.38	0.14	2.00		0.33				64	39	7	6
	0.77		0.85	0.43	4.57	0.17					64	39	7	6
	0.64		0.95	0.14	2.57		0.33	0.17			64	39	7	6
	0.82		1.18	0.14	3.29		0.17	0.33			64	39	7	6
	0.46		0.67	0.43	1.71		0.33	0.33			64	39	7	6
	0.33		1.10	2.43	2.71						64	39	7	6
	0.41		1.21	3.57	2.00			0.17			64	39	7	6
	0.36		1.00	1.29	4.43		0.17	0.67			64	39	7	6
	0.26		1.10		2.71			0.67			64	39	7	6
	0.18		1.15		2.29		0.33	1.33			64	39	7	6
	0.10		1.23		1.43			0.33			64	39	7	6
	0.08		1.41		1.43			1.17			64	39	7	6
	0.10		1.08		1.86			1.00			64	39	7	6
	0.08		1.46		1.86			0.50			64	39	7	6
			0.97		0.57			1.00			64	39	7	6
	0.08		0.92		2.43	0.17		1.00			64	39	7	6
0.03	0.03		1.23		1.14		0.17				64	39	7	6
			1.03		1.29	0.17		0.17			64	39	7	6
			0.90		1.57			0.17						
	0.05		1.38		0.86			0.17			64	39	7	6
	0.03		0.85		0.43						64	39	7	6
0.15	63.51		42.46	9.71	104.14	0.50	2.17	14.17	0.67					
0.10	32.23		22.31	5.57	49.00	0.33	1.00	5.67	0.50					
0.05	31.28		20.15	4.14	55.14	0.17	1.17	8.50	0.17					

表2-2-3 週報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数

年齢区分	インフルエンザ 定点	小児科定点												眼科定点		
		R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	咽 頭 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百日咳	風 し ん	ヘル パ ン ギ ー ナ	麻 し ん (成 人 麻 し ん を 除 く)	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎
6ヶ月未満	53	30	2		235	88	4		107	1		7			2	4
12ヶ月未満	170	37	25	10	1,189	229	63	25	1,398	2		175		6		9
1歳	615	21	106	77	2,748	766	262	15	600		3	638		79		23
2歳	629	12	109	194	2,436	793	216	20	24		1	501		168		20
3歳	649	4	147	420	2,283	738	168	32	1		2	413		286	3	22
4歳	769	5	114	581	2,017	565	131	49				313		304		24
5歳	592	3	102	741	1,785	373	93	43	1			177		299	2	22
6歳	505	1	65	533	1,396	182	57	37				113		197	2	13
7歳	405		28	408	1,130	90	28	31				42		107		11
8歳	441	2	21	273	900	53	20	38				44		65	2	6
9歳	461		18	192	734	29	10	19	1			33		42		9
10～14歳	1,810	1	28	330	1,548	61	7	16		1		18		91	10	29
15～19歳	891		3	25	153	8						2		4	18	40
20～29歳 ¹⁾	602		5	54	437	7	4	9				1		8	9	119
30～39歳	635	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	115
40～49歳	397	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	83
50～59歳	229	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	71
60～69歳	165	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	65
70～79歳 ²⁾	130	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	44
80歳以上	68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	10,216	116	773	3,838	18,991	3,982	1,063	334	2,132	4	6	2,477	0	1,656	68	729

1)小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20～29歳"に計上。

2)眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70～79歳"に計上

年齢区分	基準定点				(人)
	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	
0歳	3	6	3		
1～4歳		1	31		
5～9歳		2	33		
10～14歳		1	11		
15～19歳		1	1		
20～24歳					
25～29歳		1			
30～34歳		1	1		
35～39歳					
40～44歳			1		
45～49歳			1		
50～54歳					
55～59歳					
60～64歳					
65～69歳					
70歳以上			3	4	
合計	3	13	85	0	0

表2-2-4 月報対象疾患 - 月別患者報告数

基幹定点																					
STD定点																					
月	性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌感染症		
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女
1	18	8	10	5	1	4	9	4	5	7	6	1	23	16	7	2	1	1	1		1
2	8	3	5	2	2		5	3	2	12	11	1	12	7	5	3	1	2			
3	20	2	18	6	2	4	5	2	3	10	9	1	27	22	5						
4	16	8	8	8	4	4				9	8	1	28	18	10						
5	18	6	12	9	5	4	4	3	1	12	11	1	29	19	10						
6	16	4	12	4	1	3	6	4	2	6	5	1	17	11	6						
7	28	9	19	7	3	4	9	7	2	19	16	3	17	9	8	1	1				
8	19	8	11	6	1	5	5	5		13	12	1	21	13	8						
9	19	8	11	11	8	3	7	4	3	11	9	2	16	7	9			1			1
10	21	8	13	9	5	4	7	5	2	12	12		14	9	5						
11	23	7	16	2	2		7	3	4	11	9	2	26	19	7				1	1	
12	12	5	7	2	1	1	10	6	4	13	12	1	20	14	6	1	1				
合計	218	76	142	71	35	36	74	46	28	135	120	15	250	164	86	7	4	3	3	1	2

(人)

表2-2-5 月報対象疾患 - 月別定点当たり患者報告数

(人/定点当たり)																					
STD定点												基幹定点									
月	性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌感染症		
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女
1	1.64	0.73	0.91	0.45	0.09	0.36	0.82	0.36	0.45	0.64	0.55	0.09	3.83	2.67	1.17	0.33	0.17	0.17	0.17		
2	0.73	0.27	0.45	0.18	0.18		0.45	0.27	0.18	1.09	1.00	0.09	2.00	1.17	0.83	0.50	0.17	0.33			
3	1.82	0.18	1.64	0.55	0.18	0.36	0.45	0.18	0.27	0.91	0.82	0.09	4.50	3.67	0.83						
4	1.45	0.73	0.73	0.73	0.36	0.36				0.82	0.73	0.09	4.67	3.00	1.67						
5	1.64	0.55	1.09	0.82	0.45	0.36	0.36	0.27	0.09	1.09	1.00	0.09	4.83	3.17	1.67						
6	1.45	0.36	1.09	0.36	0.09	0.27	0.55	0.36	0.18	0.55	0.45	0.09	2.83	1.83	1.00						
7	2.55	0.82	1.73	0.64	0.27	0.36	0.82	0.64	0.18	1.73	1.45	0.27	2.83	1.50	1.33	0.17	0.17				
8	1.73	0.73	1.00	0.55	0.09	0.45	0.45	0.45		1.18	1.09	0.09	3.50	2.17	1.33						
9	1.73	0.73	1.00	1.00	0.73	0.27	0.64	0.36	0.27	1.00	0.82	0.18	2.67	1.17	1.50				0.17		
10	1.91	0.73	1.18	0.82	0.45	0.36	0.64	0.45	0.18	1.09	1.09		2.33	1.50	0.83						
11	2.09	0.64	1.45	0.18	0.18		0.64	0.27	0.36	1.00	0.82	0.18	4.33	3.17	1.17				0.17	0.17	
12	1.09	0.45	0.64	0.18	0.09	0.09	0.91	0.55	0.36	1.18	1.09	0.09	3.33	2.33	1.00	0.17	0.17				
合計	19.82	6.91	12.91	6.45	3.18	3.27	6.73	4.18	2.55	12.27	10.91	1.36	41.67	27.33	14.33	1.17	0.67	0.50	0.50	0.17	0.33

定点数	
S T D	基 幹
11	6
11	6
11	6
11	6
11	6
11	6
11	6
11	6
11	6
11	6
11	6
11	6
11	6
11	6

基 幹		定点数
S	T D	
11	6	
11	6	
11	6	
11	6	
11	6	
11	6	
11	6	
11	6	
11	6	
11	6	
11	6	
11	6	
11	6	
11	6	

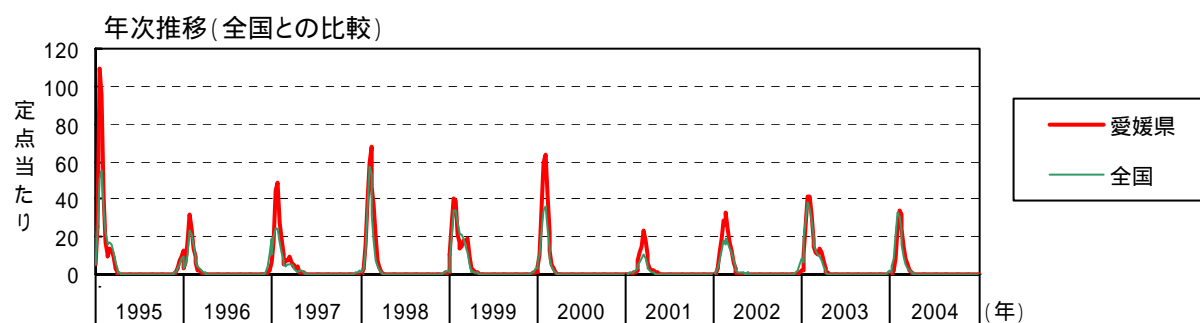
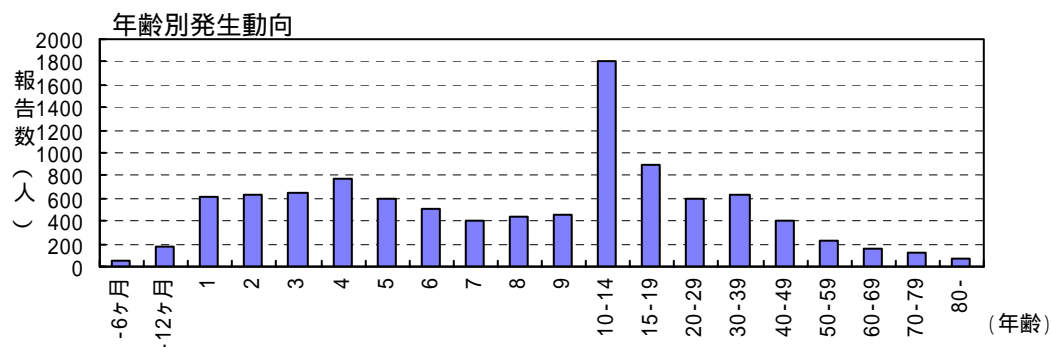
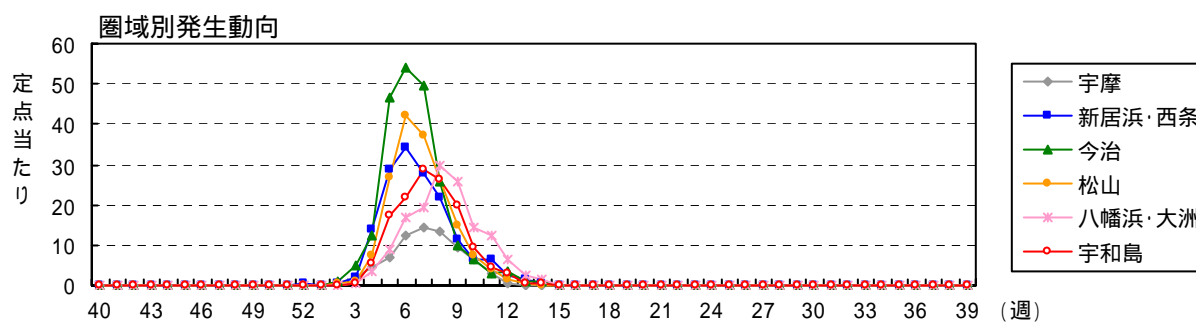
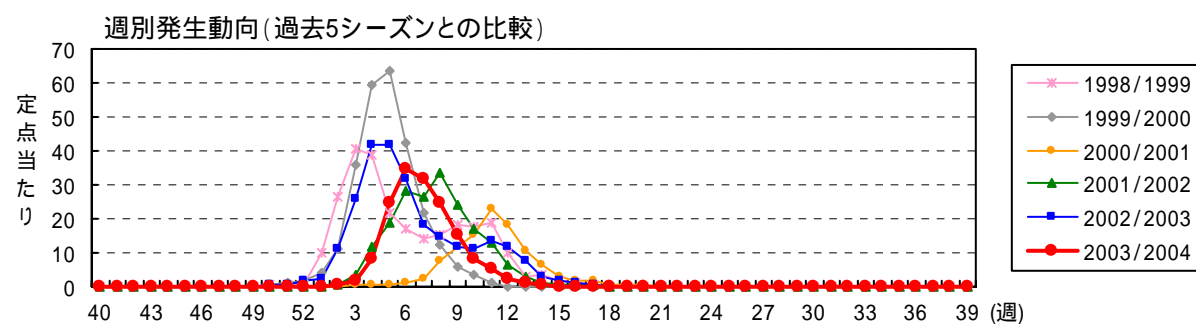
表2-2-6 月報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数

	STD定点												基幹定点											
	性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌感染症					
年齢区分	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女
0歳													9	5	4									
1～4歳													5	3	2	5	3	2	1	1				
5～9歳													1	1										
10～14歳																								
15～19歳	30	6	24	8		8	5	3	2	7	9	2												
20～24歳	57	16	41	9	5	4	23	11	12	31	35	4	3	2	1									
25～29歳	51	21	30	11	6	5	9	5	4	29	31	2	2		2									
30～34歳	32	7	25	7	3	4	15	11	4	15	18	3	3	1	2									
35～39歳	27	13	14	10	5	5	7	5	2	19	19		1	1					1					1
40～44歳	6	2	4	8	4	4	9	7	2	8	10	2	4	4										
45～49歳	5	3	2	4	3	1	3	3		5	5		4	2	2									
50～54歳	6	4	2	2	1	1				6	4	2	14	11	3									
55～59歳	4	4		2	1	1	1		1	2	2		22	17	5						1			1
60～64歳				3	3		1	1					18	11	7									
65～69歳				3	1	2							23	16	7	1		1						
70歳以上				4	3	1	1		1				141	90	51	1	1							
合計	218	76	142	71	35	36	74	46	28	135	120	15	250	164	86	7	4	3	3	1	2			

(2) インフルエンザ定点対象疾患(週報)

インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)

2003/2004 シーズンの患者報告数は 10,211 人(定点当たり 159.55 人/シーズン)で、過去 5 シーズンでは、2000/2001 シーズン(6,816 人 定点当たり 106.50 人/シーズン)に次ぐ小規模な流行であった。また 2003/2004 シーズンは A 香港型のみの流行で、例年発生していた B 型の流行は見られなかった(85 ページ 図 1)。そのため例年に比べ流行期間が短く、例年並の発生規模であった前シーズン(16,119 人 定点当たり 251.86 人/シーズン)の約 6 割の患者報告数に留まった。前年第 42 週に 2003/2004 シーズン初めての患者報告があり、年始まで県下各地で散発が続いた。第 3 週に流行開始の基準とされる定点当たり 1.0 人/週を超え、例年に比べ約 3 週遅れて本格的な流行を迎えた。今治地区を中心に患者数が急激に増加し、第 6 週(定点当たり 34.47 人/週)に流行のピークを形成し、その後大洲地区と八幡浜地区での増加が続いたが、第 9 週には県下全域で減少に転じた。地域別では今治地区が第 6 週に定点当たり 53.88 人/週まで増加し、シーズン中の患者総数も 219.50 人/シーズンと他の地区よりも大規模な流行であった。年齢別では乳児から高齢者まで全年齢にわたって報告があった。



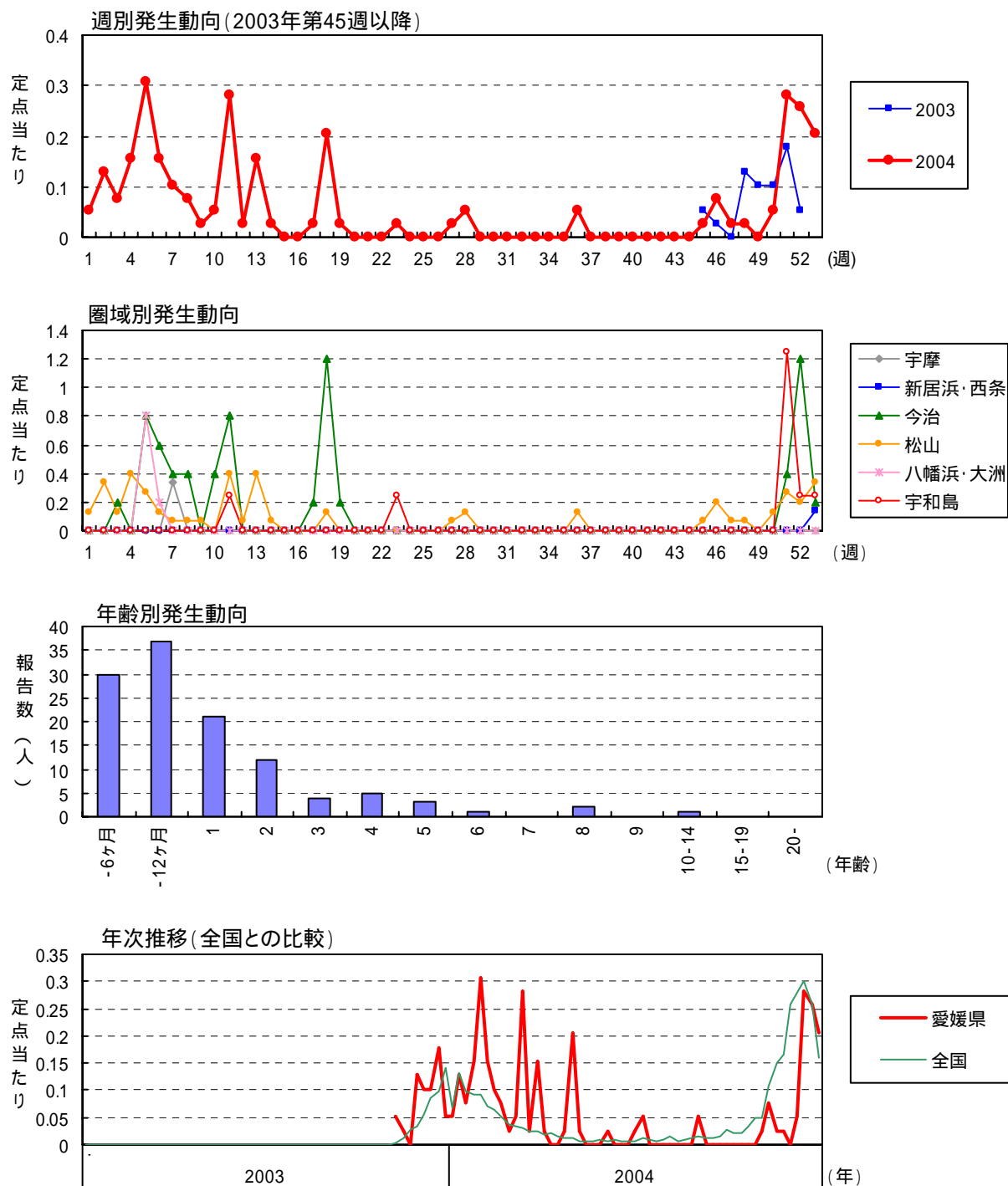
月 週		患者報告数														定点あたり報告数															
		2003/2004シーズン保健所別														2003/2004シーズン保健所別															
		愛媛県														愛媛県															
		四 国 中 央	新 居 浜	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市	松 山 中 央	大 洲	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2003 / 2004	2002 / 2003	2001 / 2002	全 国	四 国 中 央	新 居 浜	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市	松 山 中 央	大 洲	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2003 / 2004	2002 / 2003	2001 / 2002	全 国				
40													77												0.00	0.01	0.02	2001 / 2002			
41													28	7												0.00	0.01	0.02	2002 / 2003		
42	10												53	16												0.00	0.01	0.02	2003 / 2004		
43													57	32												0.00	0.02	0.02	2001 / 2002		
44													98	32												0.01	0.02	0.02	2002 / 2003		
45													122	23												0.00	0.03	0.05	2003 / 2004		
46	11												202	58												0.01	0.04	0.06	2001 / 2002		
47													265	144												0.03	0.07	0.07	2002 / 2003		
48													319	302												0.06	0.22	0.09	2003 / 2004		
49													443	754												0.03	0.03	0.05	2001 / 2002		
50													2,810	1,797												0.02	0.36	0.08	2002 / 2003		
51	12												7,635	4,030												0.03	0.73	0.39	2003 / 2004		
52													1,842	24,939												0.05	0.02	0.02	2001 / 2002		
1													2,104	8,389												0.14	1.94	0.11	2002 / 2003		
2													2,104	41,280												0.14	0.14	0.11	2003 / 2004		
3	1												1,803	5,533												2.39	0.06	0.39	2001 / 2002		
4													8,841	17,318												0.39	0.39	0.47	2002 / 2003		
5													90,319	39,586												0.33	1.33	3.41	2003 / 2004		
6													15,837	100,849												0.20	8.67	11.53	2001 / 2002		
7													37,215	183,091												8.31	41.73	21.44	2002 / 2003		
8													166,368	152,423												17.57	24.88	35.21	2003 / 2004		
9													61,145	144,313												11.80	34.47	28.42	2001 / 2002		
10													86,601	137,786												25.00	34.47	30.69	2002 / 2003		
11													73,602	142,201												32.05	18.39	26.19	2003 / 2004		
12	2												91,396	73,710												22.40	26.14	14.44	2001 / 2002		
13													91,396	73,710												15.90	15.90	15.90	2002 / 2003		
14													62,234	44,025												15.06	11.81	24.41	2003 / 2004		
15													64,113	24,891												8.14	10.92	16.92	2001 / 2002		
16													53,864	16,941												5.39	13.28	13.20	2002 / 2003		
17													36,593	9,574												2.86	4.20	6.48	2003 / 2004		
18													20,307	5,584												0.97	7.52	2.75	2001 / 2002		
19													4,259	198												0.42	0.20	0.22	2002 / 2003		
20													2,348	470												0.02	0.14	0.91	2003 / 2004		
21	5												288	217												0.03	0.03	0.03	2001 / 2002		
22													2,981	464												0.03	0.03	0.03	2002 / 2003		
23													2,503	238												0.05	0.05	0.53	2003 / 2004		
24	6												1,955	198												0.04	0.04	0.02	2001 / 2002		
25													87	97												0.02	0.01	0.23	2002 / 2003		
26													1,089	53												0.01	0.01	0.15	2003 / 2004		
27													697	31												0.01	0.01	0.11	2001 / 2002		
28													27	9												0.00	0.01	0.07	2002 / 2003		
29													340	19												0.00	0.01	0.05	2003 / 2004		
30	7												237	11												0.00	0.00	0.04	2001 / 2002		
31													170	15												0.00	0.00	0.03	2002 / 2003		
32													118	17												0.00	0.00	0.00	2003 / 2004		
33													83	17												0.00	0.00	0.02	2001 / 2002		
34													43	14												0.00	0.00	0.01	2002 / 2003		
35													29	9												0.00	0.00	0.01	2003 / 2004		
36													30	6												0.00	0.00	0.01	2001 / 2002		
37													21	6												0.00	0.00	0.00	2002 / 2003		
38													8	4												0.00	0.00	0.00	2003 / 2004		
39													27	7												0.00	0.00	0.01	2001 / 2002		
合計		365	889	1,004	1,756	3,116	979	633	503	966	10,211	16,119	12,082	774,094	1,225,397	675,843	73,000	127,000	200,800	219,500	194,750	122,380	211,000	100,600	138,000	159,550	251,860	188,780	164,700	259,820	143,700

注 2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の還元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

(3) 小児科定点対象疾患(週報)

RS ウイルス感染症

2004 年の患者報告数は 116 人(定点当たり 2.97 人/年)であった。小児科定点の対象疾患となった前年 11 月以降、松山市を中心に県下各地で 4 月下旬まで散発が続いた。その後 11 月から今治地区、宇和島地区で再び増加しはじめ、全国の平均とほぼ同様な推移を示した。地域別では今治地区(定点当たり 7.00 人/年) 松山市(定点当たり 6.50 人/年) 宇和島地区(定点当たり 2.50 人/年)が多く、西条地区と松山地区からは報告がなかった。年齢別では 1 歳以下が 88 人で、全体の 76%を占めていた。

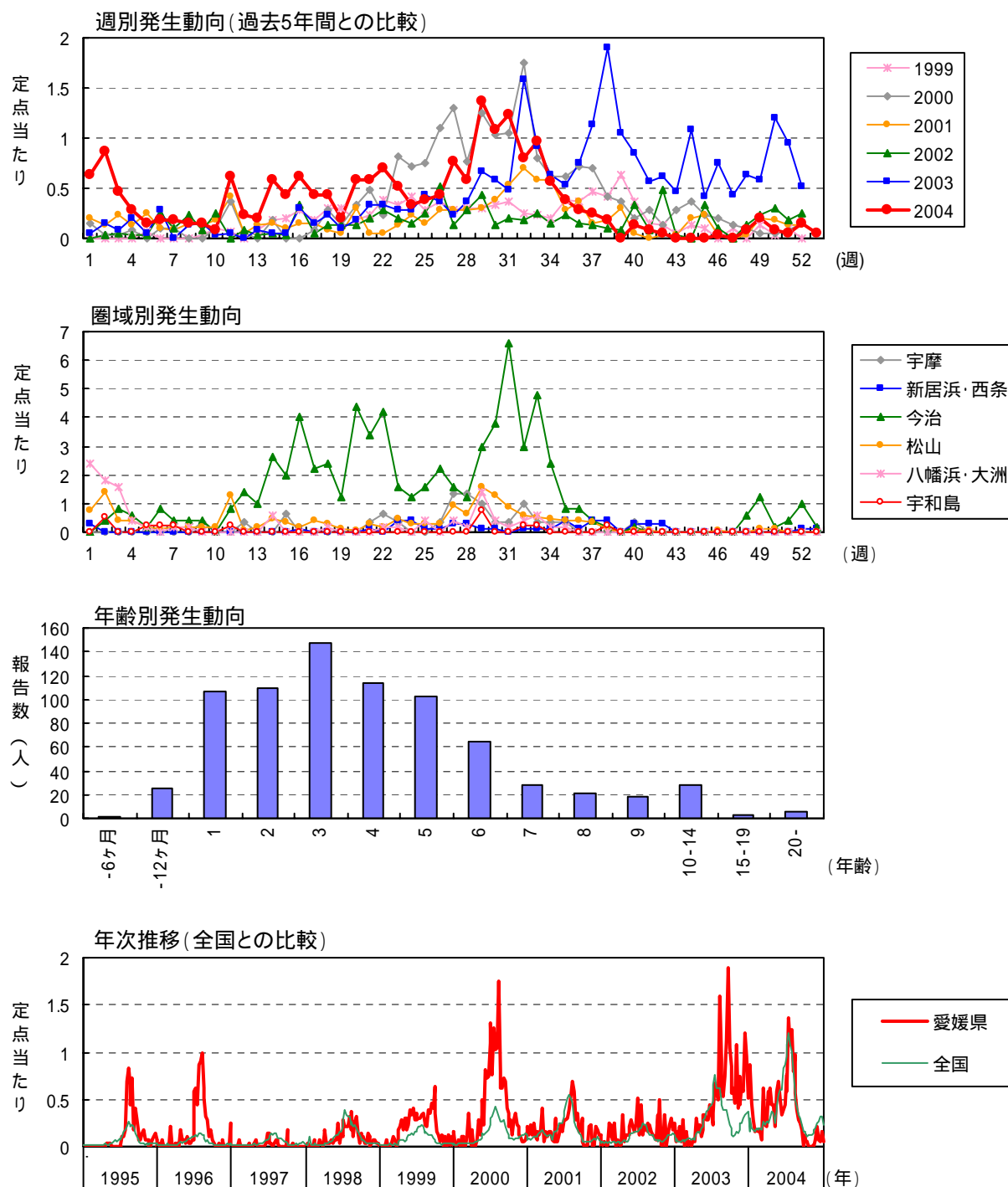


RSウイルス感染症

患者報告数															定点あたり報告数									
患者報告数															定点あたり報告数									
愛媛県															愛媛県									
2004年 保健所別															2004年 保健所別									
宇和島中央															宇和島中央									
八幡浜中央															八幡浜中央									
大洲															大洲									
松山中央															松山中央									
松山市															松山市									
今治中央															今治中央									
西条中央															西条中央									
新居浜															新居浜									
四国中央															四国中央									
全 国															全 国									
2004															2004									
2003															2003									
2002															2002									
2001															2001									
2000															2000									
1999															1999									
1998															1998									
1997															1997									
1996															1996									
1995															1995									
1994															1994									
1993															1993									
1992															1992									
1991															1991									
1990															1990									
1989															1989									
1988															1988									
1987															1987									
1986															1986									
1985															1985									
1984															1984									
1983															1983									
1982															1982									
1981															1981									
1980															1980									
1979															1979									
1978															1978									
1977															1977									
1976															1976									
1975															1975									
1974															1974									
1973															1973									
1972															1972									
1971															1971									
1970															1970									
1969															1969									
1968															1968									
1967															1967									
1966															1966									
1965															1965									
1964															1964									
1963															1963									
1962															1962									
1961															1961									
1960															1960									
1959															1959									
1958															1958									
1957															1957									
1956															1956									
1955															1955									
1954															1954									
1953															1953									
1952															1952									
1951															1951									
1950															1950									
1949															1949									
1948															1948									
1947															1947									
1946															1946									
1945															1945									
1944															1944									
1943															1943									
1942															1942									
1941															1941									
1940															1940									
1939															1939									
1938															1938									
1937															1937									
1936															1936									
1935															1935									
1934															1934									
1933															1933									
1932															1932									
1931															1931									
1930															1930									
1929															1929									
1928															1928									
1927															1927									
1926															1926									
1925															1925									
1924															1924									
1923															1923									
1922															1922									
1921															1921									
1920															1920									
1919															1919									
1918															1918									
1917															1917									
1916															1916									
1915															1915									
1914															1914									
1913															1913									
1912															1912									
1911															1911									
1910															1910									
1909															1909									
1908															1908									
1907															1907									
1906															1906									
1905															1905									
1904															1904									
1903															1903									
1902															1902									
1901															1901									
1900															1900									
1899															1899									
1898															1898									
1897															1897									
1896															1896									
1895															1895									
1894															1894									
1893															1893									
1892															1892									
1891															1891									
1890															1890									
1889															1889									
1888															1888									
1887															1887									
1886															1886									
1885															1885									
1884															1884									
1883															1883									
1882															1882									

咽頭結膜熱

2004 年の患者報告数は 773 人（定点当たり 19.82 人/年）で、過去 10 年間では、2003 年（946 人 定点当たり 24.26 人/年）に次ぐ流行規模であった。前年冬季の流行が 1 月まで続いた後、3 月中旬から今治地区で増加し始めた。その後、他の地区でも散発し始めたが顕著な増加傾向は見られず、今治地区で突出して多い状況が続き、7 月中旬（第 29 週 定点当たり 1.36 人/週）に流行のピークを迎えた。9 月上旬にはほぼ終息し、例年発生していた冬季の小流行は見られなかった。今治地区は第 31 週に定点当たり 6.60 人/週まで増加し、年間の患者総数も 363 人（定点当たり 72.60 人/年）と他の地区に比べ発生規模が大きく、地域的な流行が確認された。年齢別では 1 歳から 6 歳の幼児が 643 人で、全体の 83%を占めた。



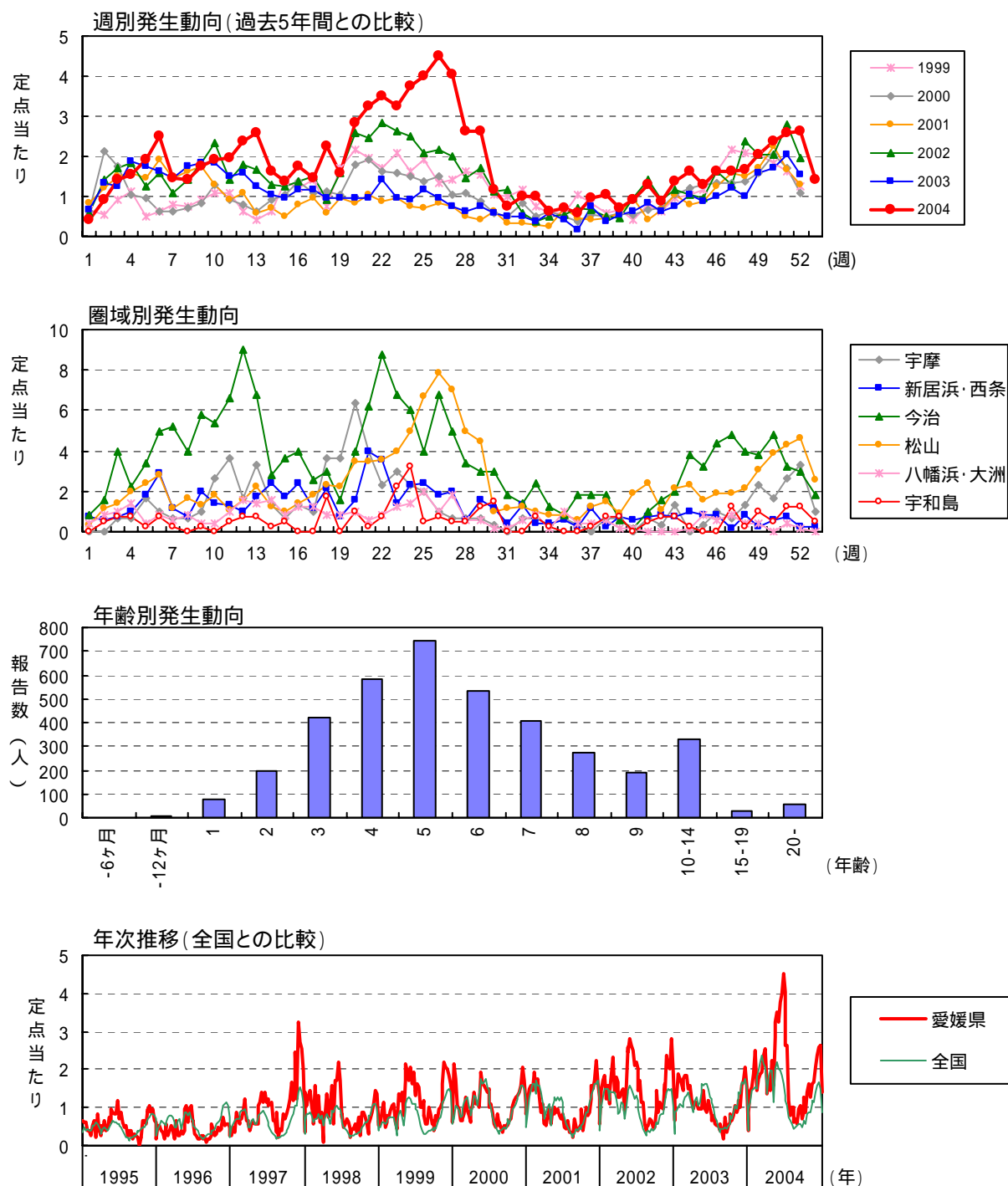
咽頭結膜熱

月 週		患者報告数														愛媛県						全 国										
		2004年 保健所別							愛媛県							全 国																
		2004年 保健所別							愛媛県							全 国																
		四 国 中 央	新 居 浜	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市	松 山 中 央	大 洲	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002										
1			2	2	10	1	1	11	2	25	2		455	151	108			0.67	0.40	1.00	0.20	0.50	3.67	0.50	0.64	0.05	0.15	0.05	0.04			
2				4	1	1	1	7	11	7	4	4	526	183	114				0.80	0.10	0.10	0.40		0.33		0.18	0.10	0.17	0.06	0.05		
3	1			2	2	2	1	6	5	6	9	9	590	235	113				0.40	0.20	0.20	0.20	0.15	0.13	0.23	0.15	0.13	0.23	0.04	0.04		
4				3	4	4	2	2	6	6	3	603	199	136	0.33			0.60	0.40	0.40	0.40	0.50		0.25		0.28	0.21	0.03	0.06	0.06		
5				1	1	1	1	1	1	7	10	10	589	201	174				0.20	0.10	0.20	0.20	0.50		0.25	0.15	0.05	0.17	0.05	0.04		
6				4	1	1				7	11	10	589	201	174				0.80	0.10	0.20	0.20			0.25	0.18	0.28	0.26	0.19	0.07	0.06	
7	2			2	2	1	2	1	1	7	4	4	526	183	114				0.40	0.10	0.40	0.40		0.33		0.18	0.10	0.17	0.06	0.04	0.04	
8				2	2	2	1	1		6	5	9	590	235	113				0.40	0.20	0.20	0.20	0.15	0.13	0.23	0.15	0.13	0.23	0.19	0.08	0.04	
9	1			2	2	2	1			6	6	3	603	199	136	0.33			0.40	0.20	0.20	0.20			0.15	0.15	0.08	0.20	0.07	0.04	0.04	
10				2	2	2	1			3	1	10	556	244	145				0.20	0.20	0.20	0.20			0.08	0.03	0.26	0.26	0.18	0.08	0.05	0.05
11				4	18	1			1	24	2		797	280	121				0.80	1.80	0.20	0.20			0.25	0.62	0.05	0.26	0.09	0.04	0.04	
12	1			7	7	1				9		3	725	216	142	0.33			1.40	0.10					0.08	0.24	0.07	0.26	0.07	0.05	0.05	
13				5	2	2	1			8	3	1	824	253	140				1.00	0.20	0.20	0.20			0.21	0.08	0.03	0.27	0.08	0.05	0.05	
14				13	7			3		23	2	2	824	231	115				2.60	0.70				1.00		0.59	0.05	0.05	0.27	0.08	0.04	0.04
15	2			10	4	1				17	2	1	761	289	108				2.00	0.40	0.20	0.20			0.44	0.05	0.03	0.25	0.09	0.04	0.04	
16	4			20	3					24	12	13	933	405	154			0.33	4.00	0.30					0.62	0.31	0.33	0.31	0.13	0.05	0.05	
17			1	11	4	2				17	6	2	1,130	473	212				2.20	0.40	0.40	0.40			0.44	0.15	0.05	0.37	0.16	0.07	0.07	
18				12	4		1			17	9	5	1,086	424	143				2.40	0.40		0.50			0.44	0.23	0.13	0.36	0.14	0.05	0.05	
19				6	1	1	1			8	4	5	783	560	203				1.20	0.10	0.20	0.20			0.21	0.10	0.13	0.26	0.18	0.07	0.07	
20				22		1	1			23	7	5	1,177	644	258				4.40		0.20	0.20			0.59	0.18	0.13	0.39	0.21	0.08	0.08	
21	1		1	17	2	2	1			23	13	8	1,296	861	369	0.33		0.25	3.40	0.20	0.40	0.40			0.59	0.33	0.21	0.43	0.28	0.31	0.14	
22	2			21	1	2	2	1		27	13	11	1,693	928	422	0.67			4.20	0.10	0.40	0.40	0.33		0.69	0.33	0.28	0.56	0.30	0.14	0.14	
23	1	3		8	5	2		1		20	11	8	1,812	1,113	456	0.33	0.75		1.60	0.50	0.40	0.40		0.33		0.51	0.28	0.21	0.60	0.37	0.15	0.15
24		2		1	6	3	1			13	11	6	1,857	1,178	454	0.33	0.50	0.33	1.20	0.30	0.20				0.33	0.28	0.15	0.61	0.39	0.15	0.15	
25			1	8	4		1	1		15	17	10	2,521	1,281	456		0.25		1.60	0.40		0.50			0.38	0.44	0.26	0.83	0.42	0.15	0.15	
26	1			1	11	3	1			17	14	20	2,638	1,333	486	0.33		0.33	2.20	0.30	0.20				0.44	0.36	0.51	0.87	0.44	0.16	0.16	
27	4	1		1	8	14		2		30	9	5	2,882	1,502	521	1.33	0.25	0.33	1.60	1.40			0.67		0.77	0.23	0.13	0.95	0.49	0.17	0.17	
28	4	1	1	6	10			1		23	14	11	3,296	1,980	612	1.33	0.25	0.33	1.20	1.00			0.33		0.59	0.36	0.28	1.08	0.65	0.20	0.20	
29	3	1		15	17	7	4	3	3	53	26	17	3,686	2,366	593	1.00	0.25		3.00	1.70	1.40	2.00	1.00	0.75	1.36	0.67	0.44	1.21	0.78	0.19	0.19	
30	1			1	19	11	8	2		42	23	5	3,289	1,904	755	0.33		0.33	3.80	1.10	1.60	1.00			1.08	0.59	0.13	1.08	0.63	0.25	0.25	
31	1			33	8	5	1			48	19	8	3,070	1,881	682	0.33		0.33	6.60	0.80	1.00	0.50			1.23	0.49	0.21	1.01	0.62	0.22	0.22	
32	3			1	15	6	3	1	1	31	62	7	2,431	1,893	690	1.00		0.33	3.00	0.60	0.60	0.50	0.33	0.25	0.79	1.59	0.18	0.80	0.62	0.23	0.23	
33	1	1		24	5	3	1	2	1	38	36	10	1,732	1,455	486	0.33	0.25		4.80	0.50	0.60	0.50		0.25	0.97	0.92	0.26	0.57	0.49	0.16	0.16	
34	1			1	12	4	3	1		22	25	6	1,484	1,365	485	0.33		0.33	2.40	0.40	0.40	0.60	0.33		0.56	0.64	0.15	0.49	0.45	0.16	0.16	
35	1			3	4	2	1			15	21	9	1,292	1,204	376	0.33		1.00	0.80	0.40	0.40	0.50			0.38	0.54	0.23	0.43	0.40	0.12	0.12	
36				1	4	5	1			11	29	6	1,017	1,180	381				0.33	0.80	0.50	0.20			0.28	0.74	0.15	0.34	0.39	0.13	0.13	
37		1		2	2	4	1			10	44	5	890	1,163	373		0.25	0.67	0.40	0.40	0.20				0.26	1.13	0.13	0.29	0.38	0.12	0.12	
38				3	1		2		1	7	74	4	674	896	228			1.00	0.20		0.40		0.25		0.18	1.90	0.10	0.22	0.30	0.08	0.08	
39											41	3	470	695	193											1.05	0.08	0.15	0.23	0.06	0.06	0.06
40	1			2	1	1	1			5	33	13	499	577	222	0.33		0.67	0.20		0.20				0.13	0.85	0.33	0.16	0.19	0.07	0.07	
41				2						3	22	3	411	401	168					0.10						0.08	0.56	0.08	0.13	0.13	0.06	0.06
42				2						2	24	19	333	330	193			0.67							0.05	0.62	0.49	0.11	0.11	0.06	0.06	
43											18	1	359	366	144			0.67								0.46	0.03	0.12	0.12	0.05	0.05	0.05
44											42		363	509	166											1.08		0.12	0.17	0.05	0.05	0.05
45											16	13	366	442	223												0.41	0.33	0.12	0.15	0.07	0.07
46				1						1	29	4	451	543	251					0.10					0.03	0.74	0.10	0.15	0.18	0.08	0.08	0.08
47											17	5	526	751	280											0.44	0.17	0.25	0.09	0.09	0.09	0.09
48				3																												

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2004 年の患者報告数は 3,838 人(定点当たり 98.41 人/年)で、2003 年(2,150 人 定点当たり 55.13 人/年) に比べ大幅に増加し、過去 10 年間で最も大きな流行規模となった。本疾患は冬季と春から初夏にかけて多発する傾向が見られるが、本年は夏季に今治地区と松山地区で多発し、例年になく大規模な流行が発生した。松山地区は本年 5 月以降患者報告数が増加し、年間の患者報告数は定点当たり 196.60 人/年と他の地区に比べて多く、特に第 24 週から第 29 週の定点当たり患者報告数は 10～20 人/週で推移した。また今治地区は前年 11 月以降患者報告数が多い状況が続いており、年間の患者報告数も定点当たり 189.60 人/年と松山地区に次いで多かった。年齢別では 5 歳が 741 人(19%)で最も多く、3 歳から 7 歳が 2,683 人で全体の 70%を占めた。



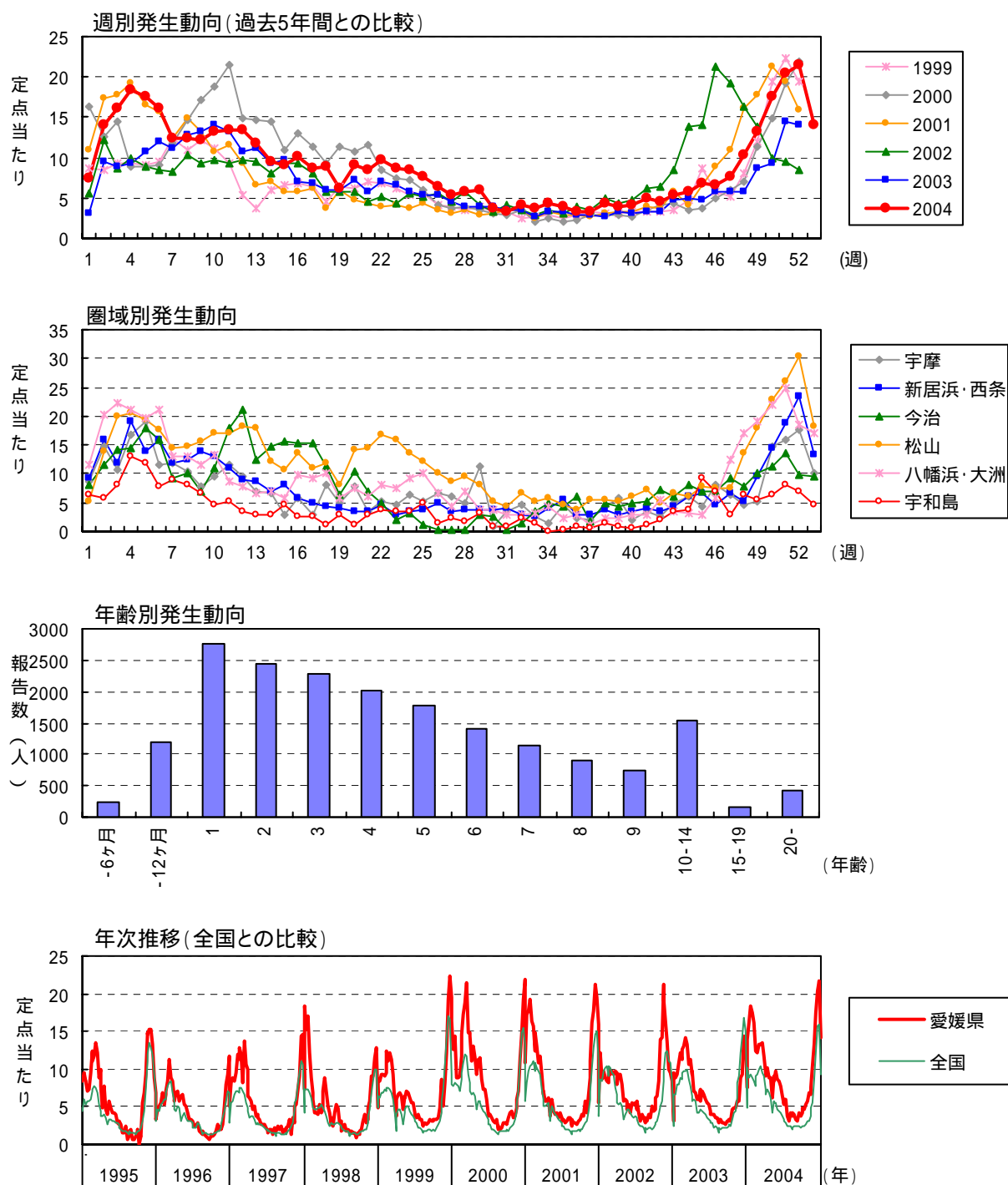
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

月 週	患者報告数										愛媛県										全 国										2004年 保健所別										愛媛県				全 国																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	2004年 保健所別										愛媛県										全 国										2004年 保健所別										愛媛県				全 国																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	2004年 保健所別										愛媛県										全 国										2004年 保健所別										愛媛県				全 国																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市 中 央	大 洲 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	四 国 中 央	新 居 浜 中 央

注) 2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

感染性胃腸炎

2004 年の患者報告数は 18,991 人(定点当たり 486.95 人/年)で、前年(14,066 人 定点当たり 360.07 人/年) に比べて大幅に増加し、過去 10 年間では最も大きな流行規模であった。本疾患は例年 2～3 月のなだらかなピークと冬季の急峻なピークの 2 峰性の患者発生がみられるが、前年冬季の患者増加が遅く、本年第 4 週(定点当たり 18.46 人/週)に冬季の流行のピークを迎えた。その後減少に転じたが、春先のピークと重なり今治地区では 4 月下旬まで、中予では 7 月上旬までそれぞれ患者数の多い状況が続いたことから、例年よりも減少幅に鈍化が見られた。9 月下旬から再び増加に転じ、第 52 週に定点当たり 21.59 人/週となり 2 回目の冬季のピークを形成した。地域的には松山市(定点当たり 680.30 人/年)、松山地区(定点当たり 552.60 人/年)と中予で特に多かった。年齢別では乳幼児から成人まで全年齢層にわたって報告があり、1 歳から 6 歳の幼児が 12,665 人で全体の 67%を占めていた。

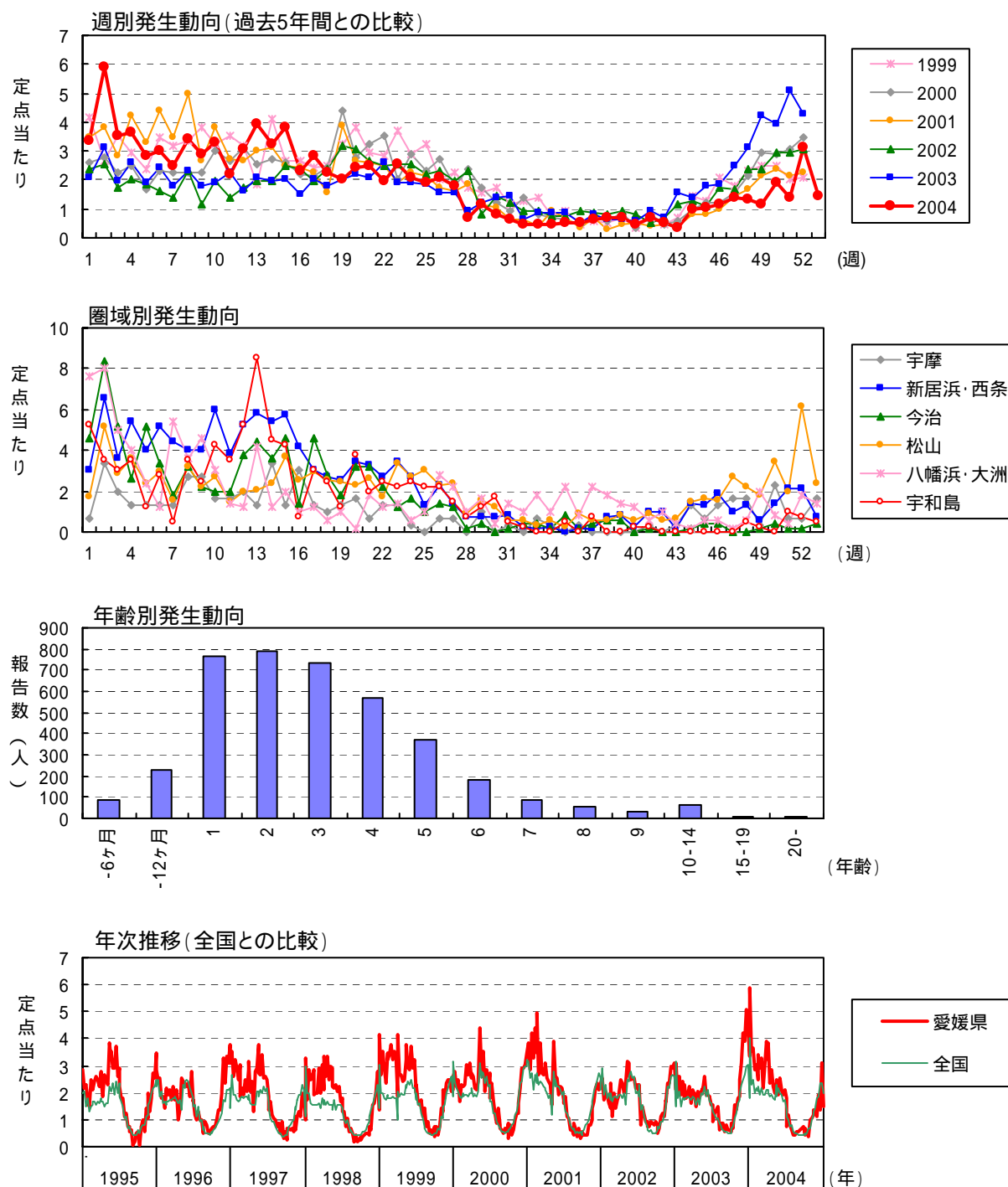


感染性胃腸炎

月 週	患者報告数										定点あたり報告数																							
	2004年 保健所別										2004年 保健所別																							
	愛媛県										愛媛県																							
	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	全 国	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	全 国														
1	26	28	36	40	67	12	35	23	26	293	120	217	14,479	7,066	11,133	8,67	7,00	12,00	8,00	6,70	2,40	17,50	7,67	6,50	4,89	3,08	5,56	7,51	3,08	5,56	4,89	2,40	3,70	
2	44	69	42	58	152	57	41	60	23	546	374	475	30,440	20,007	25,195	14,67	17,25	14,00	11,60	15,20	11,40	20,50	20,00	20,00	14,00	9,59	12,18	14,00	9,59	12,18	10,08	6,58	8,31	
3	32	43	40	71	212	86	47	65	32	628	344	335	26,910	20,111	25,300	10,67	10,75	13,33	14,20	21,20	17,20	23,50	21,67	8,00	16,10	8,82	8,59	8,87	8,82	8,59	6,62	8,34		
4	50	87	47	72	244	62	38	68	52	720	359	383	28,101	24,413	28,823	16,67	21,75	15,67	14,40	24,40	12,40	19,00	22,67	13,00	18,46	9,21	9,82	18,46	9,21	9,82	8,01	9,49		
5	57	55	42	89	228	64	36	62	48	681	421	348	26,971	24,475	29,920	19,00	13,75	14,00	17,80	22,80	12,80	18,00	20,67	12,00	17,46	10,79	8,92	17,46	10,79	8,92	8,87	8,04	9,86	
6	35	65	46	79	211	55	40	65	31	627	471	330	25,793	27,138	30,851	11,67	16,25	15,33	15,80	21,10	11,00	20,00	21,67	7,75	16,08	12,08	8,46	16,08	12,08	8,46	8,91	10,16		
7	36	34	50	46	170	49	24	41	36	486	438	321	23,448	26,024	27,102	12,00	8,50	16,67	9,20	17,00	9,80	12,00	13,67	9,00	12,46	11,23	8,23	12,46	11,23	8,23	7,71	8,54	8,93	
8	31	42	45	50	169	51	26	39	32	485	496	401	27,730	29,242	30,894	10,33	10,50	15,00	10,00	16,90	10,20	13,00	13,00	8,00	12,44	12,72	10,28	12,44	12,72	10,28	9,11	9,59	10,17	
9	23	55	43	34	177	56	27	31	27	473	512	359	28,230	29,941	30,234	7,67	13,75	14,33	6,80	17,70	11,20	13,50	10,33	6,75	12,13	13,13	9,28	12,13	13,13	9,28	9,84	9,95	9,95	
10	29	53	39	55	202	53	18	49	18	516	550	380	30,175	29,473	28,344	9,67	13,25	13,00	11,00	20,20	10,60	9,00	16,33	4,50	13,23	14,10	9,74	9,93	13,23	14,10	9,74	9,93	9,68	9,33
11	35	50	27	90	203	51	23	21	21	521	515	363	31,626	30,242	27,431	11,67	12,50	9,00	18,00	20,30	10,20	11,50	7,00	5,25	13,36	13,21	9,31	10,39	13,21	9,31	10,39	9,92	9,04	
12	29	34	29	106	219	56	15	24	14	526	415	376	28,988	26,317	22,106	9,67	8,50	9,67	21,20	21,90	11,20	7,50	8,00	3,50	13,49	10,64	9,64	9,54	10,64	9,64	9,54	8,63	7,28	
13	21	45	15	62	211	59	13	20	12	458	436	368	27,733	23,426	19,972	7,00	11,25	5,00	12,40	21,10	11,80	6,50	6,67	3,00	11,74	11,18	9,44	9,12	11,18	9,44	9,12	7,69	6,57	
14	20	22	26	74	134	50	11	24	11	372	366	314	22,020	19,569	16,632	6,67	5,50	8,67	14,80	13,40	10,00	5,50	8,00	2,75	9,54	9,38	8,06	9,54	9,38	8,06	7,24	6,43	5,47	
15	9	33	24	78	133	27	14	15	18	351	376	365	20,240	17,987	16,249	3,00	8,25	8,00	15,60	13,30	5,40	7,00	5,00	4,50	9,00	9,64	9,35	9,06	9,64	9,35	6,65	5,90	5,36	
16	17	21	20	76	148	54	15	34	10	395	273	362	21,963	18,449	16,482	5,67	5,25	6,67	15,20	14,80	10,80	7,50	11,33	2,50	10,13	7,00	9,28	7,22	6,06	5,43	5,06	5,33		
17	9	14	20	76	117	49	21	26	10	342	265	314	21,134	17,356	15,360	3,00	3,50	6,67	15,20	11,70	9,80	10,50	8,67	2,50	8,77	6,79	8,05	8,77	6,79	8,05	5,71	5,06		
18	24	10	21	56	137	41	17	34	5	345	237	227	19,010	13,080	9,915	8,00	2,50	7,00	11,20	13,70	8,20	8,50	11,33	1,25	8,85	6,08	5,82	8,85	6,08	5,82	6,25	4,30	3,27	
19	15	20	8	32	83	40	10	19	12	239	234	229	12,610	12,727	12,693	5,00	5,00	2,67	6,40	8,30	5,00	3,00	6,33	3,00	6,13	6,00	5,87	6,13	6,00	5,87	4,13	4,17	4,18	
20	23	15	10	52	145	67	17	21	5	355	283	226	17,506	14,399	13,339	7,67	3,75	3,33	10,40	14,50	13,40	8,50	7,00	1,25	9,10	7,26	5,79	5,75	7,26	5,79	4,73	4,39		
21	10	12	13	34	123	96	6	24	11	329	228	180	16,558	14,143	13,718	3,33	3,00	4,33	6,80	12,30	19,20	3,00	8,00	2,75	8,44	5,85	4,62	5,44	5,85	4,62	5,44	4,64	4,51	
22	16	24	9	25	172	78	17	23	15	379	275	204	16,542	13,797	13,751	5,33	6,00	3,00	5,00	17,20	15,60	8,50	7,67	3,75	9,72	7,05	5,23	5,44	7,05	5,23	5,44	4,53	4,52	
23	14	12	9	10	134	105	15	22	14	335	259	168	13,928	12,782	12,404	4,67	3,00	3,00	2,00	13,40	21,00	7,50	7,33	3,50	8,59	6,64	4,31	4,58	8,59	6,64	4,31	4,58	4,19	4,08
24	19	18	7	16	121	85	17	30	14	327	229	219	13,744	11,989	11,027	6,33	4,50	2,33	3,20	12,10	17,00	8,50	10,00	3,50	8,38	5,87	5,62	4,51	5,87	5,62	4,51	3,93	3,63	
25	16	16	10	6	121	63	14	36	20	302	213	204	12,881	10,761	10,735	5,33	4,00	3,33	1,20	12,10	12,60	7,00	12,00	5,00	7,74	5,46	5,23	4,23	5,46	5,23	4,23	3,53	3,53	
26	20	24	10	2	97	55	13	20	6	247	211	219	11,190	9,916	11,094	6,67	6,00	3,33	0,40	9,70	11,00	6,50	6,67	1,50	5,00	7,74	5,41	5,62	3,68	3,53	3,68	3,53	3,65	
27	18	17	8	2	90	40	6	16	9	206	175	177	9,947	9,515	10,640	6,00	4,25	2,67	0,40	9,00	8,00	3,00	5,33	2,25	5,28	4,49	4,54	3,27	5,28	4,49	4,54	3,27	3,12	3,50
28	15	15	12	2	106	37	7	28	7	229	154	225	9,491	9,096	9,555	5,00	3,75	4,00	0,40	10,60	7,40	3,50	9,33	1,75	5,87	3,95	5,77	3,95	5,77	3,95	5,77	3,95	3,14	3,14
29	34	13	14	14	95	28	10	9	13	230	154	161	9,008	8,622	7,798	11,33	3,25	4,67	2,80	9,50	5,60	5,00	3,33	3,25	5,90	3,95	4,13	2,96	2,83	2,96	2,83	2,56	2,56	
30	3	19	7	13	58	21	4	15	4	144	152	125	7,529	7,106	7,536	1,00	4,75	2,33	2,60	5,80	4,20	2,00	5,00	1,00	3,69	3,90	3,21	2,47	3,69	3,90	3,21	2,47	2,33	2,47
31	10	11	17	1	40	27	6	9	4	125	136	158	7,641	7,271	7,126	3,33	2,75	5,67	0,20	5,40	5,40	3,00	3,00	1,00	3,21	3,49	4,05	3,21	3,49	4,05	2,51	2,39	2,34	
32	14	17	4	7	61	37	6	9	9	164	138	135	7,554	6,520	6,511	4,67	4,25	1,33	1,40	6,10	7,40	3,00	3,00	2,25	4,21	3,54	3,46	4,21	3,54	3,46	2,49	2,15	2,15	
33	8	12	7	17	59	19	5	11	6	144	108	114	5,760	4,539	4,616	2,67	3,00	2,33	3,40	5,90	3,80	2,50	3,67	1,50	3,69	2,77	2,92	3,69	2,77	2,92	1,91	1,52	1,55	
34	4	16	12	25	63	24	6	16	6	166	128	134	6,829	6,516	6,284	1,33	4,00	4,00	5,00	6,30	4,80	3,00	5,33	2,25	4,26	3,28	3,44	4,26	3,28	3,44	2,26	2,14	2,08	
35	14	30	9	21	41	27	3	9	1	155	129	119	7,208	6,367	6,193	4,67	7,50	3,00	4,20	4,10	5,40	1,50	3,00	0,25	3,97	3,31	3,05	3,97	3,31	3,05	2,37	2,09	2,04	
36	7	16	5	31	41	14	5	9	3	131	112	151	7,205	6,910	6,620	2,33	4,00	1,67	6,20	4,10	2,80	2,50	3,00	0,75	3,36	2,87	3,87	2,87	3,36	2,87	2,09	2,08	2,18	
37	6	17	4	9	61	20	3	3	2	125	115	136	7,367	6,928	6,755	2,00	4,25	1,33	1,80	6,10	4,00	1,50	1,00	0,50	3,21	2,95	3,49	2,42	2,95	3,49	2,42	2,28	2,22	
38	13	21	6	25	55	29	5	7	6	167	106	195	7,412	6,465	6,276	4,33	5,25	2,00	5,00	5,50	5,80	2,50	2,33	1,50	4,28	2,72	5,00	2,44	2,72	5,00	2,44	2,13	2,07	
39																																		

水痘

2004年の患者報告数は3,982人(定点当たり102.10人/年)で、前年(3,809人 定点当たり97.67人/年)とほぼ同程度であった。前年末からの増加が第2週(定点当たり5.90人/週)にピークを迎え、過去10年間で最大の流行ピークを形成した。その後緩やかに減少し、11月以降再び増加に転じ、第52週(定点当たり3.13人/週)に再び流行のピークを迎えた。地域的には大洲地区(定点当たり162.00人/年)、西条地区(定点当たり144.00人/年)、松山市(定点当たり123.50人/年)が多かった。年齢別では1歳から4歳の報告が多く、全体の72%(2,862人)を占めた。

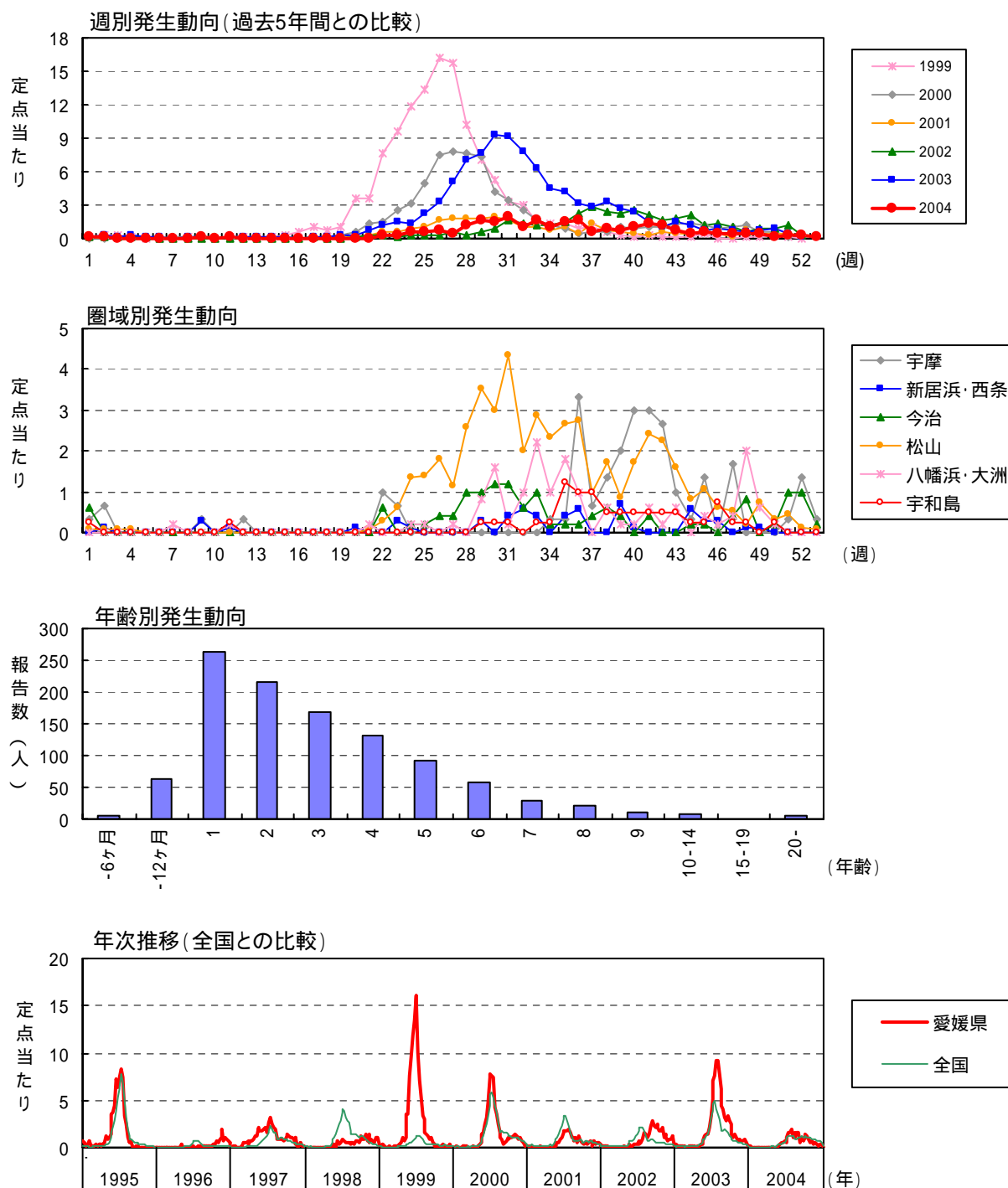


水痘

月 週	患者報告数															定点あたり報告数										全 国																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	2004年 保健所別										愛媛県					全 国			2004年 保健所別					愛媛県			全 国																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	新 居 浜 中 央					西 条 中 央					今 治 中 央					松 山 市					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲					八 幡 浜 中 央					宇 和 島 中 央					松 山 中 央					大 洲</				

手足口病

2004 年の患者報告数は 1,063 人（定点当たり 27.26 人/年）で、前年（3,892 人 定点当たり 99.79 人/年）よりも大幅に減少し、感染症法が施行された 1999 年以降では最も小さな流行規模であった。6 月以降中予で散発し始め、例年よりも約 1 ヶ月遅れて増加傾向が見られた。その後中予での増加が続き、次第に今治地区や大洲地区へ発生地域が拡大したが、例年に比べ低い発生頻度で推移した。第 31 週（定点当たり 1.95 人/週）に流行のピークを迎え、その後一旦減少傾向が見られたが、中予での多発と四国中央地区での増加により、10 月中旬までほぼ横ばいで推移した。地域的には松山市（定点当たり 55.80 人/年）、松山地区（定点当たり 36.80 人/年）、四国中央地区（定点当たり 26.33 人/年）が多かった。年齢別では 1 歳児（262 人）が最も多く、5 歳以下（937 人）が全体の 88%を占めた。



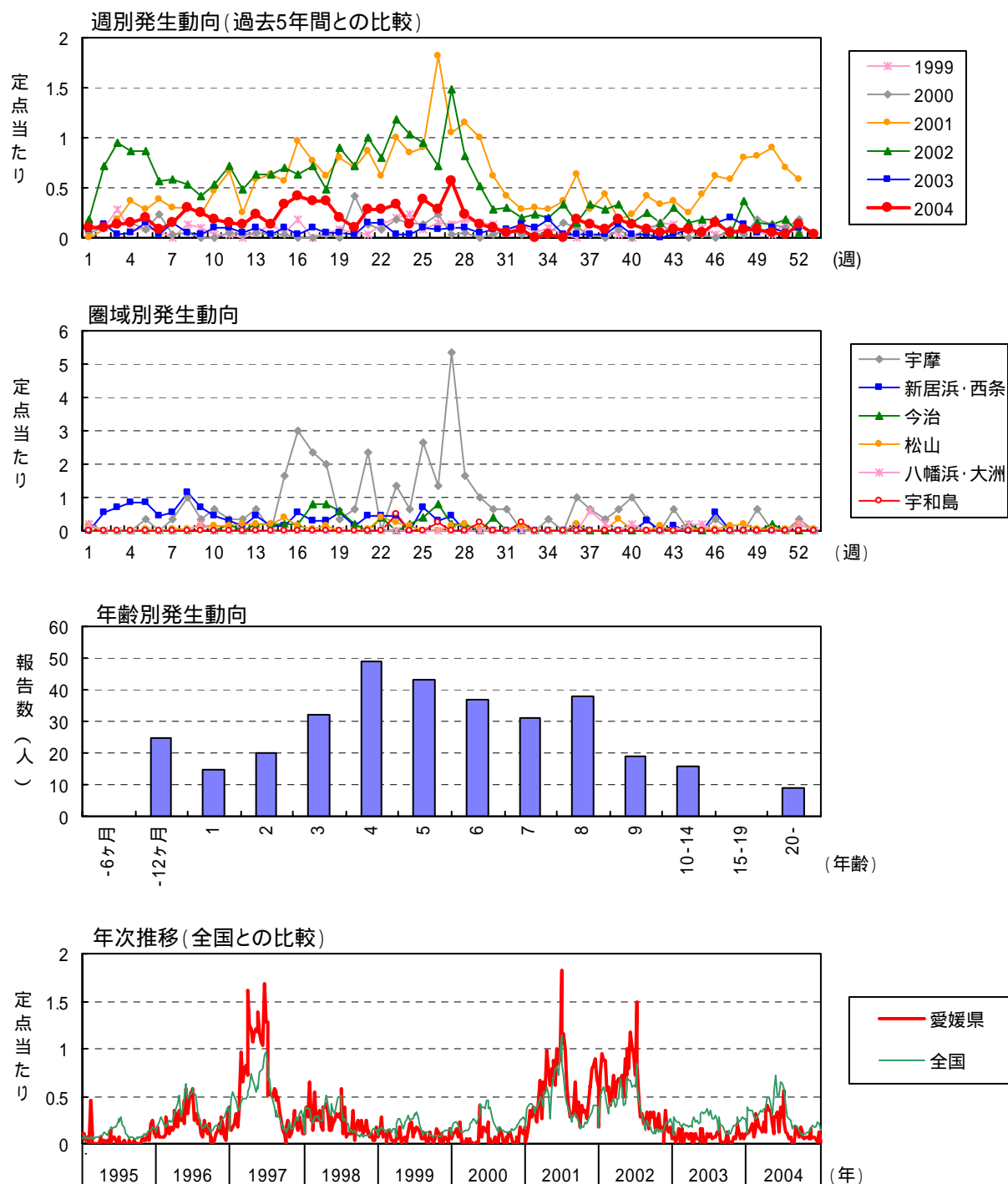
手足口病

月	週	患者報告数										定点あたり報告数														
		2004年 保健所別					愛媛県					2004年 保健所別					愛媛県									
		新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	全国	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	全国
1	2	1		3	1				1	188	222	0.33	0.67	0.60	0.10	0.10			0.25	0.15	0.18	0.10	0.06	0.06	0.07	
2	3	2	1		4					219	328				0.10	0.07				0.10	0.31	0.10	0.06	0.10	0.11	
3	4				1					200	361				0.10	0.10				0.03	0.21	0.10	0.07	0.10	0.12	
4	5				1					237	470				0.10					0.03	0.26	0.13	0.08	0.09	0.15	
5	6									242	428										0.21	0.18	0.08	0.09	0.14	
6	7									194	414										0.18	0.03	0.06	0.10	0.14	
7	8				1			1		184	384							0.33		0.03	0.05	0.05	0.06	0.09	0.13	
8	9	1	2		3					169	381	0.33	0.50							0.08	0.15	0.06	0.06	0.08	0.13	
9	10									317	351										0.08	0.08	0.03	0.06	0.10	0.12
10	11						1		1	156	343						0.50			0.05	0.05	0.05	0.05	0.11	0.12	
11	12		1							148	389	0.33	0.33						0.25	0.08	0.18	0.05	0.05	0.15	0.13	
12	13	1			1					452	331	0.33								0.03	0.10	0.03	0.05	0.11	0.11	
13	14									359	302										0.13	0.13	0.03	0.05	0.12	0.10
14	15									131	352										0.08		0.04	0.13	0.12	
15	16									392	348										0.13		0.05	0.15	0.11	
16	17									166	472										0.05	0.07	0.21	0.19		
17	18									208	574										0.21	0.15	0.09	0.24	0.22	
18	19									274	674										0.18	0.03	0.11	0.30	0.20	
19	20									332	602															
20	21									926	804										0.33	0.05	0.08	0.30	0.26	
21	22									252	1,205									0.03	0.33	0.21	0.13	0.51	0.40	
22	23	3			1					394	1,906	1.00		0.60	0.10	0.30	0.20	0.33		0.05	0.74	0.28	0.21	0.80	0.63	
23	24	2	1	1	7	2	1			847	2,061	0.67	0.25		0.70	0.40				0.26	1.21	0.23	0.28	0.95	0.68	
24	25			1	18	2	1			889	2,287		0.25	0.20	0.70	0.40	0.50			0.33	1.46	0.18	0.29	1.16	0.75	
25	26			1	15	6	1			1,209	2,777		0.33	0.20	1.80	0.40	0.50			0.59	1.38	0.36	0.40	1.37	0.91	
26	27			2	6	3				1,648	3,754			0.20	1.50	1.20	0.50			0.59	2.18	0.36	0.54	2.14	1.23	
27	28			2	14	3				1,828	4,009		0.25	0.40	2.20	1.00				0.74	3.36	0.36	0.60	3.19	1.32	
28	29			3	20	198	1			2,587	5,175		0.25	0.40	4.30	0.40		0.33		0.51	5.08	0.67	0.85	3.95	1.70	
29	30	1	1	5	30	9				3,099	6,314			1.00	3.00	1.80				1.13	7.05	0.36	1.06	4.55	2.08	
30	31			6	37	16	1	3	1	3,221	6,470		0.25	1.00	3.70	3.20	0.50		0.25	1.67	7.69	0.54	1.30	5.00	2.13	
31	32	1	2	6	34	11	4	4	1	3,954	7,470			1.20	3.40	2.20	2.00	1.33	0.25	1.54	9.26	0.90	1.24	4.08	2.09	
32	33			1	27	13	1			3,787	8,374		0.25	1.20	4.30	4.40	0.50		0.25	1.95	9.21	1.62	1.30	3.59	1.66	
33	34			4	3	12	5			2	5,047			0.40	1.40	0.60				0.51	5.08	0.67	0.85	3.95	1.70	
34	35			5	18	6				2	6,314			1.00	3.00	1.80				1.13	7.05	0.36	1.06	4.55	2.08	
35	36			1	23	12	1			3,221	6,314			1.00	3.00	1.80				1.13	7.05	0.36	1.06	4.55	2.08	
36	37	10	2	2	28	13	1	4	4	3,954	7,470		0.25	1.00	3.70	3.20	0.50	1.00	0.25	1.67	7.69	0.54	1.30	5.00	2.13	
37	38	2	1	5	30	9				2,687	5,456	0.33	0.50	0.20	2.30	2.40	0.50	1.33	0.25	1.10	4.49	1.13	0.89	1.80	0.65	
38	39	4		3	22	4	1	2	2	2,938	5,661	0.33	0.50	0.20	2.70	2.60	0.50	2.67	1.25	1.51	4.13	1.49	0.97	1.86	0.72	
39	40	6	4	1	22	4				3,179	6,359	0.33	0.50	0.20	2.80	2.60	0.50	1.33	1.00	1.67	3.18	2.31	1.05	1.79	0.80	
40	41	9	1		22	4	1			3,160	6,466	0.33	0.25	0.40	1.00	1.00			1.00	0.59	2.90	2.82	1.04	1.79	0.81	
41	42			2	30	6				3,496	7,470			0.60	2.20	0.80	0.50	0.67	0.50	0.74	2.21	1.04	1.32	0.59		
42	43	8			3	5				3,159	6,359		1.00	0.40	1.10	0.40		0.33	0.50	1.00	2.46	2.51	1.07	1.15	0.57	
43	44	3	3	1	19	5	2			3,259	6,359		0.25	0.40	2.20	0.80	0.50		0.50	1.00	2.46	2.51	1.07	1.15	0.57	
44	45	1	1	1	20	2				3,534	7,470			0.40	3.00	1.20		1.00	0.50	1.33	1.46	2.13	1.15	0.95	0.60	
45	46	4	2	1	15	1	2			3,106	6,359			0.40	3.00	0.80		0.33	0.50	1.15	1.08	1.69	1.02	0.64	0.57	
46	47			2	7	2	1			3,004	6,359			0.20	1.90	1.00	1.00	0.33	0.50	0.82	1.44	1.77	0.99	0.66	0.52	
47	48	5			6	2	2			2,972	6,138	0.33	0.75	0.33	0.20	0.40			0.25	0.49	1.13	2.15	0.98	0.62	0.54	
48	49			1	18	2	10			2,724	6,359	1.33	0.50	0.20	1.50	0.20	1.00		0.25	0.67	0.77	1.13	0.90	0.54	0.43	
49	50		1		15	1	3			2,813	6,359	1.33	0.50	0.20	1.50	0.20	1.00		0.25	0.67	0.77	1.13	0.90	0.54	0.43	
50	51				3	5	1			2,721	6,359	1.67		0.40	0.60	0.40	0.50		0.25	0.38	0.87	1.36	0.92	0.54	0.41	
51	52	4			6	2	2			2,721	6,359	1.67		0.40	0.60	0.40	0.50		0.25	0.38	0.87	1.36	0.92	0.54	0.41	
52	53	4			3	10				2,601	6,359	1.33	0.50	0.20	1.50	0.20	1.00		0.25	0.67	0.77	1.13	0.90	0.54	0.43	
53	合計	1	23	20	74	558	184	45	40	89,542	172,659	26.33	5.75	6.67	14.80	55.80	36.80	22.50	13.33	27.26	99.79	39.74	29.45	56.78	29.98	

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

伝染性紅斑

2004 年の患者報告数は 334 人（定点当たり 8.56 人/年）であった。本疾患は過去 1992 年、1997 年および 2001～2002 年と、4～5 年に一度流行期を迎えている。前年（157 人 定点当たり 4.03 人/年）から非流行期に入ったようで、本年は小規模な流行であった。前年 11 月以降、新居浜地区を中心に東予で散発が続いており、本年 4 月中旬から四国中央地区で増加傾向が確認され、他の地区よりも患者数の多い状況で推移した。第 27 週には、四国中央地区で定点当たり 5.33 人/週、県全体でも 0.56 人/週と流行のピークを迎え、その後減少に転じたが、他の地区では顕著な増加は確認されなかった。年齢別では 0 歳から 9 歳を中心に幅広く分布しており、0 歳から 4 歳が 42%（141 人）、5 歳から 9 歳が 50%（168 人）を占めた。



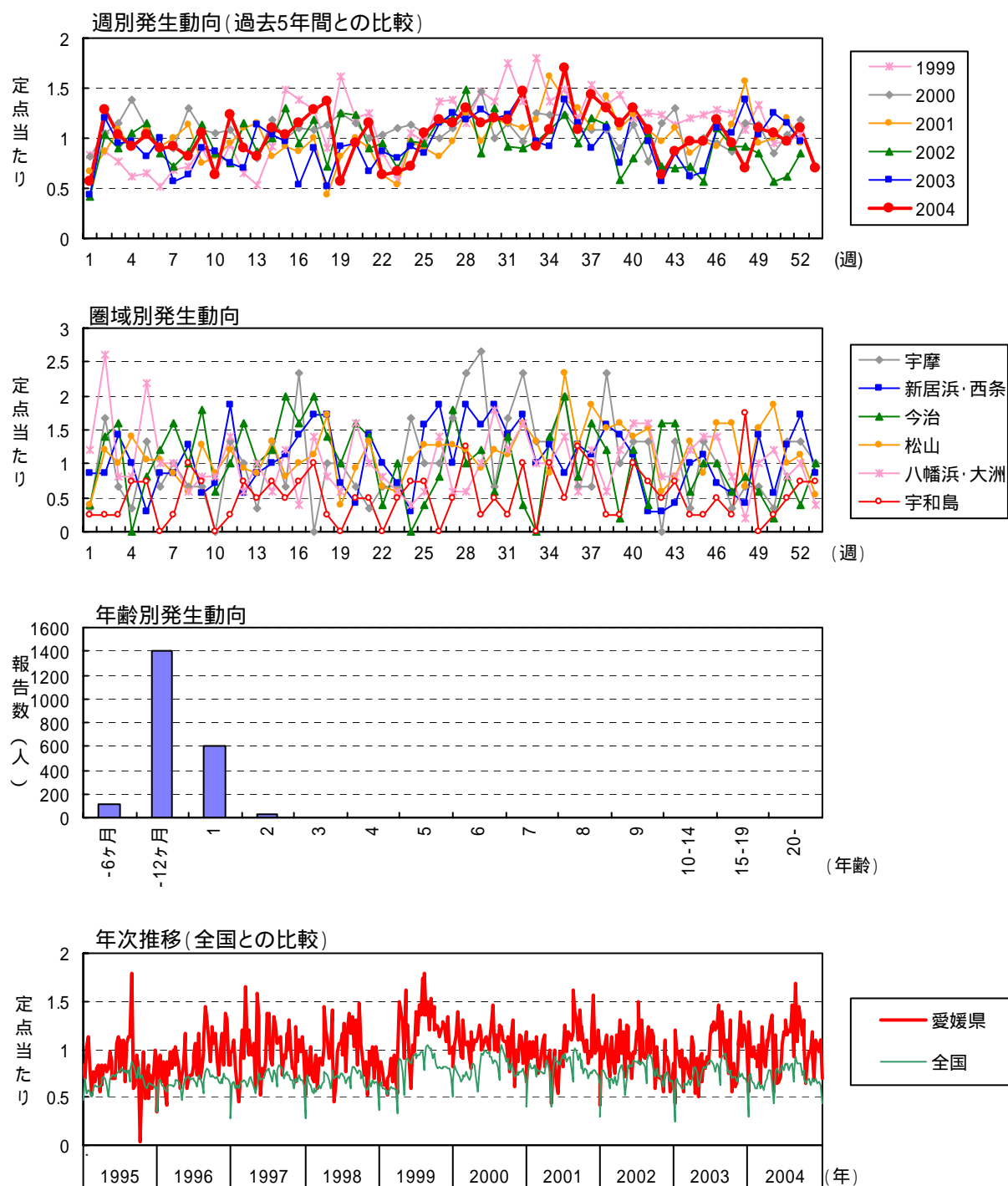
傳染性紅斑

[illegible]

注) 2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の還元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

突発性発しん

2004 年の患者報告数は 2,132 人（定点当たり 54.67 人/年）で、前年（1,939 人 定点当たり 49.72 人/年）に比べやや増加した。患者報告数に多少の変動は見られるが、例年どおり年間を通じほぼ一定の推移を示した。地域的には松山市（定点当たり 71.50 人/年）が他の地区に比べ多く、宇和島地区（定点当たり 28.25 人/年）は少なかった。年齢別では 2 歳未満が全体の 99%（2,105 人）を占めた。

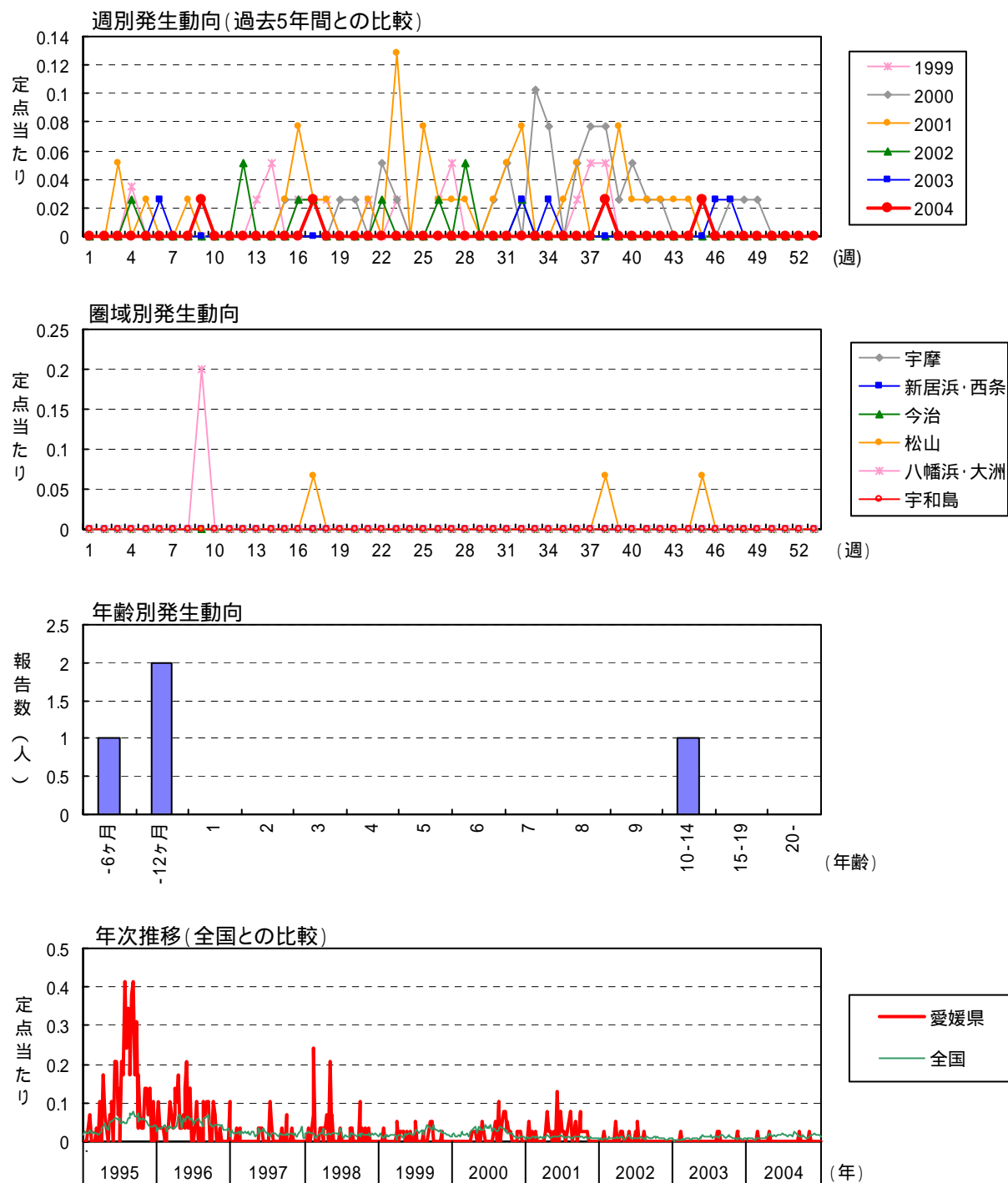


突発性発しん

月 週	患者報告数										定点あたり報告数														
	愛媛県										全 国														
	2004年 保健所別					愛媛県					2004年 保健所別					愛媛県									

百日咳

2004 年の患者報告数は 4 人（定点当たり 0.10 人/年）で、過去 10 年間で最も少ない報告数であった。1995 年以降県内で流行は見られず、患者報告数の極めて少ない状況で推移している。地域別では松山市が 3 人、八幡浜地区が 1 人で、年齢別では 0 歳が 3 人、10～14 歳が 1 人であった。



百日咳

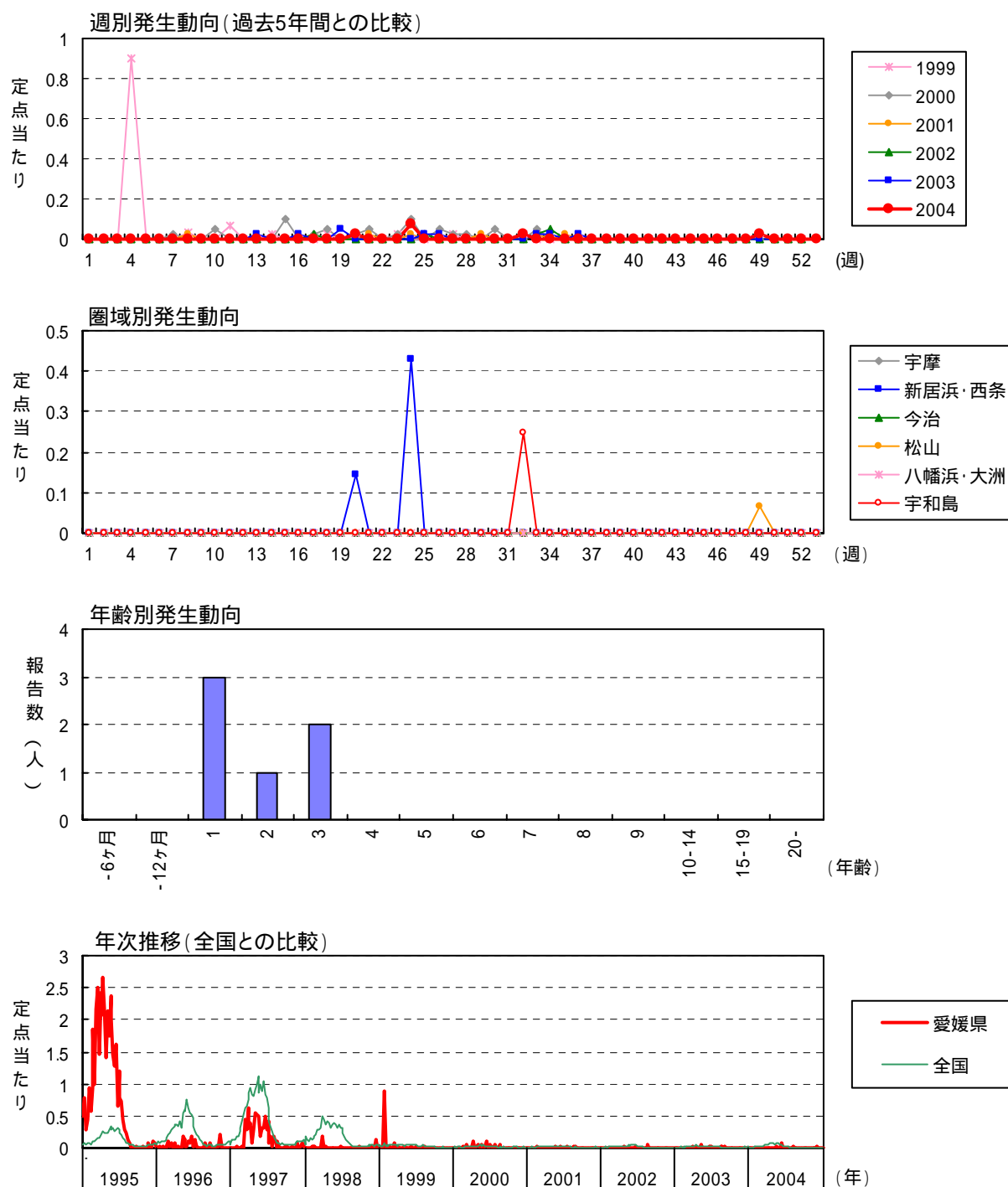
		患者報告数												定点あたり報告数					
月	週	2004年 保健所別												愛媛県			全 国		
		四 国 中 央	新 居 浜	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市	松 山 中 央	大 洲	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004			2004	2003	2002	2004	2003	2002
1	1										7	6	11				0.00	0.00	0.00
	2										29	19	21				0.01	0.01	0.01
1	3										21	15	19				0.01	0.00	0.01
	4										32	16	24	1		0.03	0.01	0.01	0.01
	5										29	13	26				0.01	0.00	0.01
2	6										18	18	15				0.01	0.01	0.00
	7										19	16	36	1		0.03	0.01	0.01	0.01
2	8										25	27	21				0.01	0.01	0.01
	9								1		26	10	24	1			0.01	0.00	0.01
3	10										26	24	30				0.01	0.01	0.01
	11										26	27	27				0.01	0.01	0.01
3	12										31	28	26				0.01	0.01	0.01
	13										28	18	36				0.01	0.01	0.01
4	14										26	32	28				0.01	0.01	0.01
	15										40	29	31				0.01	0.01	0.01
4	16										39	23	33				0.01	0.01	0.01
	17					1					61	28	43	1			0.02	0.01	0.01
4	18										46	30	17	1			0.02	0.01	0.01
5	19										33	11	27				0.01	0.00	0.01
	20										55	41	40				0.02	0.01	0.01
5	21										55	32	34				0.02	0.01	0.01
	22										41	50	50				0.01	0.02	0.02
6	23										54	38	30				0.02	0.01	0.01
	24										52	43	30				0.02	0.01	0.01
6	25										52	38	22				0.02	0.01	0.01
	26										69	36	31				0.02	0.01	0.01
7	27										53	37	23				0.02	0.01	0.01
	28										55	47	31				0.02	0.02	0.01
7	29										49	29	28				0.02	0.01	0.01
	30										45	35	38				0.01	0.01	0.01
8	31										52	42	24				0.02	0.01	0.01
	32										46	34	27				0.02	0.01	0.01
8	33										36	20	17				0.01	0.01	0.01
	34										42	39	39				0.01	0.01	0.01
9	35										73	55	45				0.02	0.02	0.01
	36										63	46	29				0.02	0.02	0.01
9	37										46	39	28				0.02	0.01	0.01
	38										44	34	27				0.01	0.01	0.01
10	39										41	43	38				0.01	0.01	0.01
	40										43	49	36				0.01	0.02	0.01
10	41										48	34	32				0.02	0.01	0.01
	42										39	39	34				0.01	0.01	0.01
11	43										26	28	25				0.01	0.01	0.01
	44										26	22	19				0.01	0.01	0.01
11	45										39	28	21				0.01	0.01	0.01
	46										47	19	27				0.02	0.01	0.01
12	47										53	30	22				0.02	0.01	0.01
	48										51	23	19				0.02	0.01	0.01
12	49										61	30	17				0.02	0.01	0.01
	50										47	19	31				0.02	0.01	0.01
52	51										49	32	25				0.02	0.01	0.01
	52										56	23	24				0.02	0.01	0.01
合計	53					3			1		4	5	10	2,205	1,544	1,458	0.73	0.51	0.48

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

風しん

2004 年の患者報告数は 6 人（定点当たり 0.15 人/年）で、過去 10 年間では 2001 年（6 人）2002 年（5 人）に次いで患者報告数の少ない年であった。県内では 1995 年（定点当たり 41.7 人/年）の大流行以降、患者報告数が減少しており、患者報告数の極めて少ない状況が続いている。地域別では新居浜地区が 4 人、松山地区と宇和島地区が各 1 人で、年齢別では 1 歳が 3 人、2 歳が 1 人、3 歳が 2 人であった。

一方、全国の患者報告数は 2004 年 4,248 人（定点当たり 1.40 人/年）で前年に比べて 1.5 倍に増加し、感染症法施行（1999 年 4 月）以降では最多となった。報告の多い都道府県は群馬県 551 人（9.03 人/年）大分県 244 人（6.78 人/年）栃木県 242 人（5.26 人/年）鹿児島県 279 人（4.98 人/年）などで、中四国では少数の報告であった。全数把握疾患である先天性風しん症候群（CRS）は、2000～2003 年は各 1 例であったが、2004 年は患者数の増加に伴い 10 例の報告があった。



風しん

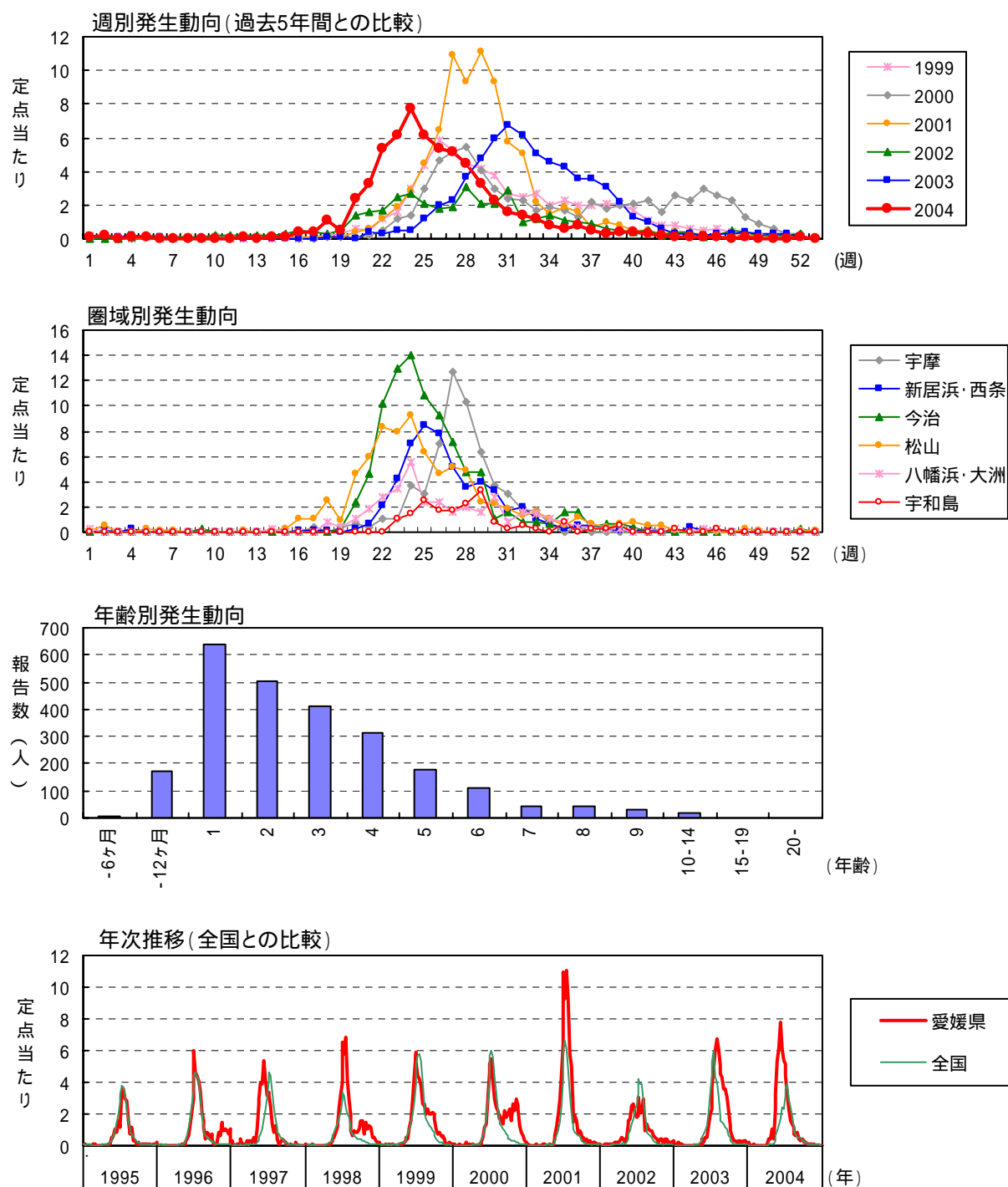
		患者報告数																定点あたり報告数							
		2004年 保健所別										愛媛県						全 国							
		四 国 中 央	新 居 浜	西 条 中 央	今 治 中 央	松 山 市	松 山 中 央	大 洲	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002						
月	週	1									25	11	17							0.01	0.00	0.01			
		2									33	28	28							0.01	0.01	0.01			
1	3										27	22	35							0.01	0.01	0.01			
	4										32	36	65							0.01	0.01	0.01			
	5										59	45	32							0.02	0.01	0.01			
	6										65	23	50							0.02	0.01	0.01			
2	7										65	57	41							0.02	0.02	0.01			
	8										110	37	60							0.04	0.01	0.02			
	9										93	50	56							0.03	0.02	0.02			
	10										116	52	61							0.04	0.02	0.02			
3	11										117	88	73							0.04	0.03	0.02			
	12										150	63	95							0.05	0.02	0.03			
	13										194	93	100		1					0.06	0.03	0.03			
	14										183	108	105							0.06	0.04	0.03			
4	15										189	88	106							0.06	0.03	0.03			
	16										232	131	98		1					0.08	0.04	0.03			
	17										203	111	117			1				0.07	0.04	0.04			
	18										218	97	102							0.07	0.03	0.03			
5	19										156	111	113							0.05	0.04	0.04			
	20										243	107	121							0.08	0.04	0.04			
	21										220	97	113							0.07	0.03	0.04			
	22										217	118	150							0.07	0.04	0.05			
6	23										147	87	138							0.05	0.03	0.05			
	24										148	90	141							0.05	0.03	0.05			
	25										98	96	143							0.03	0.03	0.05			
	26										105	106	96		1					0.03	0.03	0.03			
7	27										88	86	91							0.03	0.03	0.03			
	28										111	67	91							0.04	0.02	0.03			
	29										62	63	47							0.02	0.02	0.02			
	30										36	62	44							0.01	0.02	0.01			
8	31										30	49	29							0.01	0.02	0.01			
	32										31	33	34							0.01	0.01	0.01			
	33										21	25	17							0.01	0.01	0.01			
	34										33	25	36							0.01	0.01	0.01			
9	35										29	24	19							0.01	0.01	0.01			
	36										21	24	29							0.01	0.01	0.01			
	37										24	26	29							0.01	0.01	0.01			
	38										36	15	18							0.01	0.00	0.01			
10	39										26	14	24							0.01	0.00	0.01			
	40										31	23	19							0.01	0.01	0.01			
	41										25	17	14							0.01	0.01	0.00			
	42										18	7	11							0.01	0.00	0.00			
11	43										22	13	12							0.01	0.00	0.00			
	44										21	29	14							0.01	0.01	0.00			
	45										21	11	15							0.01	0.00	0.00			
	46										14	22	15							0.00	0.01	0.00			
12	47										16	30	16							0.01	0.01	0.01			
	48										12	20	11							0.00	0.01	0.00			
	49										14	26	19							0.00	0.01	0.01			
	50										17	42	13							0.01	0.01	0.00			
合計											22	52	20							0.00	0.01	0.01			
											10	-	-							0.01	0.02	0.01			
											4,248	2,795	2,971							1.40	0.92	0.98			
											5	9	5							0.13	0.23	0.15			

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、台週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

ヘルパンギーナ

2004 年の患者報告数は 2,477 人（定点当たり 63.51 人/年）で、前年（2,622 人 定点当たり 67.23 人/年）に比べ若干減少したが、流行のピークで比較すると、過去 10 年間では 2001 年（第 29 週 定点当たり 11.08 人/週）に次いで大きな規模であった。本年の流行時期は例年に比べ 1 ヶ月程度早く、全国的に見ても本県に特徴的な動向であった。4 月中旬から中予で増加が始まり、東予、南予へと流行地域を拡大しながら、第 24 週（定点当たり 7.74 人/週）に流行のピークを迎えた。その後も四国中央地区で増加が続いたが、第 28 週には県下全域で減少に転じた。地域的には松山市（定点当たり 92.00 人/年）今治地区（定点当たり 91.60 人/年）が多く、特に今治地区は第 24 週に定点当たり 14.00 人/週まで増加し、他の地区に比べ大規模な流行であった。年齢別では 1 歳（638 人）が最も多く、1 歳から 4 歳が全体の 75%（1,865 人）を占めた。



ヘルパンギーナ

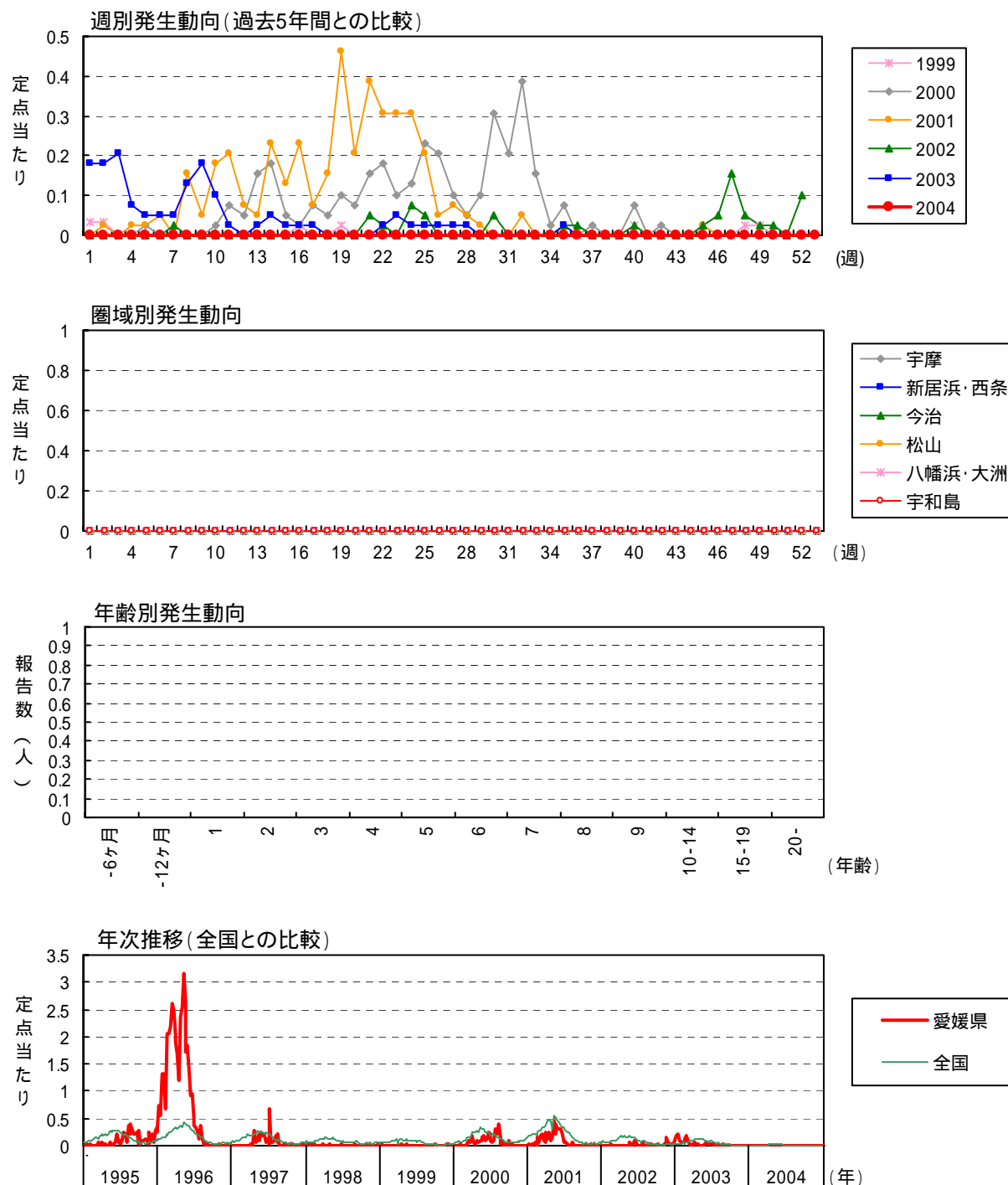
月 週	患者報告数											愛媛県			全 国			定点あたり報告数						愛媛県			全 国								
	2004年 保健所別						宇和島中央					八幡浜中央			大洲			松山中央			松山市			今治中央			西条中央			新居浜			四国中央		
	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002
1				2	4	4	1		3	2		61	37	51				0.20	0.40	0.80		0.33					0.08	0.05		0.02	0.01	0.02			
2		1							9	2	1	87	83	115													0.23	0.05		0.03	0.03	0.04			
3										3	1	84	84	111													0.08	0.03	0.03	0.03	0.04				
4		2							2	7	5	67	91	119												0.05	0.18	0.13	0.02	0.03	0.04				
5				3	1				4	3	6	82	77	122				0.30	0.20							0.10	0.08	0.15	0.03	0.03	0.04				
6				1					1	3	4	69	86	132				0.10								0.03	0.08	0.10	0.02	0.03	0.04				
7				1					1	1	2	73	106	115				0.10								0.03	0.03	0.05	0.02	0.03	0.04				
8			1								4	67	84	141												0.10	0.02	0.03	0.03	0.05					
9				1					1		3	96	76	167				0.20								0.03	0.08	0.03	0.02	0.05					
10										6		101	79	194														0.15	0.03	0.03	0.06				
11										1	8	95	116	205				0.20									0.03	0.21	0.03	0.04	0.07				
12				2					2		8	104	124	220												0.05	0.21	0.03	0.04	0.07					
13										1	8	108	140	175													0.03	0.21	0.05	0.06					
14						1			2		9	155	140	231						0.20		0.33				0.05	0.23	0.05	0.05	0.08					
15				2	1		1		3	1	13	147	171	298				0.20	0.20							0.08	0.03	0.33	0.05	0.06	0.10				
16		1		11	4				16		20	247	262	395				1.10	0.80							0.41	0.51	0.08	0.09	0.13					
17	1	1		11	4				17	1	17	392	302	520				0.25	0.67							0.25	0.44	0.03	0.44	0.13	0.10	0.17			
18		1		29	9	4			43	2	10	475	428	452				2.90	1.80	2.00						1.10	0.05	0.26	0.16	0.14	0.15				
19	1			7	7				18	4	20	398	521	797				0.20	0.70	1.40						0.46	0.10	0.51	0.13	0.17	0.26				
20	2	1		12	46	24	5		91	1	55	1,039	896	1,422				2.40	4.60	4.80						2.33	0.03	1.41	0.34	0.29	0.47				
21	1	3		23	65	24	9		127	15	61	1,782	1,657	2,167				4.60	6.50	4.80						3.26	0.38	1.56	0.59	0.54	0.71				
22	3	10	5	51	98	27	10		208	10	66	2,976	2,202	2,833				10.20	9.80	5.40		1.33				5.33	0.26	1.69	0.98	0.72	0.93				
23	3	23	7	65	90	30	15	2	239	20	98	3,975	3,023	3,959				13.00	9.00	6.00						6.13	0.51	2.51	1.31	0.99	1.30				
24	11	32	17	70	95	43	24	4	302	19	103	5,069	3,858	5,079				14.00	9.50	8.60						7.74	0.49	2.64	1.66	1.27	1.67				
25	9	48	11	54	77	18	11	1	239	48	80	7,230	6,577	6,846				10.80	7.70	3.60						6.13	1.23	2.05	2.38	2.16	2.25				
26	21	43	12	46	57	12	6	7	210	79	68	7,123	10,256	7,626				9.20	5.70	2.40						5.38	2.03	1.74	2.34	3.36	2.51				
27	38	26	10	36	65	13	5	3	7	203	89	74	9,453	13,462	9,714				7.20	6.50	2.60					5.21	2.28	1.90	3.11	4.42	3.19				
28	31	18	7	24	59	15	6	4	9	173	145	118	10,795	16,147	12,523				4.80	5.90	3.00					4.44	3.72	3.03	3.55	5.30	4.12				
29	19	17	11	24	25	10	7	1	127	187	81	11,839	18,274	11,577				4.80	5.90	3.00						3.25	3.26	4.79	2.08	3.89	6.00				
30	11	18	5	23	10	11	3	3	89	234	82	9,132	13,328	11,658				3.67	4.50	1.67						3.25	2.28	6.00	2.10	3.00	4.38				
31	9	9	3	8	23	4	2	1	61	263	114	7,468	12,121	8,512				1.60	2.30	0.80						0.75	2.28	6.00	2.10	3.00	4.38				
32	5	10	4	4	18	2	8	2	53	238	39	5,736	9,781	6,017				3.33	0.80	1.80						5.21	2.28	1.90	3.11	4.42	3.19				
33	5	5	2	4	22	1	7	1	47	197	45	3,593	5,746	3,343				2.20	0.20	0.20						1.21	5.05	1.15	1.19	1.92	1.12				
34	2	4	1	3	13	2	5		30	177	53	2,557	4,776	2,646				0.60	1.30	0.40						0.77	4.54	1.36	0.85	1.57	0.87				
35		2		8	8		4		25	167	43	2,251	4,567	2,171				1.60	0.80							0.64	4.28	1.10	0.74	1.50	0.71				
36	1	2	2	8	14	3	1	1	32	140	38	1,746	4,147	1,978				1.60	1.40	0.60		0.33				0.82	3.59	0.97	0.58	1.37	0.65				
37		3	1	2	8	1	2	1	18	138	36	1,741	3,594	1,637				0.80	0.20	1.00						0.46	3.54	0.92	0.57	1.18	0.54				
38		2		3	5	1	1	1	13	121	25	1,459	3,062	1,079				0.50	0.50	0.20						0.33	3.10	0.64	0.48	1.01	0.36				
39			1	3	9	1	1	2	16	87	19	1,063	2,053	722				0.33	0.60	0.90						0.41	2.23	0.49	0.35	0.68	0.24				
40			1	2	10	1			14	51	16	999	1,461	602				0.33	0.40	1.00						0.36	1.31	0.41	0.33	0.48	0.20				
41	1	1		6	2				10	37	18	739	968	452				0.60	0.40							0.26	0.95	0.46	0.24	0.32	0.15				
42				2	2	5			7	25	8	541	630	353				0.20	1.00							0.18	0.64	0.21	0.18	0.21	0.12				
43				2			1		4	13	15	423	473	293				0.20				0.25				0.10	0.33	0.38	0.14	0.16	0.10				
44		3							3	11	17	355	407	274								0.25				0.08	0.28	0.44	0.12	0.13	0.09				
45		1		1	1	1			4	8	4	268	345	181				0.10	0.20	0.20						0.10	0.21	0.10	0.09	0.11	0.06				
46		1				1		1	3	12	9	257	340	203						0.50		0.25				0.08	0.31	0.23	0.08	0.11	0.07				
47										10	18	239	300	192													0.26	0.46	0.08	0.10	0.06				
48				3					3	14	16	264	286	199				0.30								0.08	0.36	0.41	0.09	0.09	0.07				
49				1					1	10	8	231	293	163				0.10								0.03	0.26	0.21	0.08	0.10	0.05				
50										12	8	197	278	161													0.31	0.21	0.06	0.09	0.05				
51										11	7	184	193	168													0.28	0.18	0.06	0.06	0.06				
52									2	2	11	158	166	131													0.0								

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

麻しん（成人麻しんを除く）

2004 年の患者報告はなかった。本疾患は 1996 年に県下全域で流行して以来、局地的な小流行に留まっており、患者報告の少ない状況が続いていた。2002 年 10 月から 2003 年 7 月に麻しん、成人麻しんの流行が発生したが、その後新たな患者報告はない。

全国的に見ても、この 10 年間春季を中心とする流行を繰り返してきたが、2004 年は全国単位では流行と呼べる程の患者報告数の増加は見られなかった。



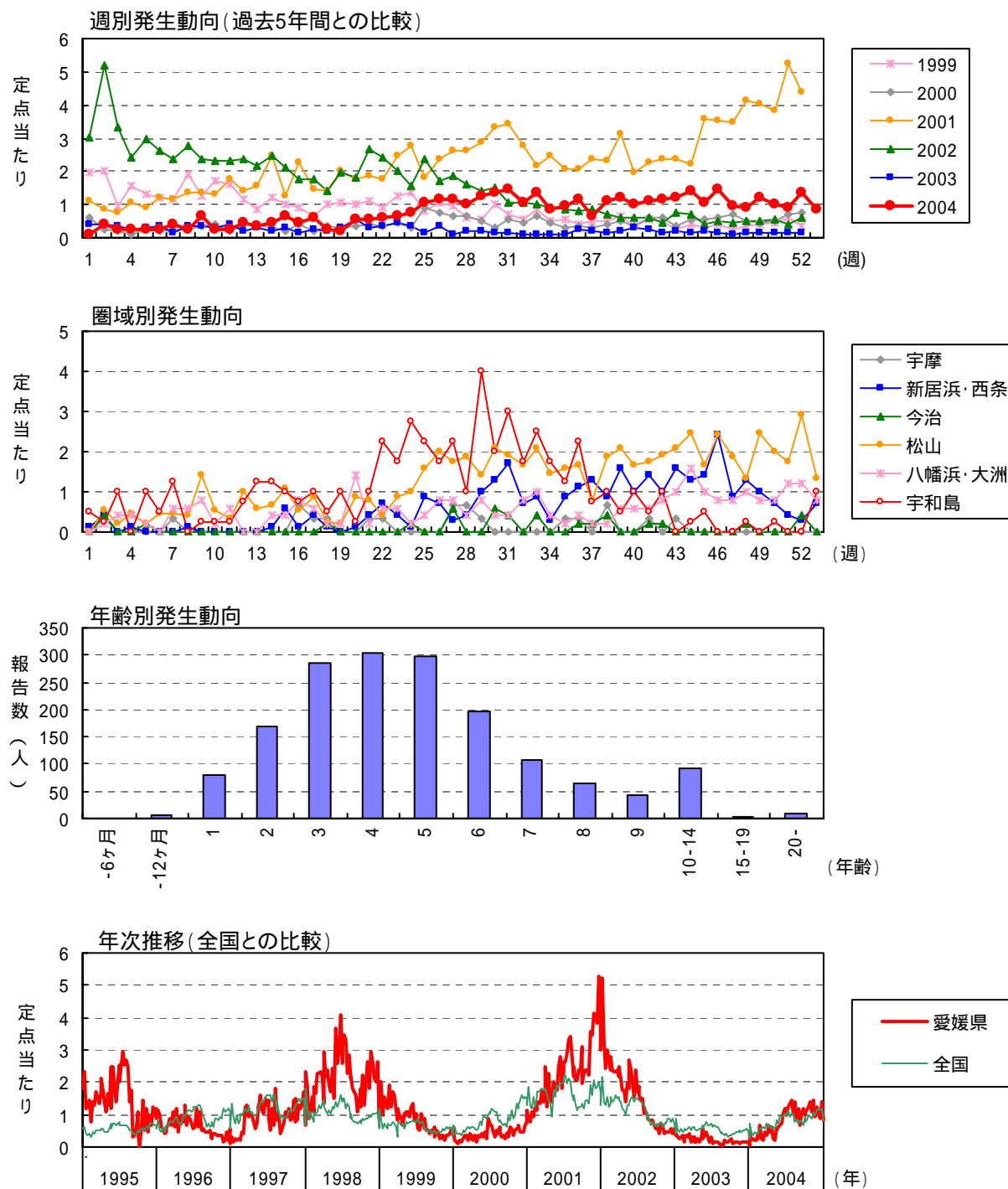
麻しん(成人麻しんを除く)

		患者報告数														定点あたり報告数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		2004年 保健所別								愛媛県						全国																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
月	週																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

流行性耳下腺炎

2004 年の患者報告数は 1,656 人（定点当たり 42.46 人/年）で、前年（467 人 定点当たり 11.97 人/年）より増加した。年始以降、県下各地で散発し緩やかな増加傾向が見られたが、6 月下旬以降は大きな増減はなく、ほぼ一定の推移を示した。地域的には松山市（定点当たり 81.20 人/年）大洲地区（定点当たり 61.50 人/年）宇和島地区（定点当たり 53.50 人/年）が多かった。年齢別では乳幼児から成人の幅広い年齢層にわたっており、特に 2 歳から 6 歳の幼児が全体の 76%(1,254 人)を占めた。過去の推移を見ると、本疾患は 3～4 年周期で流行しており、2001 年から 2002 年の流行期の後 2 年を経過していることから、今後の動向に注意が必要である。



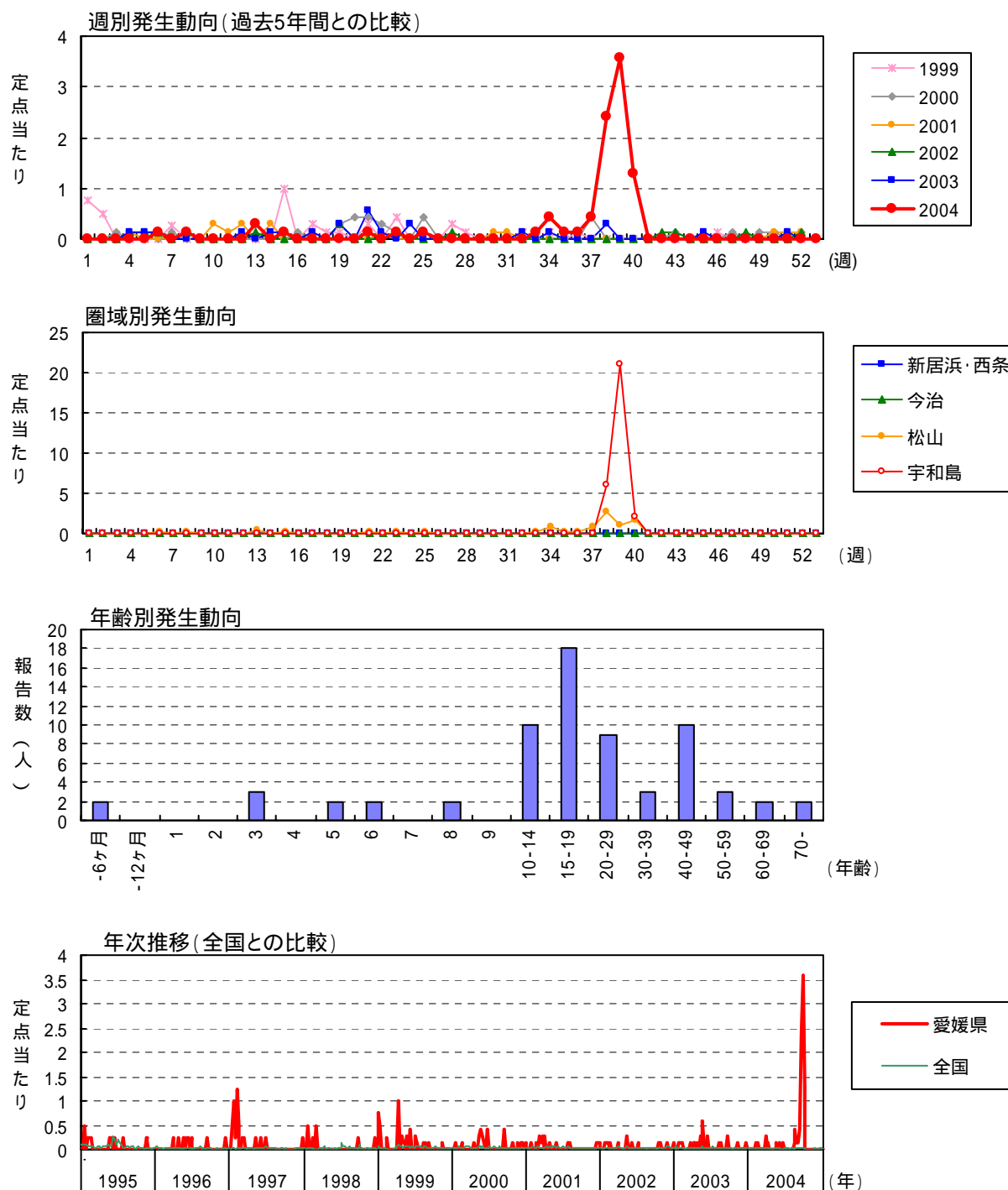
流行性耳下腺炎

月 週	患者報告数												愛媛県										全国				2004年 保健所別						愛媛県				全国				
	2004年 保健所別						愛媛県						全国				2004年 保健所別						愛媛県				全国														
	2004年 保健所別						愛媛県						全国				2004年 保健所別						愛媛県				全国														
	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	大洲	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003
1	1	3	1	2	1	7	1	16	16	118	691	1,148	3,786	0.33	0.75	0.33	0.40	0.10	1.40	0.33	0.50	0.08	0.38	3.03	0.23	0.39	1.26														
2	1						1	9	13	130	1,399	1,642	4,189	0.33			0.40	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.41	5.21	0.73	0.88	2.15														
3							1	10	10	95	1,072	1,353	3,849	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	1.00	0.23	0.33	3.33	0.46	0.54	1.38														
4		1		1	1	1	1	9	12	117	1,430	1,696	4,732	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	1.00	0.23	0.31	3.00	0.47	0.56	1.56														
5							1	2	9	14	1,211	1,350	3,808	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.50	0.23	0.36	2.62	0.40	0.44	1.25														
6							2	9	14	102	1,210	1,546	4,017	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.50	0.23	0.36	2.62	0.40	0.44	1.25														
7	1			3	4	3	5	16	6	92	1,210	1,546	4,017	0.33	0.25		0.20	0.10	0.40	0.33	1.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
8		1		6	3	3	10	10	13	109	1,603	1,706	4,615	0.25			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
9				20	1	4	1	26	14	92	1,739	1,557	4,154	0.25			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
10				3	5	1	1	10	12	91	1,714	1,759	4,395	0.25			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
11				4	1	3	1	9	16	91	1,870	1,890	4,763	0.25			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
12				11	4		3	18	7	92	1,729	1,576	4,422	0.25			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
13				5	4		5	14	12	84	2,138	1,839	4,667	0.25			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
14		1				2	5	18	7	97	1,898	1,885	4,383	0.25			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
15		3	1			1	4	26	12	82	2,089	1,770	4,129	0.25			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
16	2	1				1	3	18	6	68	1,993	1,612	3,612	0.25			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
17	1		3		2	2	4	24	10	68	1,787	1,622	3,395	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
18	1		1	1	1	1	2	10	7	55	1,842	1,673	2,939	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
19				3		1	4	8	11	77	1,663	1,711	3,942	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
20		1		4	9	7	1	22	22	71	2,288	2,005	3,932	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
21	1	3		8	4	3	4	21	11	104	2,484	1,773	4,009	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
22	1	4	1		3	3	9	24	14	95	2,252	2,025	4,549	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
23		3		10	3	3	7	26	18	78	3,006	2,350	4,679	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
24		1		11	4		1	29	13	61	2,855	2,023	4,185	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
25		5	1	18	6	1	9	41	6	92	2,770	2,088	4,455	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
26		4	1	24	6	4	7	46	13	67	3,199	2,259	4,465	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
27	2	2		3		4	9	46	4	73	3,100	1,975	4,252	0.67			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
28	2	1	2	26	2	2	4	39	7	62	3,040	2,109	4,321	0.67			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
29	1	4	3	16	5	2	2	49	7	56	3,445	2,033	4,238	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
30		7	2	26	5	2	8	53	6	59	2,872	1,820	4,025	1.75			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
31	10	2	2	25	4	2	12	57	6	41	3,193	1,885	3,908	2.50			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
32		5		21	4	4	7	41	4	42	3,124	1,637	3,615	1.25			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
33		5	1	23	8	4	10	54	3	39	2,325	1,250	2,526	1.25			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
34		2		19	3	2	7	33	3	35	2,729	1,486	3,061	0.50			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
35	1	3	3	21	3	1	5	37	3	33	2,591	1,190	2,502	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
36	1	3	5	22	3	1	9	46	9	32	2,176	1,109	1,996	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
37		3	6	1	3	1	3	26	7	33	2,454	1,258	2,258	0.75			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
38	2	4	2	21	7	1	4	43	6	27	2,300	972	1,969	0.67			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
39		2	9	30	1	3	2	47	8	23	2,121	1,130	1,965	0.50			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
40		1	6	24	1	3	4	39	11	23	2,784	1,147	2,172	0.25			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
41	1	3	7	23	3	3	2	43	9	24	2,435	1,097	1,933	0.33			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
42		1	6	26	3	4	4	45	5	17	2,556	1,217	2,267	0.25			0.20	0.10	0.40	0.33	0.25	0.41	0.15	2.36	0.40	0.51	1.32														
43	1	3	8	28	3	4																																			

(4)眼科定点対象疾患(週報)

急性出血性結膜炎

2004 年の患者報告数は 68 人（定点当たり 9.71 人/年）で、前年（22 人 定点当たり 3.14 人/年）より増加し、過去 10 年間では最も患者報告数が多かった。例年は主に中予からごく少数例の患者報告にとどまっているが、本年は 9 月に宇和島地区と中予で多発した。特に宇和島地区では、第 38 週から 40 週にかけて患者数の急激な増減が見られ、地域的な短期流行が確認された。年齢別では 10 歳代が 28 人（41%）と最も多く、20～40 歳代の成人が 22 人（32%）で、10 歳未満は 11 人（16%）にとどまった。

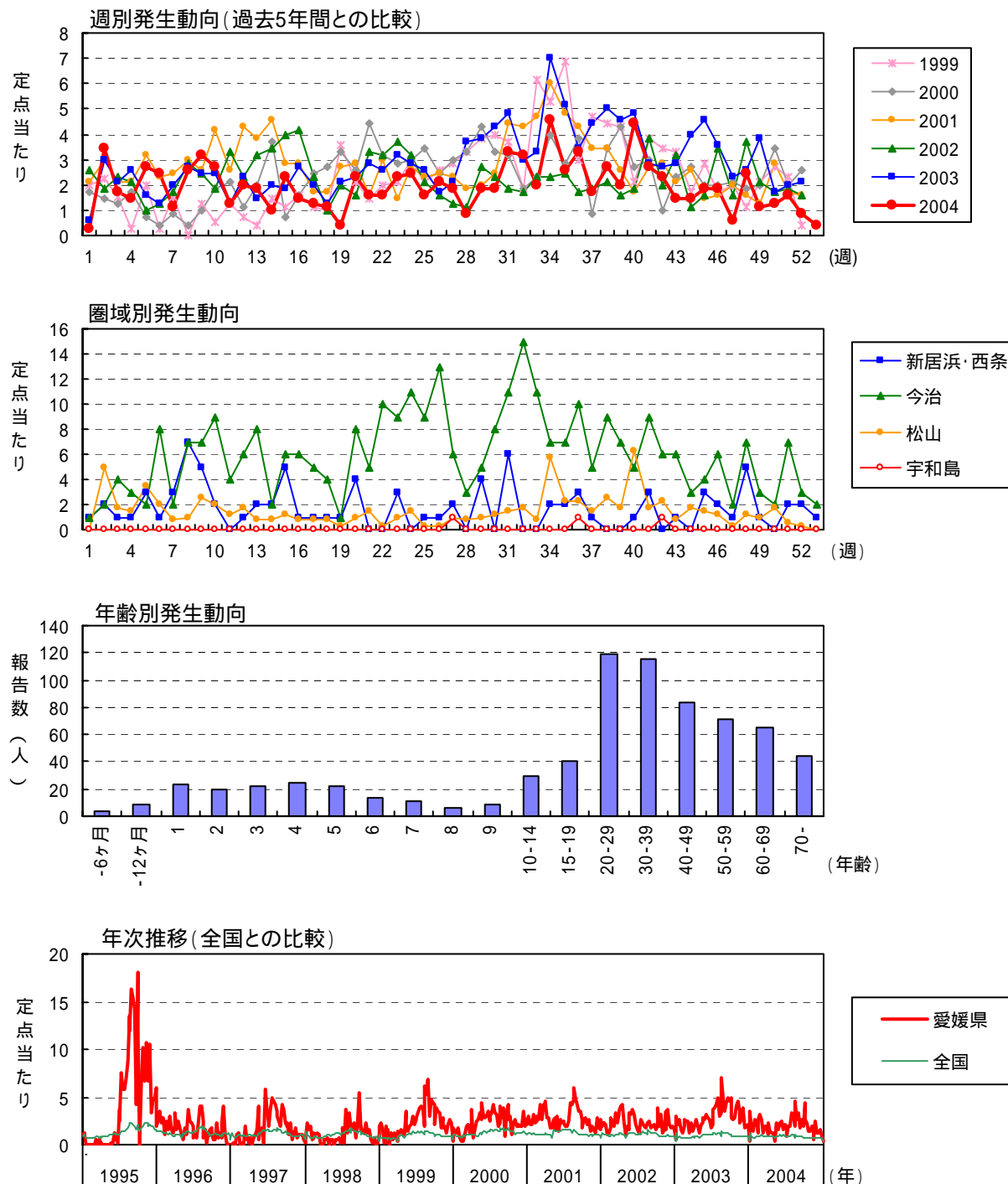


急性出血性結膜炎

月	週	患者報告数										定点あたり報告数				
		2004年 保健所別					愛媛県					2004年 保健所別				
		新居浜	今治中央	松山市	松山中央	宇和島中央	2004	2003	2002			新居浜	今治中央	松山市	松山中央	宇和島中央
1	1															
	2															
	3															
	4							1	1							
	5							1	1							
2	6															
	7			1				1	1							
	8			1				1	1							
	9															
	10															
3	11															
	12							1								
	13			1	1		2		1							
	14							1								
	15			1			1	1								
4	16															
	17							1								
	18															
	19							2	2							
	20															
5	21			1			1	4								
	22							1								
	23															
	24															
	25			1			1									
6	26															
	27								1							
	28															
	29															
	30															
7	31															
	32															
	33			1			1									
	34			3			3	1								
	35			1			1									
8	36			1												
	37			3			3									
	38			11			17	2								
	39			3	1		25									
	40			7			9									
9	41															
	42								1							
	43								1							
	44															
	45															
10	46															
	47															
	48															
	49															
	50															
11	51															
	52															
	53															
	合計			37	2	29	68	22	13	759	1,019	1,017		12.33	2.00	29.00
注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の遷元データを転記したものであり、確定値とは異なります。																

流行性角結膜炎

2004 年の患者報告数は 729 人（定点当たり 104.14 人/年）で、前年（1,053 人 定点当たり 150.43 人/年）よりも減少した。8 月を中心に患者数の増加が見られたが、例年に比べ低位で推移した。地域別では今治地区（定点当たり 321.00 人/年）が他の地区と比べ顕著に多かった。年齢別では乳児から高齢者まで幅広い年齢層にわたっているが、小児に比べ成人が多く、20 歳以上の患者が全体の 68%（497 人）を占めた。



流行性角結膜炎

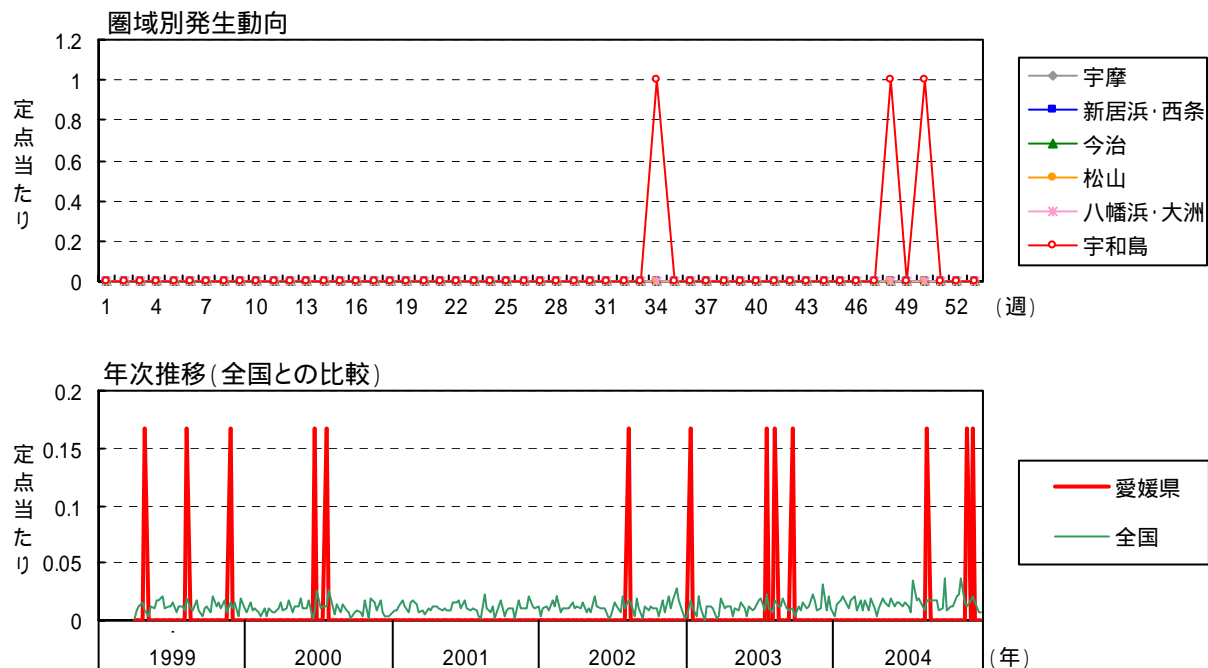
月 週		患者報告数										定点あたり報告数																			
		2004年 保健所別					愛媛県					全 国					2004年 保健所別					愛媛県					全 国				
		新居浜	今治中央	松山市	松山中央	宇和島中央	2004	2003	2002	全 国	2004	2003	2002	全 国	新居浜	今治中央	松山市	松山中央	宇和島中央	2004	2003	2002	全 国	2004	2003	2002	全 国				
1	1	1	17	3		2	4	18	173	208	429	1.00	1.00	2.00	2.00	5.67	3.00		0.29	0.57	2.57	0.28	0.34	0.68							
2	2	2				24	21	13	762	746	780	2.00	2.00	2.00	4.00	2.33			3.43	3.00	1.86	1.21	1.18	1.23							
3	1	4	7			12	15	16	510	499	661	1.00	4.00	4.00	2.00	2.33			1.71	2.14	2.29	0.80	0.79	1.04							
4	1	3	5	1		10	18	15	491	564	656	1.00	3.00	3.00	1.67	1.00			1.43	2.57	2.14	0.77	0.89	1.03							
5	3	2	13	1		19	11	7	491	502	618	3.00	2.00	4.33	1.00				2.71	1.57	1.00	0.77	0.79	0.97							
6	1	8	7	1		17	9	9	593	462	582	1.00	8.00	2.33	1.00				2.43	1.29	1.29	0.93	0.72	0.92							
7	3	2	3			8	14	12	562	426	556	3.00	2.00	1.00					1.14	2.00	1.71	0.88	0.67	0.88							
8	7	7	4			18	19	20	566	452	599	7.00	7.00	1.33					2.57	2.71	2.86	0.89	0.71	0.94							
9	5	7	9	1		22	17	17	564	398	589	5.00	7.00	3.00	1.00				3.14	2.43	2.43	0.89	0.63	0.93							
10	2	9	8			19	17	13	623	427	525	2.00	9.00	2.67					2.71	2.43	1.86	0.98	0.67	0.83							
11	4	4	5			9	9	23	562	428	613	4.00	1.67						1.29	1.29	3.29	0.88	0.67	0.96							
12	1	6	5	2		14	16	16	518	415	604	1.00	6.00	1.67	2.00				2.00	2.29	2.29	0.81	0.66	0.95							
13	2	8	2	1		13	10	22	591	524	693	2.00	8.00	0.67	1.00				1.86	1.43	3.14	0.93	0.83	1.09							
14	2	2	2	1		7	14	24	546	447	721	2.00	2.00	0.67	1.00				1.00	2.00	3.43	0.86	0.70	1.14							
15	5	6	4	1		16	13	28	547	555	717	5.00	6.00	1.33	1.00				2.29	1.86	4.00	0.86	0.87	1.13							
16	1	6	3			10	19	29	553	518	694	1.00	6.00	1.00					1.43	2.71	4.14	0.87	0.81	1.10							
17	1	5	2	1		9	14	16	554	567	654	1.00	5.00	0.67	1.00				1.29	2.00	2.29	0.87	0.89	1.03							
18	1	4	3			8	9	7	573	503	441	1.00	4.00	1.00					1.14	1.29	1.00	0.91	0.79	0.70							
19	1	1		1		3	15	14	462	581	738	1.00	1.00	1.00					0.43	2.14	2.00	0.73	0.92	1.16							
20	4	8	2	2		16	16	11	612	650	740	4.00	8.00	0.67	2.00				2.29	2.29	1.57	0.96	1.02	1.17							
21		5	5	1		11	20	23	545	670	740	5.00	10.00	1.67	1.00				1.57	2.86	3.29	0.86	1.06	1.17							
22		10		1		11	18	22	579	661	719				1.00				1.57	2.57	3.14	0.91	1.04	1.13							
23	3	9	4			16	22	26	628	686	794	3.00	9.00	1.33					2.29	3.14	3.71	0.99	1.08	1.25							
24	11	4		2		17	20	22	576	685	790	11.00	1.33	2.00					2.43	2.86	3.14	0.91	1.08	1.24							
25	1	9	1			11	18	15	627	656	692	1.00	9.00	0.33					1.57	2.57	2.14	0.99	1.03	1.09							
26	1	13	1			15	12	11	582	696	687	1.00	13.00	0.33					2.14	1.71	1.57	0.92	1.10	1.08							
27	2	6	2	2	1	13	15	9	572	648	689	2.00	6.00	0.67	2.00				1.86	2.14	1.29	0.90	1.02	1.09							
28	3	3	3			6	26	8	611	763	713	3.00	3.00	1.00					0.86	3.71	1.14	0.96	1.20	1.12							
29	4	5	4			13	27	19	566	784	624	4.00	5.00	1.33					1.86	3.86	2.71	0.89	1.23	0.98							
30	8	5	5			13	30	16	611	706	815	8.00	1.67						1.86	4.29	2.29	0.96	1.11	1.28							
31	6	11	6			23	34	13	795	795	806	6.00	11.00	2.00					3.29	4.86	1.86	1.01	1.25	1.27							
32	15	5	2			22	21	12	635	780	806	15.00	1.67	2.00					3.14	3.00	1.71	1.00	1.24	1.28							
33	11	1	2			14	23	16	465	540	626	11.00	0.33	2.00					2.00	3.29	2.29	0.75	0.87	1.00							
34	2	7	21	2		32	49	16	623	857	934	2.00	7.00	2.00					4.57	7.00	2.29	0.98	1.35	1.47							
35	2	7	9			18	36	17	573	750	890	2.00	7.00	3.00					2.57	5.14	2.43	0.90	1.18	1.40							
36	3	10	7	2	1	23	24	12	547	748	780	3.00	10.00	2.33	2.00				3.29	3.43	1.71	0.86	1.18	1.22							
37	1	5	6			12	31	13	553	753	820	1.00	5.00	2.00					1.71	4.43	1.86	0.87	1.19	1.29							
38	9	8	2			19	35	15	502	771	750	9.00	2.67	2.00					2.71	5.00	2.14	0.79	1.21	1.18							
39	7	4	3			14	32	11	460	697	719	7.00	1.33	3.00					2.00	4.57	1.57	0.72	1.10	1.13							
40	1	5	6	19		31	34	13	474	674	663	1.00	5.00	2.00	19.00				4.43	4.86	1.86	0.75	1.06	1.04							
41	3	9	4	3		19	20	27	467	574	668	3.00	9.00	1.33	3.00				2.71	2.86	3.86	0.74	0.90	1.05							
42	6	5	4	1	1	16	19	14	477	524	552	6.00	1.67	4.00	1.00				2.29	2.71	2.00	0.75	0.82	0.87							
43	1	6	2	1		10	20	22	471	557	592	1.00	6.00	0.67	1.00				1.43	2.86	3.14	0.74	0.88	0.93							
44		3	7			10	28	8	413	535	564		3.00	2.33					1.43	4.00	1.14	0.65	0.84	0.89							
45	3	4	5	1		13	32	11	406	544	507	3.00	4.00	1.67	1.00				1.86	4.57	1.57	0.64	0.86	0.80							
46	2	6	4	1		13	25	24	431	577	595	2.00	6.00	1.33	1.00				1.86	3.57	3.43	0.68	0.91	0.94							
47	1	2	1			4	16	11	413	534	544	1.00	2.00	0.33					0.57	2.29	1.57	0.65	0.84	0.86							
48	5	7	4	1		17	18	26	407	510	612	5.00	7.00	1.33	1.00				2.43	2.57	3.71	0.64	0.80	0.96							
49	1	3	4			8	27	15	396	593	581	1.00	3.00	1.33					1.14	3.86	2.14	0.62	0.93	0.91							
50		2	7			9	12	12	426	517	576	2.00	2.00	2.33					1.29	1.71	1.71	0.67	0.81	0.90							
51	2	7	2			11	14	13	448	524	577	2.00	7.00	0.67					1.57	2.00	1.86	0.70	0.82	0.91							
52	2	3	1			6	15	11	454	577	534	2.00	3.00	0.33					0.86	2.14	1.57	0.71	0.90	0.84							
53	1	2				3	-	-	258	-	-	1.00	2.00						0.43	-	-	0.41	-	-							
合計	91	321	249	65	3	729	1,053	833	27,692	30,758	34,569	91.00	321.00	83.00	65.00	3.00	104.14	150.43	43.58	48.51	54.53	48.51	54.53								

注) 2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

(5) 基幹定点対象疾患(週報)

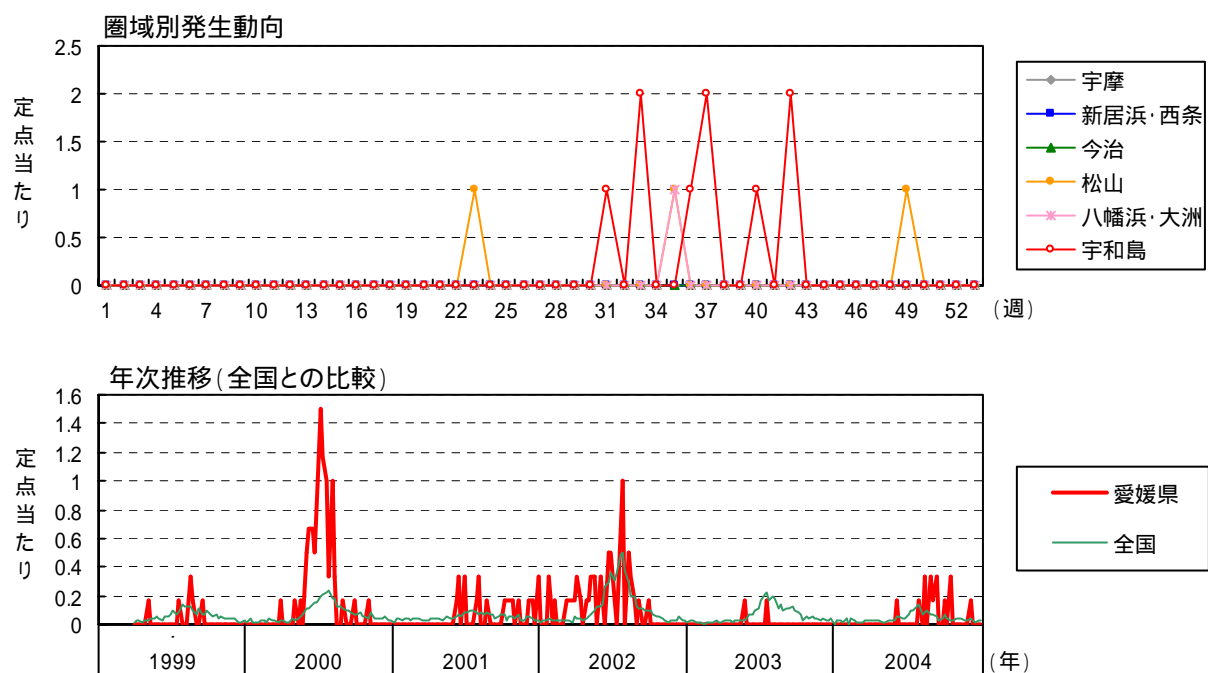
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)

2004 年は 3 人の患者報告があった。すべて 0 歳児で、宇和島地区からの報告であった。



無菌性髄膜炎

2004 年は 13 人の患者報告があった。第 31 週から第 42 週(7 月下旬から 10 月中旬)に 11 人の報告があった。宇和島地区が 9 人、松山地区が 3 人、八幡浜地区が 1 人で東予からの報告は無かった。年齢別では 0 歳児が 6 人と多く、1 歳から 9 歳が 3 人、10 歳代が 2 人、20 歳代と 30 歳代が各 1 人であった。



細菌性髄膜炎

月 週	患者報告数										定点あたり報告数			
	愛媛県							全 国			愛媛県			
	2004年 保健所別							全 国			2004 2003 2002 2002			
	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	今 治 中 央	松 山 中 央	宇 和 島 中 央	2004 2003 2002 2002	1	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														
31														
32														
33														
34														
35														
36														
37														
38														
39														
40														
41														
42														
43														
44														
45														
46														
47														
48														
49														
50														
51														
52														
53														
合計														

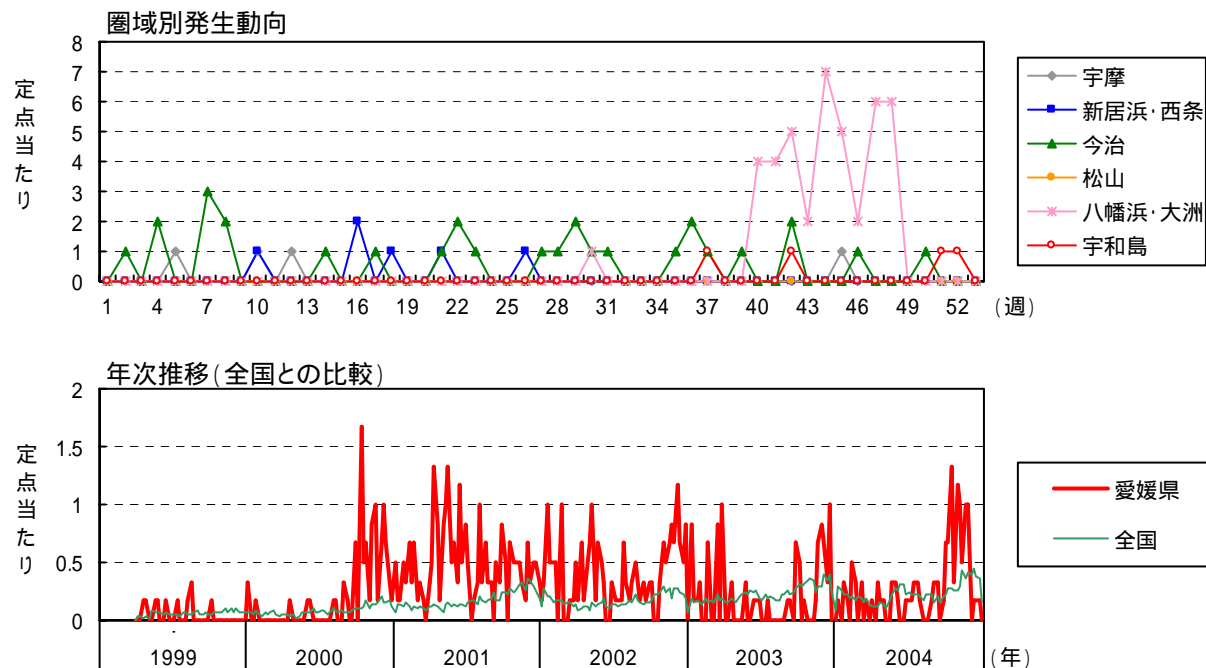
無菌性髄膜炎

月 週	患者報告数										定点あたり報告数			
	愛媛県							全 国			愛媛県			
	2004年 保健所別							全 国			2004 2003 2002 2002			
	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	今 治 中 央	松 山 中 央	宇 和 島 中 央	2004 2003 2002 2002	1	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														
31														
32														
33														
34														
35														
36														
37														
38														
39														
40														
41														
42														
43														
44														
45														
46														
47														
48														
49														
50														
51														
52														
53														
合計														

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

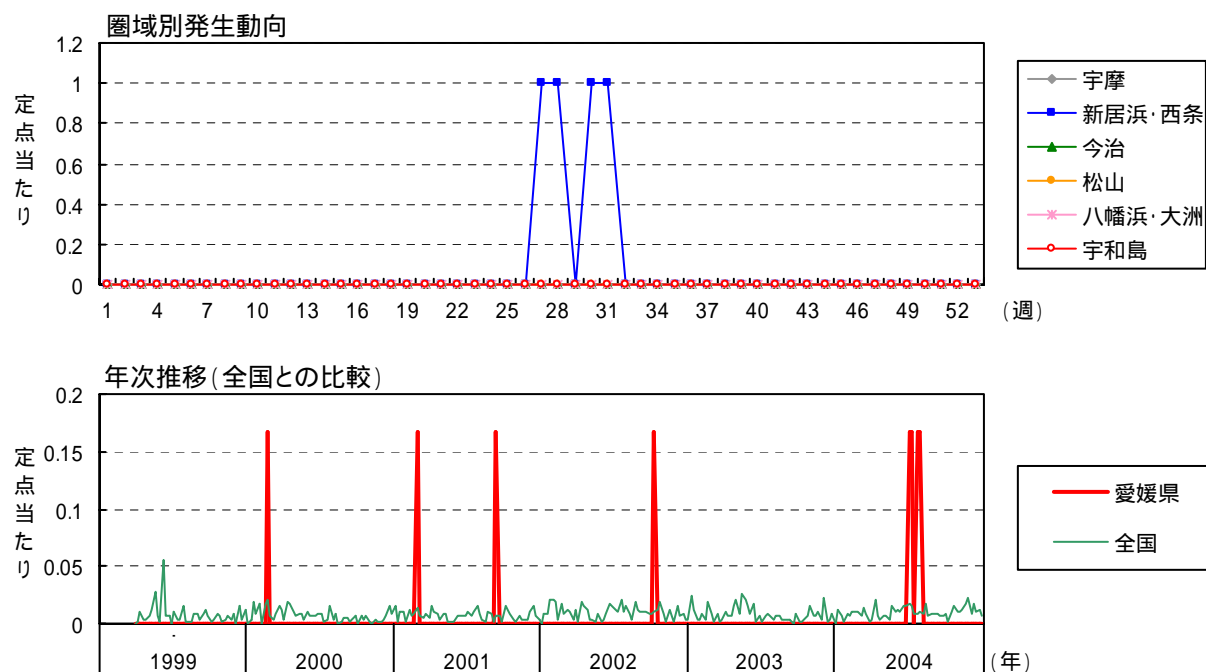
マイコプラズマ肺炎

2004 年は 85 人の患者報告があり、前年（65 人）に次いで少なかった。地域的には八幡浜地区が 42 人と最も多く、そのうち 41 人が第 40 週から第 48 週に報告されており、地域的な流行が確認された。罹患年齢は 1 歳から 4 歳が 31 人、5 歳から 9 歳が 33 人で、9 歳以下が全体の 79% を占めた。



クラミジア肺炎（オウム病を除く）

2004 年は 7 月に 4 人の患者報告があった。すべて 70 歳以上の患者で、新居浜地区からの報告であった。



クラミジア肺炎(オウム病は除く)

月 週	患者報告数										定点あたり報告数			
	2004年					愛媛県					全 国			
	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	今 治 中 央	松 山 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002
1											2			
2											6			
3											11			
4											3			
5											1			
6											4			
7											3			
8											2			
9											4			
10											3			
11											5			
12											1			
13											2			
14											2			
15											10			
16											3			
17											2			
18											3			
19											2			
20											3			
21											2			
22											5			
23											6			
24											4			
25											5			
26											7			
27											8			
28											7			
29											4			
30											4			
31											5			
32											4			
33											8			
34											3			
35											4			
36											4			
37											4			
38											3			
39											3			
40											4			
41											1			
42											5			
43											2			
44											7			
45											5			
46											6			
47											8			
48											11			
49											4			
50											12			
51											8			
52											5			
53											6			
合計											248			

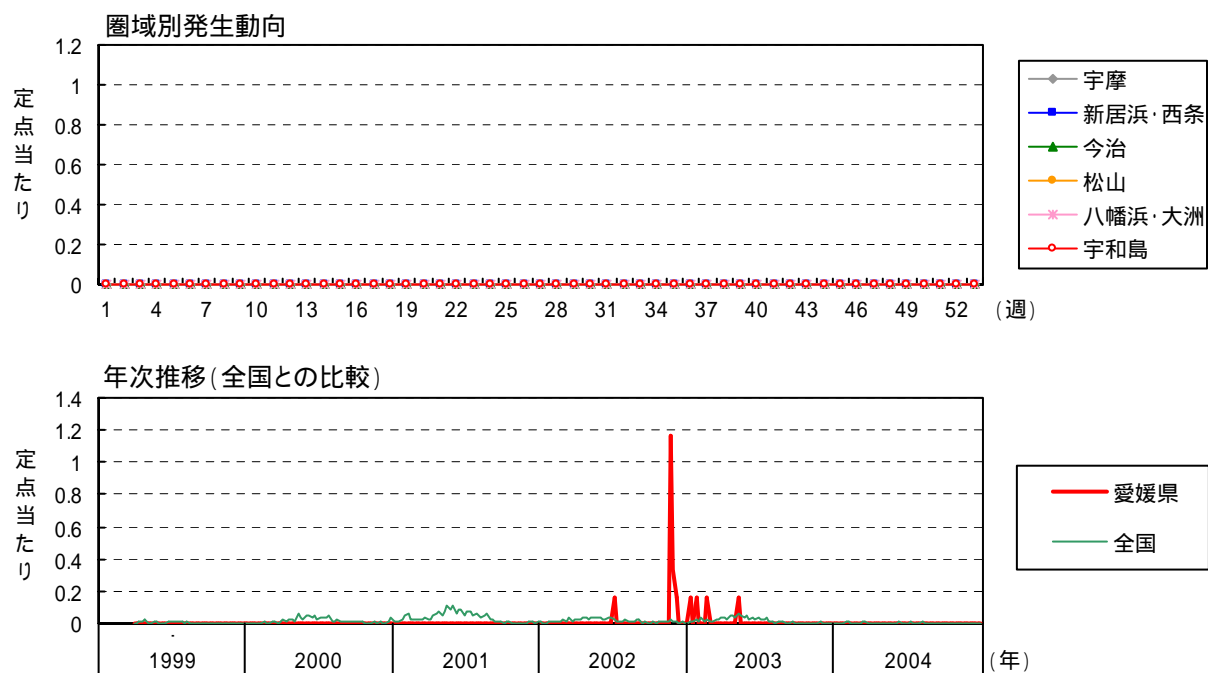
注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

マイコプラズマ肺炎

月 週	患者報告数										定点あたり報告数			
	2004年					愛媛県					全 国			
	四 国 中 央	新 居 浜 中 央	今 治 中 央	松 山 中 央	宇 和 島 中 央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	2004	2003	2002
1											54			
2											29			
3											138			
4											120			
5											73			
6											107			
7											97			
8											79			
9											76			
10											86			
11											87			
12											73			
13											77			
14											92			
15											75			
16											107			
17											71			
18											85			
19											55			
20											68			
21											90			
22											65			
23											72			
24											45			
25											72			
26											49			
27											60			
28											57			
29											71			
30											50			
31											41			
32											15			
33											10			
34											15			
35											12			
36											10			
37											11			
38											15			
39											10			
40											12			
41											9			
42											11			
43											13			
44											10			
45											14			
46											11			
47											13			
48											10			
49											13			
50											18			
51											13			
52											17			
53											11			
合計											4,282			

成人麻しん

2004 年の患者報告はなかった。2002 年 10 月から 2003 年 7 月にかけて県内で成人麻しんが流行したが、終息後は患者の報告はない。



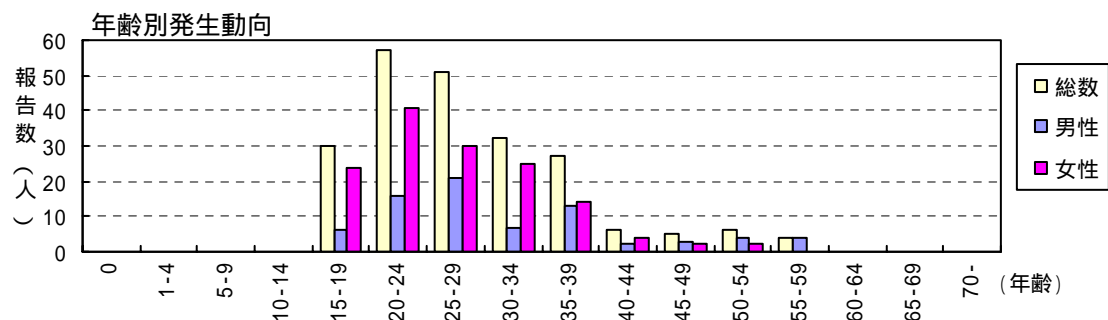
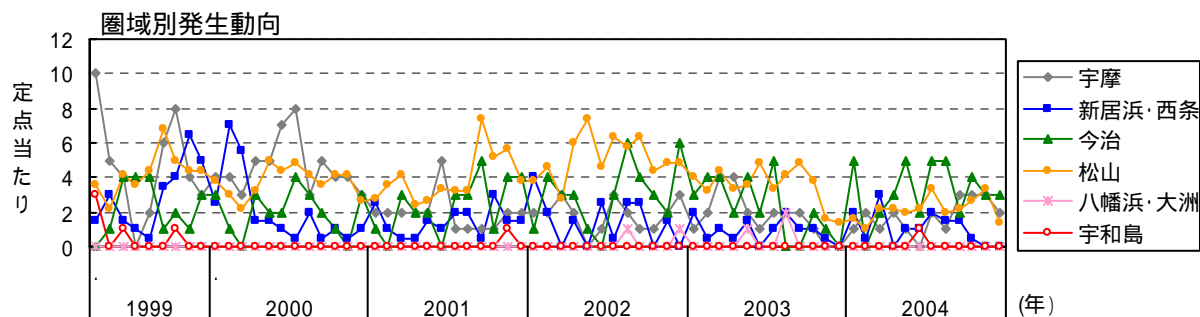
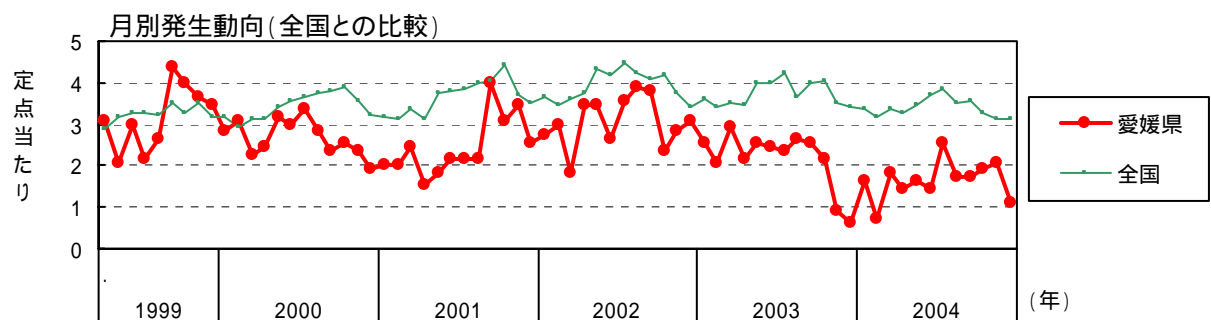
成人麻疹

月	患者報告数										定点あたり報告数						
	2003年						愛媛県		全 国		愛媛県		全 国				
	四 国 中 央	新 居 浜	今 治 中 央	松 山 中 央	八 幡 浜 中 央	宇 和 島 中 央	2004		2003		2004	2003	2004	2003			
							2004	2003	2004	2003							
1																	
2							1					0.17					
3																	
4							1					0.17					
5																	
6																	
7																	
8							1										
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19							1					0.17					
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27									1				0.17				
28																	
29																	
30																	
31																	
32									3	1	4						
33										3	8						
34									1	4	5						
35										7	11						
36																	
37										1	9						
38									2	1	3						
39										4	3						
40											2						
41									1	1	2						
42																	
43										1	2						
44									1	1	3						
45									1	1	3						
46																	
47								7		2	11						
48								2		3	4						
49								1		2	3						
50										2	1						
51											4						
52											1						
53																	
合計							4	11	59	462	440		0.67	1.83	0.12	0.98	0.93

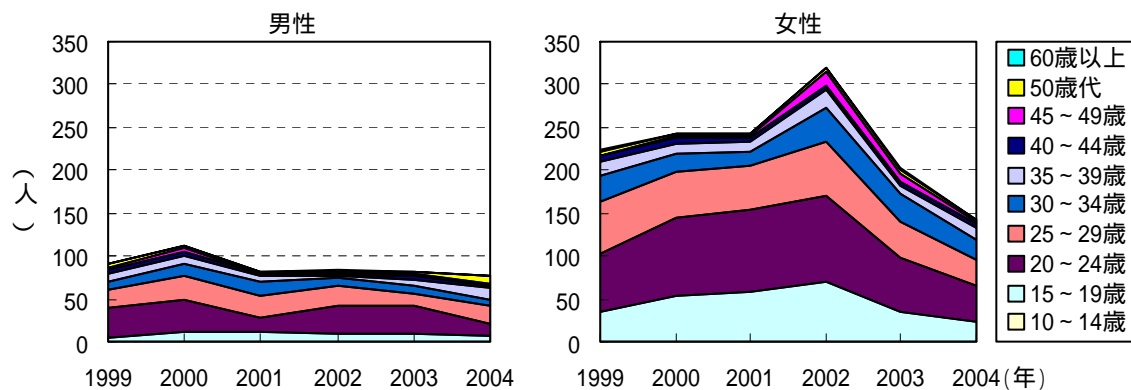
(6)STD 定点対象疾患(月報)

性器クラミジア感染症

2004 年の患者報告数は 218 人(定点当たり 19.82 人/年)であった。県内の報告数は 2002 年の 403 人をピークに、2003 年 286 人、2004 年 218 人と減少傾向にある。性別は男性 76 人、女性 142 人で女性が 65.1%を占め、男女とも 15～39 歳の年齢層を中心に報告がみられる。男女別・年齢別の動向をみると、男性の報告数に大きな変動は見られないが、女性においては特に 15～29 歳の年齢層で 2002 年 233 人、2003 年 140 人、2004 年 95 人と報告数の減少が目立っている。

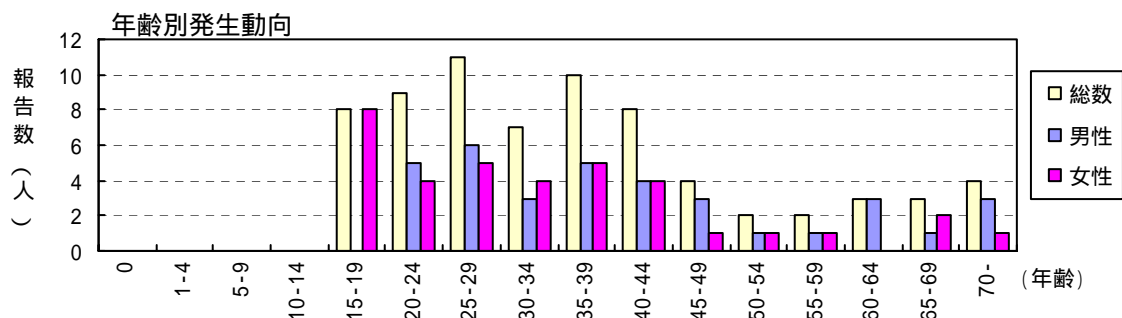
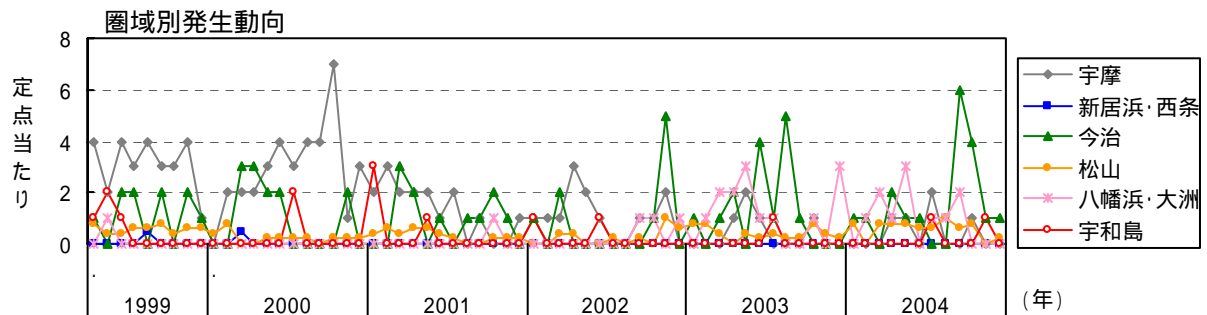
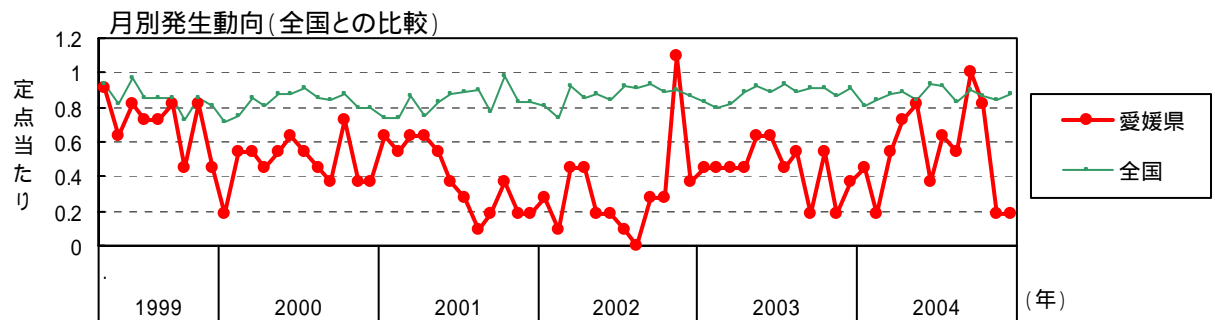


男女別・年齢階級別発生動向

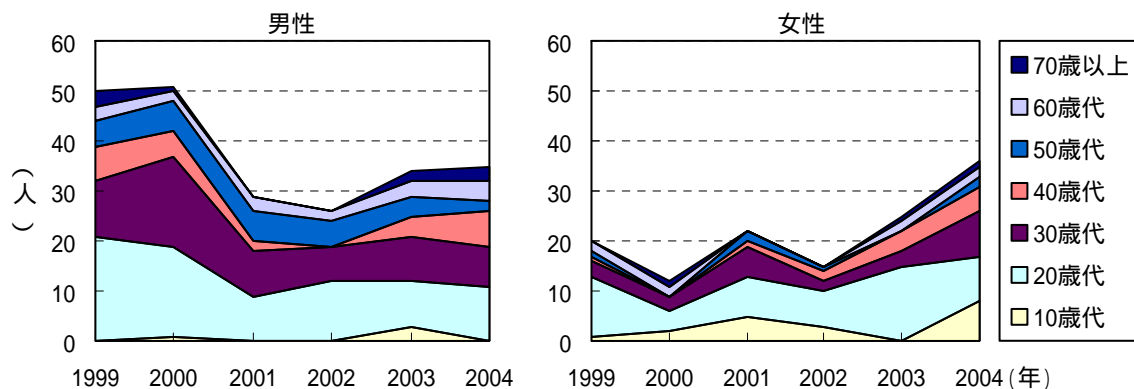


性器ヘルペスウイルス感染症

2004 年の報告数は 71 人（定点当たり 6.45 人/年）であった。県内報告数は 1999 年 70 人、2000 年 63 人、2001 年 51 人、2002 年 41 人と減少傾向にあったが、その後 2003 年 59 人、2004 年 71 人と増加に転じている。性別は男性 35 人、女性 36 人であり、県内ではじめて女性が男性の報告数を上回った。男性は 20 歳以上、女性は 15 歳以上の各年齢層に幅広くみられたが、特に 15～19 歳の女性に 8 人の報告があった点が注目される。男女別・年齢別の動向をみると、男性においては 2002 年までは減少しその後やや増加しているが、女性は年々増加する傾向にあり、特に 2003 年以降は 15～39 歳の年齢層で報告数の増加が著しい。

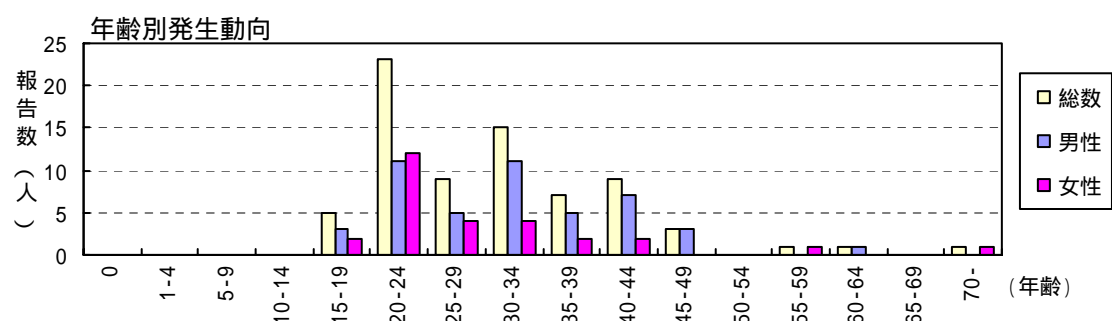
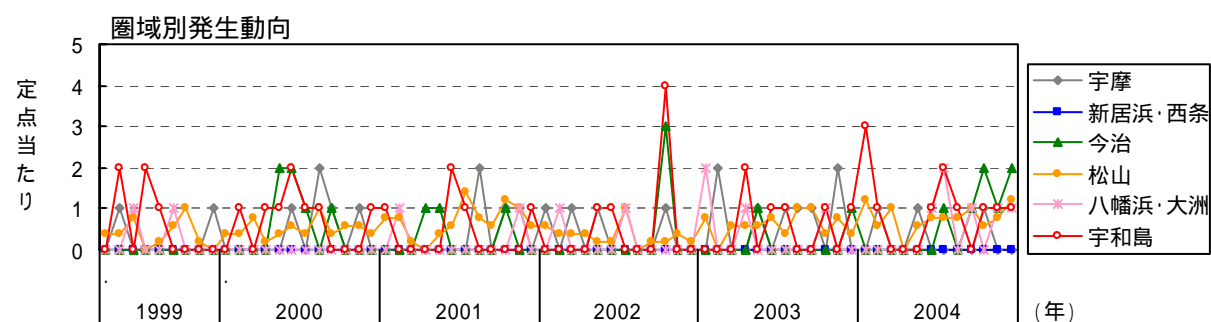
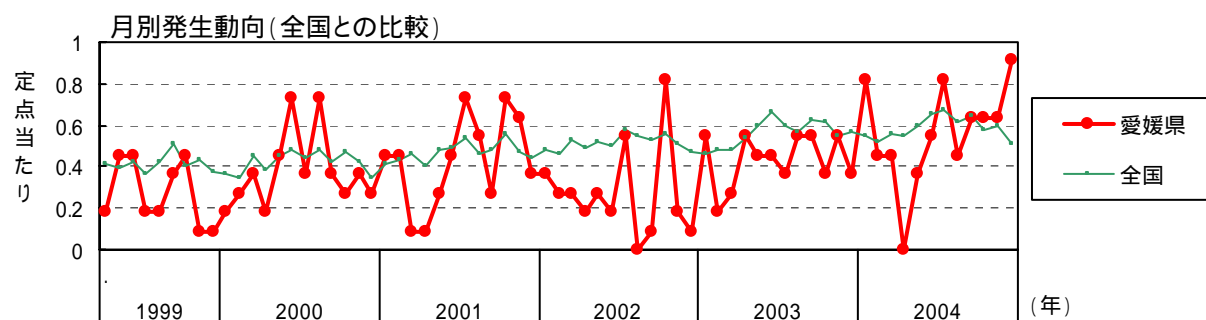


男女別・年齢階級別発生動向

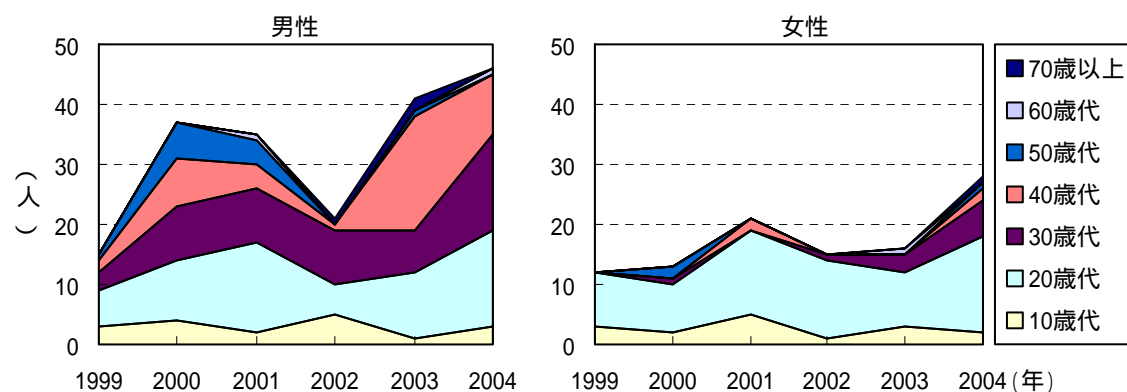


尖圭コンジローマ

2004年の報告数は74人(定点当たり6.73人/年)であった。県内報告数は2002年を除き年間50～60人程度で徐々に増加していたが、本年は1999年の調査開始以降最も多い報告数となり、全国値(定点当たり7.05人/年)とほぼ同レベルとなった。性別は男性46人、女性28人で男性が62%を占めた。年齢層は男女とも15歳から40歳代に多くみられるが、女性では特に20～24歳の若い年齢層からの報告が多かった。男女別・年齢別の動向をみると、男性では20～40歳代、女性では20～30歳代を中心に増加する傾向にある。

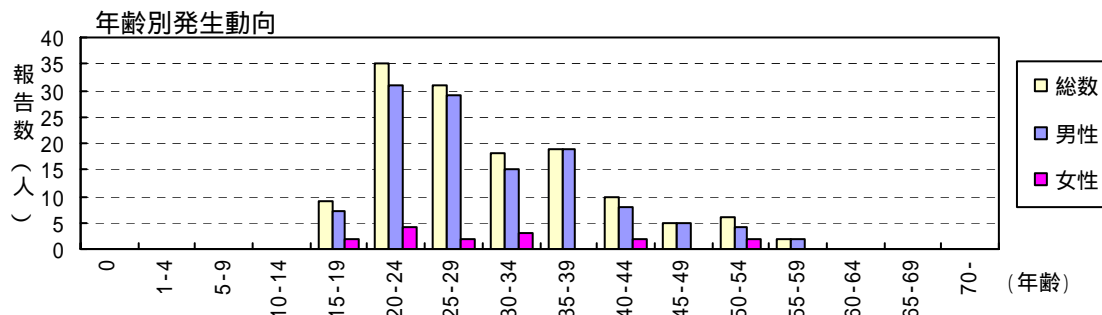
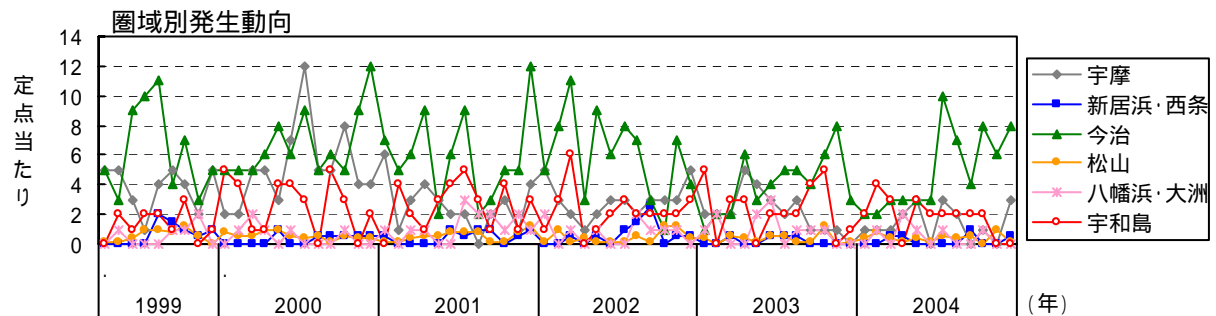
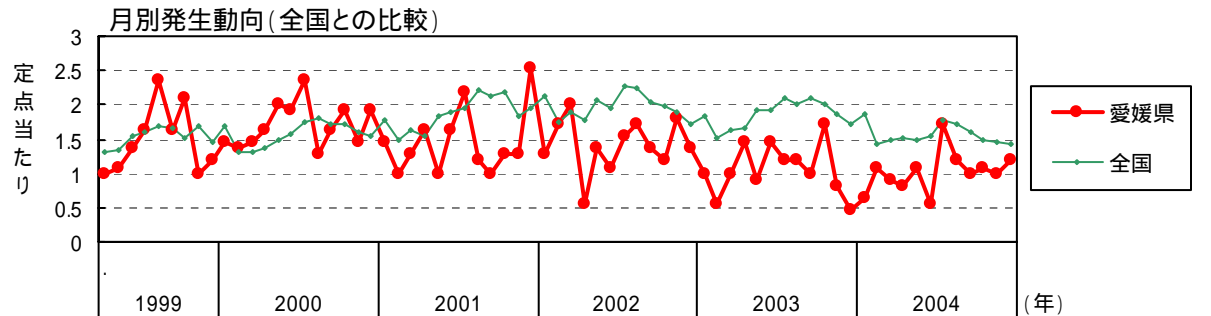


男女別・年齢階級別発生動向

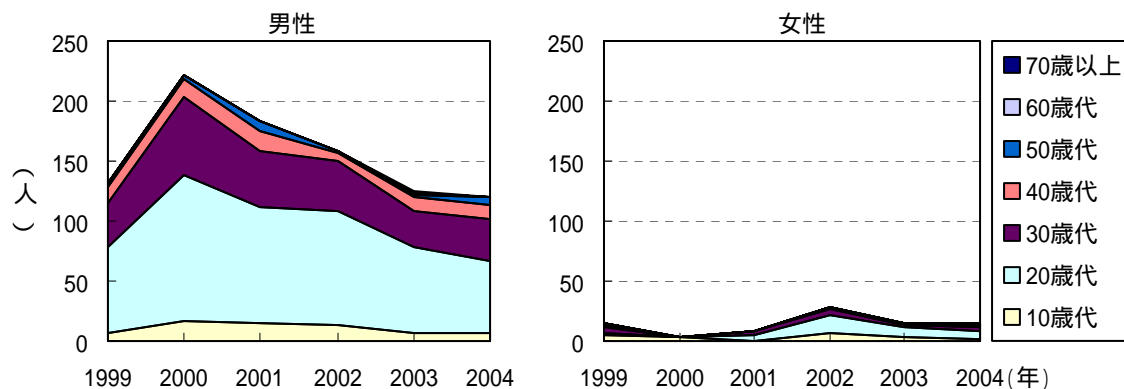


淋菌感染症

2004年の報告数は135人(定点当たり12.27人/年)であった。2000年以降224人、2001年192人、2002年187人、2003年140人と徐々に減少しており、2004年は調査開始以後最も少ない報告数であったが、減少幅はやや鈍化し前年比3.6%の減少率にとどまった。性別は男性120人、女性15人で男性が圧倒的に多く、年齢分布は20歳代、30歳代が全体の76%を占め、例年と同様の発生動向であった。



男女別・年齢階級別発生動向



性器クラミジア感染症

月	患者報告数												定点あたり報告数											
	2004年 保健所別						愛媛県						2004年 保健所別						愛媛県					
	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	全 国	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	全 国
1	1		4	5	6	2			18	28	30	3,435	1.00		4.00	5.00	1.50	2.00			1.64	2.55	2.73	3.66
2	2		1		4	1			8	23	33	3,221	2.00		1.00		1.00	1.00			0.73	2.09	3.00	3.51
3	1		6	2	11				20	32	20	3,295	1.00		6.00	2.00	2.75				1.82	2.91	1.82	3.58
4	2			3	10	1			16	24	38	3,410	2.00			3.00	2.50	1.00			1.45	2.18	3.45	3.74
5	1		2	5	10				18	28	38	3,957	1.00		2.00	5.00	2.50				1.64	2.55	3.45	4.06
6			2	2	11			1	16	27	29	3,894			2.00	2.00	2.75		1.00		1.45	2.45	2.64	4.17
7	2		4	5	15	2			28	26	39	4,135	2.00		4.00	5.00	3.75	2.00			2.55	2.36	3.55	4.24
8	1		3	5	9	1			19	29	43	3,916	1.00		3.00	5.00	2.25	1.00			1.73	2.64	3.91	3.53
9	3		3	2	9	2			19	28	42	3,683	3.00		3.00	2.00	2.25	2.00			1.73	2.55	3.82	3.53
10	3		1	4	12	1			21	24	26	3,972	3.00		1.00	4.00	3.00	1.00			1.91	2.18	2.36	3.27
11	3			3	17				23	10	31	3,476	3.00			3.00	4.25				2.09	0.91	2.82	3.14
12	2			3	7				12	7	34	3,152	2.00			3.00	1.75				1.09	0.64	3.09	3.14
合計	21		26	39	121	10		1	218	286	403	43,766	21.00		26.00	39.00	30.25	10.00	1.00		19.82	26.00	36.64	45.59

性器ヘルペスウイルス感染症

月	患者報告数												定点あたり報告数											
	2004年 保健所別						愛媛県						2004年 保健所別						愛媛県					
	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	全 国	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	全 国
1				1	4				5	5	3	745			1.00	1.00					0.45	0.45	0.27	0.85
2				1			1		2	5	1	775			1.00			1.00			0.18	0.45	0.09	0.80
3					4		2		6	5	5	811				1.00		2.00			0.55	0.45	0.45	0.88
4	1			2	4		1		8	5	5	824	1.00			2.00	1.00	1.00			0.73	0.45	0.45	0.89
5	1		1	4	4		3		9	7	2	779	1.00		1.00	1.00	1.00	3.00			0.82	0.64	0.18	0.84
6				1	3				4	7	2	865	1.00			1.00	0.75				0.36	0.64	0.18	0.94
7	2				3		1	1	7	5	1	851	2.00				0.75	1.00	1.00		0.64	0.45	0.09	0.93
8					5		1		6	6		766					1.25	1.00			0.55	0.55		0.83
9				6	3		2		11	2	3	827			6.00	0.75		2.00			1.00	0.18	0.27	0.90
10	1			4	4				9	6	3	803	1.00		4.00	1.00					0.82	0.55	0.27	0.92
11				1				1	2	2	12	778			1.00	1.00			1.00		0.18	0.18	1.09	0.87
12				1	1				2	4	4	805				1.00	0.25				0.18	0.36	0.36	0.91
合計	5			18	35		11	2	71	59	41	9,629	5.00			18.00	8.75		11.00	2.00	6.45	5.36	3.73	10.44

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

尖圭コンジローマ

月	患者報告数										定点あたり報告数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	2004年 保健所別					愛媛県					全 国					2004年 保健所別					愛媛県					全 国																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004</

淋菌感染症

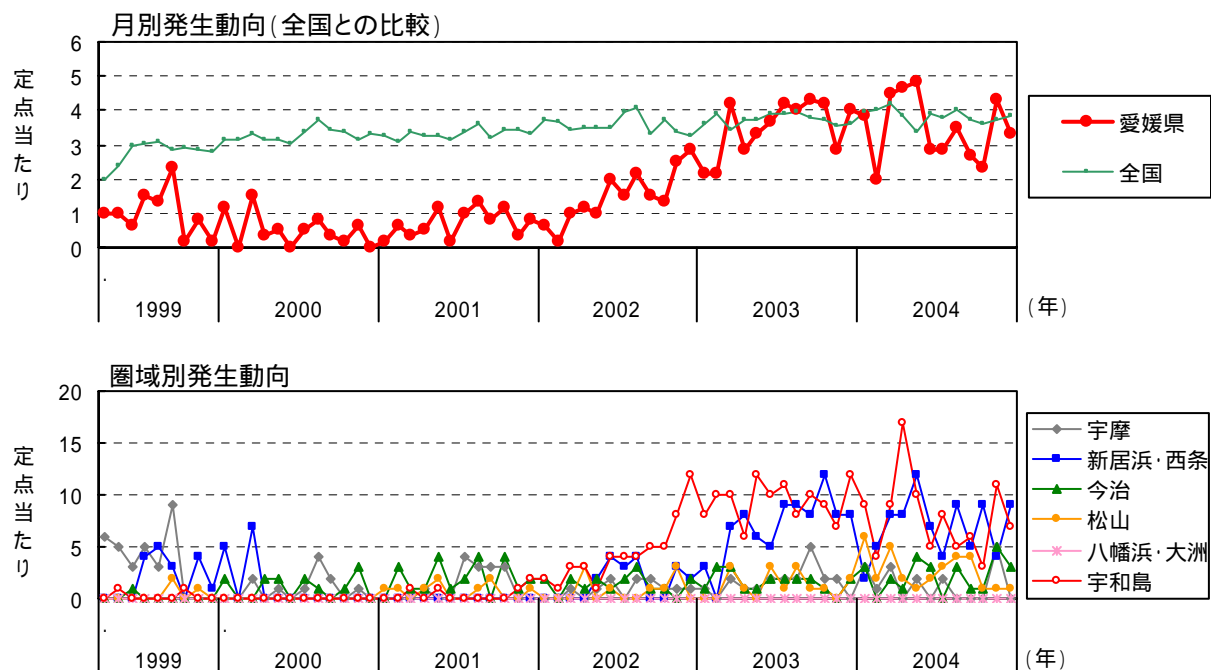
月	患者報告数										定点あたり報告数																									
	2004年 保健所別					愛媛県					全 国					2004年 保健所別					愛媛県					全 国										
	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	西条中央	今治中央	松山市	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002
1	1			2	2	2		2	7	11	14	1,706	1,725	1,963	1.00			2.00	0.50			2.00	0.64	1.00	1.27	1.86	1.87	2.14								
2	1			2	2	2	1	4	12	6	19	1,305	1,402	1,619	1.00			2.00	0.50	2.00	1.00	4.00	1.09	0.55	1.73	1.42	1.52	1.77								
3	1	1		3	1	1		3	10	11	22	1,377	1,531	1,748	1.00	1.00		3.00	0.25	1.00		3.00	0.91	1.00	2.00	1.49	1.66	1.91								
4	2	1		3	1		2		9	16	6	1,399	1,542	1,604	2.00	1.00		3.00	0.25		2.00		0.82	1.45	0.55	1.51	1.68	1.76								
5	3			3	1	1	1	3	12	10	15	1,371	1,757	1,902	3.00			3.00	0.25	1.00	1.00	3.00	1.09	0.91	1.36	1.48	1.91	2.07								
6				3	1			2	6	16	12	1,427	1,797	1,833				3.00	0.25			2.00	0.55	1.45	1.09	1.54	1.96	2.20								
7	3			10	3		1	2	19	13	17	1,639	1,944	2,092	3.00			10.00	0.75		1.00	2.00	1.73	1.18	1.55	1.78	2.12	2.29								
8	2			7	2			2	13	13	19	1,582	1,844	2,077	2.00			7.00	0.50			2.00	1.18	1.18	1.73	1.72	2.00	2.27								
9			2	4		3		2	11	11	15	1,477	1,934	1,895			2.00	4.00		3.00		2.00	1.00	1.00	1.36	2.11	2.07									
10	1			8			1	2	12	19	13	1,380	1,884	1,836	1.00			8.00			1.00	2.00	1.09	1.73	1.18	1.50	2.04	1.99								
11				6	5				11	9	20	1,346	1,739	1,757				6.00	1.25				1.00	0.82	1.82	1.46	1.88	1.91								
12	3	1		8	1				13	5	15	1,311	1,598	1,595	3.00	1.00		8.00	0.25				1.18	0.45	1.36	1.43	1.73	1.73								
合計	17	3	2	59	19	7	6	22	135	140	187	17,320	20,697	21,921	17.00	3.00	2.00	59.00	4.75	7.00	6.00	22.00	12.27	12.73	17.00	18.79	22.50	23.91								

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

(7) 基幹定点対象疾患(月報)

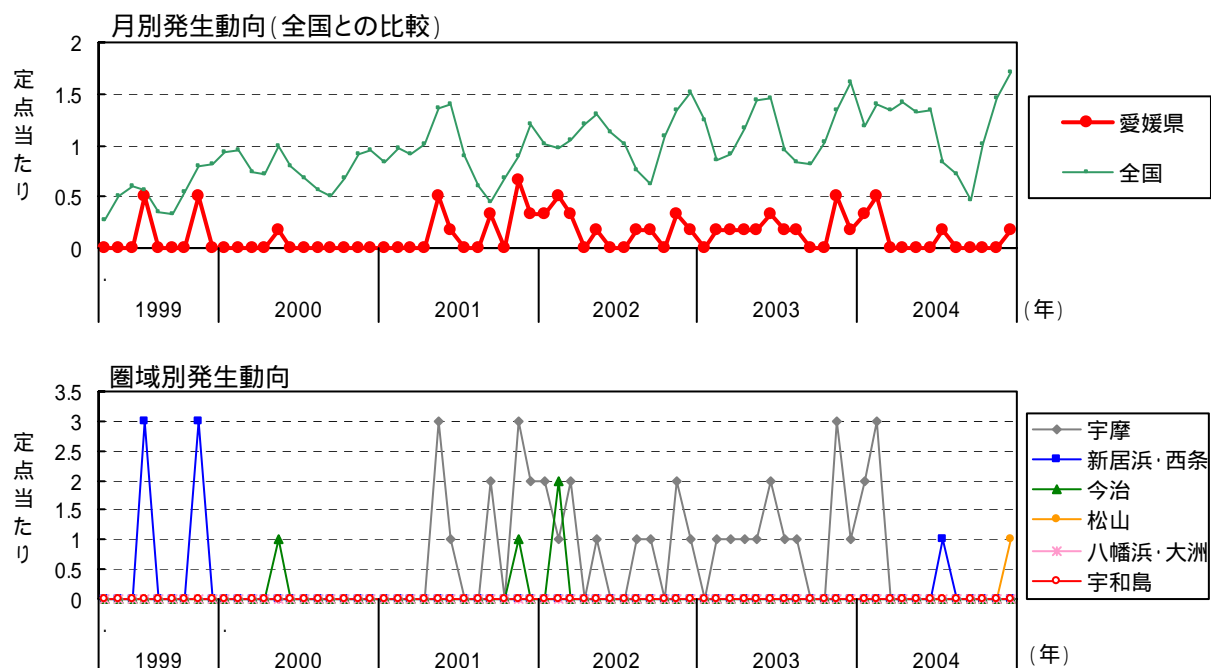
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

2004 年の報告数は 250 人(定点当たり 41.67 人/年)であった。2001 年までは年間 50 人前後で推移していたが、2002 年 107 人(定点当たり 17.83 人/年)、2003 年 251 人(定点当たり 41.83 人/年)と増加し、2003 年以降は全国の報告数(定点当たり 43～46 人/年)とほぼ同レベルで推移している。性別は男性 164 人、女性 86 人と 2 : 1 の割合で男性患者が多く、年齢分布は 70 歳以上が報告数の 56% (141 人) を占めた。男女比、年齢分布ともに過去 5 年間と同様の傾向を示した。



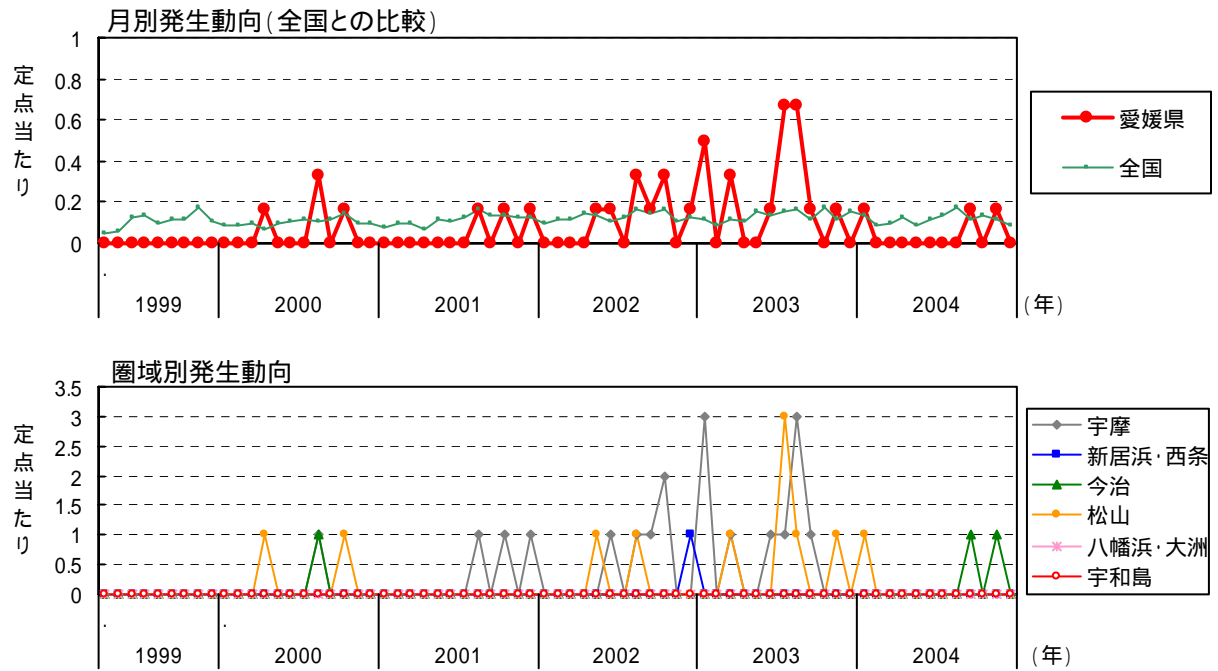
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2004 年の患者報告数は 7 人(定点当たり 1.17 人/年)であり、性別は男性 4 人、女性 3 人であった。2001～2003 年は 12～13 人(定点当たり 2～2.1 人/年)の報告数があったが、2004 年は 7 人と減少した。全国の定点当たり報告数は 2002 年以降 13～14 人/年で微増傾向にあるが、県内の報告数は全国と比較してかなり少ないと言える。年齢分布は 1～4 歳が 5 人で報告数の 71% を占め、2001 年以降と同様の傾向であった。



薬剤耐性緑膿菌感染症

2004 年の患者報告数は 3 人（定点当たり 0.50 人/年）であり、年齢及び性別は 5 歳未満男性 1 人、30 歳代女性 1 人、50 歳代女性 1 人であった。2002 年、2003 年はそれぞれ 8 人、16 人と増加する傾向にあったが、2004 年は再び減少し 2001 年以前と同レベル（年間 3 人）の報告数となった。



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

月	患者報告数											定点あたり報告数												
	2004年 保健所別						愛媛県			全 国		2004年 保健所別						愛媛県			全 国			
	四国中央	新居浜	今治中央	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	今治中央	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002
1	3	2	3	6		9	23	13	4	1,846	1,701	1,768	3.00	2.00	3.00	6.00		9.00	3.83	2.17	0.67	3.95	3.65	3.80
2	1	5		2		4	12	13	1	1,861	1,814	1,704	1.00	5.00		2.00		4.00	2.00	2.17	0.17	3.99	3.90	3.67
3	3	8	2	5		9	27	25	6	1,965	1,659	1,626	3.00	8.00	2.00	5.00		9.00	4.50	4.17	1.00	4.18	3.57	3.49
4		8	1	2		17	28	17	7	1,817	1,780	1,609		8.00	1.00	2.00		17.00	4.67	2.83	1.17	3.85	3.81	3.48
5	2	12	4	1		10	29	20	6	1,587	1,755	1,641	2.00	12.00	4.00	1.00		10.00	4.83	3.33	1.00	3.36	3.75	3.53
6		7	3	2		5	17	22	12	1,840	1,860	1,650		7.00	3.00	2.00		5.00	2.83	3.67	2.00	3.92	3.98	3.57
7	2	4		3		8	17	25	9	1,764	1,852	1,849	2.00	4.00		3.00		8.00	2.83	4.17	1.50	3.76	3.95	3.98
8		9	3	4		5	21	24	13	1,886	1,865	1,918		9.00	3.00	4.00		5.00	3.50	4.00	2.17	4.01	3.96	4.12
9		5	1	4		6	16	26	9	1,758	1,797	1,548		5.00	1.00	4.00		6.00	2.67	4.33	1.50	3.74	3.82	3.36
10		9	1	1		3	14	25	8	1,708	1,781	1,740		9.00	1.00	1.00		3.00	2.33	4.17	1.33	3.62	3.79	3.72
11	5	4	5	1		11	26	17	15	1,763	1,692	1,607	5.00	4.00	5.00	1.00		11.00	4.33	2.83	2.50	3.74	3.60	3.43
12		9	3	1		7	20	24	17	1,819	1,746	1,554		9.00	3.00	1.00		7.00	3.33	4.00	2.83	3.86	3.73	3.31
合計	16	82	26	32		94	250	251	107	21,614	21,302	20,214	16.00	82.00	26.00	32.00		94.00	41.67	41.83	17.83	46.00	45.52	43.47

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

月	患者報告数											定点あたり報告数												
	2004年 保健所別						愛媛県			全 国			2004年 保健所別						愛媛県			全 国		
	四国中央	新居浜	今治中央	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	今治中央	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002
1	2					2		2	556	580	391	2.00							0.33		0.33	1.19	1.24	1.06
2	3					3	1	3	649	410	442	3.00							0.50	0.17	0.50	1.39	0.88	1.01
3							1	2	627	421	418									0.17	0.33	1.33	0.91	1.05
4								1	669	556	466									0.17		1.42	1.19	1.18
5								1	621	692	643									0.17	0.17	1.32	1.48	1.31
6								2	626	674	634									0.33		1.33	1.44	1.17
7		1				1	1		395	450	437		1.00						0.17	0.17		0.84	0.96	1.00
8							1	1	339	395	294									0.17	0.17	0.72	0.84	0.75
9								1	222	382	215										0.17	0.47	0.81	0.61
10									480	489	329											1.02	1.04	1.12
11								3	683	634	422									0.50	0.33	1.45	1.35	1.34
12				1		1	1	1	808	764	563				1.00				0.17	0.17	0.17	1.72	1.63	1.58
合計	5	1		1			7	12	13	6,675	6,447	5,254	5.00	1.00		1.00			1.17	2.00	2.17	14.20	13.78	13.19

薬剤耐性緑膿菌感染症

月	患者報告数											定点あたり報告数												
	2004年 保健所別						愛媛県			全 国			2004年 保健所別						愛媛県			全 国		
	四国中央	新居浜	今治中央	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002	四国中央	新居浜	今治中央	松山中央	八幡浜中央	宇和島中央	2004	2003	2002	2004	2003	2002
1				1			1	3		64	53	45				1.00			0.17	0.50		0.14	0.11	0.10
2										39	40	56										0.08	0.09	0.12
3								2		47	54	56								0.33		0.10	0.12	0.12
4										59	53	65										0.13	0.11	0.14
5									1	41	73	65									0.17	0.09	0.16	0.14
6								1	1	56	58	43								0.17	0.17	0.12	0.12	0.09
7								4		65	74	59								0.67		0.14	0.16	0.13
8								4	2	80	79	76								0.67	0.33	0.17	0.17	0.16
9			1				1	1	1	56	60	67			1.00				0.17	0.17	0.17	0.12	0.13	0.15
10									2	62	82	76									0.33	0.13	0.17	0.16
11			1				1	1		53	58	49			1.00				0.17	0.17		0.11	0.12	0.10
12									1	43	75	59									0.17	0.09	0.16	0.13
合計			2	1			3	16	8	665	759	716			2.00	1.00			0.50	2.67	1.33	1.42	1.62	1.54

注)2004年の全国患者報告数及び定点あたり報告数は、各週の週元データを転記したものであり、確定値とは異なります。

2004 年（平成 16 年）感染症発生動向調査結果
- 病原体検査結果 -

2004 年（平成 16 年）感染症発生動向調査結果 - 病原体検査結果 -

1 細菌検査状況

感染症の病原体に関する情報を収集するため、愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領に基づき、病原体検査を実施した。

(1) 全数把握対象感染症

細菌性赤痢

赤痢菌の血清型別試験、細胞侵入性遺伝子（*ipaH*）の PCR 検査、薬剤感受性試験を実施した。薬剤感受性試験は NCCLS の方法に準じ、アンピシリン（ABPC）、セフトキシム（CTX）、カナマイシン（KM）、ゲンタマイシン（GM）、ストレプトマイシン（SM）、テトラサイクリン（TC）、クロラムフェニコール（CP）、シプロフロキサシン（CPFX）、トリメトプリム（TMP）、ナリジクス酸（NA）、ホスホマイシン（FOM）、スルファメトキサゾール・トリメトプリム合剤（ST）の 12 薬剤に対する耐性の有無を判定した。

県内で分離された赤痢菌 3 株は全てフレキシネルで典型的な赤痢菌の性状を示すとともに、*ipaH* 遺伝子の保有が確認された。薬剤感受性試験の結果、全て 4 剤以上の薬剤に耐性が認められた。

表 1 愛媛県内の赤痢菌分離株

届出月日	保健所名	推定感染地	菌型(血清型)	<i>ipaH</i>	耐性薬剤
5月6日	松山	国内	<i>Shigella flexneri</i> (2a)	+	TC・SM・ TMP・ABPC
8月6日	西条	インドネシア	<i>Shigella flexneri</i> (1a)	+	TC・CP・SM・ ST・TMP・ ABPC
8月22日	松山市	中国	<i>Shigella flexneri</i> (4a)	+	TC・CP・SM・ ST・TMP・ ABPC・NA

腸管出血性大腸菌

当所においては、保健所から送付された腸管出血性大腸菌（EHEC）分離株の確認検査を実施するとともに、随時国立感染症研究所（感染研）へ菌株を送付している。感染研ではパルスフィールドゲル電気泳動法（PFGE）による型別を実施し、全国規模の同時多発的な集団発生“diffuse outbreak”を監視している。当所においては、分離株の生化学的性状、O 抗原及び H 抗原の血清型別、ベロ毒素（VT）の型別に加えて、PFGE 法による遺伝子検査を実施した。また、薬剤感受性試験は赤痢菌と同様に 12 薬剤を用いて実施した。

2004 年愛媛県における EHEC 感染症の患者数は計 98 名で、過去 5 年間で最も多い患者発生となった。6 月と 9 月にはそれぞれ幼稚園と保育所で O26 による集団感染が発生した。

2 つの集団発生事例の概要は以下のとおりである。

<事例3 松山市 A 幼稚園>

5月27日、感染症発生動向調査病原体定点の小児科から当所へ感染性胃腸炎患者の便が搬入され、分離培養の結果、EHEC O26 (VT1 陽性) が検出された。患者は松山市内の A 幼稚園 (園児 318 名、職員 27 名) の園児で 22 日に発症 (発熱 37.9、下痢) し、24 日に受診した。松山市保健所による健康調査では胃腸炎症状の園児はいなかったが、患者の母親から同菌が分離された。

表 2 愛媛県内の腸管出血性大腸菌感染症分離株

事例 番号	届出月日	保健所名	疫学情報	患者感染者 総数 (無症状者 再掲)		血清型		VT 型別	耐性薬剤
						O	H		
1	4月5日	松山市	散発	1	(0)	157	7	1,2	-
2	4月16日～20日	今治	家族内	2	(0)	157	7	1,2	ABPC・SM
3	5月27日～6月29日	松山市	集団発生 (A幼稚園)	38	(26)	26	11	1	TC
4	5月31日	新居浜	散発	1	(0)	157	7	1,2	SM・TC
5	6月9日	松山	散発	1	(0)	26	11	1	ABPC・SM
6	6月12日	松山市	散発	1	(0)	157	7	1,2	-
7	6月21日	今治	散発	1	(0)	157	7	2	SM
8	6月24日～29日	松山	家族内	3	(3)	157	7	1,2	SM・TC
9	7月1日	大洲	散発	1	(0)	157	7	1,2	-
10	7月12日～15日	松山市	家族内	3	(1)	26	11	1	SM
11	7月20日	今治	散発	1	(0)	157	7	2	SM
12	8月11日	松山市	散発	1	(0)	157	7	1,2	-
13	8月11日～9月3日	八幡浜	集団発生 (B保育園)	15	(9)	26	11	1	SM
14	8月13日	松山市	散発	1	(0)	157	UT	2	SM
15	8月18日	松山市	散発	1	(0)	63	6	2	SM
16	8月23日	新居浜	散発	1	(0)	157	-	1,2	-
17	8月27日	今治	散発	1	(0)	157	7	1,2	-
18	9月10日	松山市	散発	1	(0)	157	NT	2	NT
19	10月2日～5日	松山市	家族内	2	(1)	26	11	1	-
20	10月9日	大洲	散発	1	(0)	157	7	2	-
21	10月16日～20日	松山市	家族内	3	(1)	157	7	2	ABPC・SM・ TMP・ST
22	10月22日～11月26日	今治 松山 松山市	散発性 集団発生	16	(3)	157	7	1,2	-
23	11月30日	松山市	散発	1	(0)	157	7	1,2	ABPC
24	12月28日	今治	散発	1	(0)	111	-	1	ABPC・KM・ SM・TC
				98	(44)				

NT：検査せず UT：型別不能

その後、6月12日に別の小児科から EHEC O26 (VT1 陽性) の届出があった。この患者(6月7日から発熱、血便、下痢症状)も同園の園児であったことから、PFGE を実施したところ、分離株の PFGE 型は一致した。このことから、A 幼稚園における集団感染が疑われ、園児、教職員、家族等接触者 458 名の検便が実施された。その結果 36 名から O26 が分離され、計 38 名の集団発生となった。内訳は園児 29 名、教職員 1 名、患者家族 8 名(母親 1 名、兄弟姉妹 7 名)であった。感染した園児にクラスの偏りはなかったが、園内の患者発生状況からみてヒトからヒトへの感染と考えられた。

<事例 13 西予市 B 保育所>

8月11日、西予市内の小児科から八幡浜中央保健所に O26 (VT1) 患者の届出があった。3日から腹痛、水様性下痢、血便を呈し、翌日受診したものであった。患者の通う B 保育所(園児 129 名、職員 27 名)で、他に受診している園児が数名いたことから、園児・職員全員の検便を実施した。延べ 416 名分の検査を実施した結果、初発患者を含め 15 名の感染が確認された。感染者は同クラス 7 名とその家族 7 名、別クラス 1 名であった。PFGE の結果、分離株 15 株の遺伝子パターンは全て一致した。感染源は特定できなかったが、園では園児が自宅から持参したタオルを 4cm 間隔のフックにかけて使用していたことから、このタオルが同クラスの園児間で共用に近い状態で使用され、主な感染要因となった可能性が考えられた。

保健所の勧奨により、感染者 15 名に対して服薬終了後数回の検便が実施された。その結果、12 名は菌陰性となったが、3 名は菌陰性の後再び排菌が確認された。この 3 名に対して再度服薬を指導し、最終的に全員が菌陰性となったことから終息に至った。

表 3 同一 PFGE 型の腸管出血性大腸菌(O157)患者発生状況

事例	住所	患者	年齢	性別	発病月日	届出月日	牛レバー 喫食歴*	備考
22-1	今治市		20代	男	10.19	10.22	無	
22-2	越智郡		50代	男	11.9	11.11	無	子
			70代	女	11.14	11.17	無	母
22-3	松山市		20代	男	11.6	11.13	有	食中毒
			20代	男	11.7	11.16	有	食中毒
22-4	東温市		40代	女	11.11	11.15	有	妻
			50代	男	無症状	11.17	有	夫
22-5	伊予市		50代	女	11.9	11.15	無	
22-6	今治市		幼児	女	11.12	11.16	無	
22-7	松山市		30代	女	11.8	11.16	有	
22-8	松山市		30代	男	(11.7)	11.18	有	職場の検便
22-9	東温市		20代	男	無症状	11.22	無	職場の検便
			幼児	女	11.17	11.22	無	妹
22-10	松山市		幼児	男	(11.9)	11.26	無	兄
			小学生	男	無症状	11.26	無	従兄弟
			幼児	女	11.23	11.26	無	従姉妹

* 発病前1週間以内の非生食用牛レバー生食の有無

() 聴き取り調査結果

このように O26 が集団で発生したのに比べ、O157 は夏場の流行期においても散発・家族内発生に留まっていたが、10 月から 11 月に集中して O157 患者が続発した。そのなかには飲食店で発生した食中毒（表 3 中の事例 22-3）も含まれていた。11 月 2 日に松山市内の飲食店を利用した 1 グループ 8 名のうち 3 名が下痢腹痛等の症状を呈し、そのうち 2 名から O157 が検出された事例であった。喫食状況等の聴き取り調査の結果、飲食店の会食を原因とする食中毒と断定され、非生食用牛レバーの生食が原因と考えられた。原因菌の血清型は O157:H7(VT1・VT2) で、12 薬剤に対して全て感受性であった。この食中毒事例と前後して 14 名の O157 患者が発生し（表 3）、PFGE の結果、16 名の患者由来株のパターンがほぼ一致した。このことから共通の感染源または二次感染等が考えられたが、疫学調査の結果、その原因は特定できなかった。

その他、本年の散発事例由来株は感染研における PFGE 解析の結果、他の地域の分離株と同一パターンの株であった。事例 9 の分離株は東京都（3 月）、岡山県・三重県（4 月）、大阪府（5 月）、岡山県（6 月）、岡山県・石川県・千葉市（7 月）、栃木県（9 月）の散発事例由来株のパターンと一致していた。また、事例 11 は 4 月に香川県、岡山県、石川県、福井県の分離株と一致していた。さらに事例 14 の分離株は大阪府（7 月）、千葉市・広島県・岐阜県（8 月）の散発事例由来株の示すパターンと一致していた。いずれも感染原因は不明である。

薬剤感受性試験の結果は、アンピシリン、ストレプトマイシン、テトラサイクリン等の単剤あるいは多剤耐性菌が半数以上みられたが、ホスホマイシン、ニューキノロン系等の第一選択薬剤に対する耐性は認められず、昨年と同様の傾向であった。

(2) 定点把握対象感染症

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

咽頭ぬぐい液から SEB 培地で増菌後、羊血液寒天培地で分離を行なった。溶血を認めた集落について、溶血性レンサ球菌（溶レン菌）の同定検査及び群別試験を実施した。A 群と特定された菌株については、市販免疫血清により 19 種の T 型を決定した。

2004 年には県下 4 地域の病原体定点等で採取された 85 検体の咽頭ぬぐい液を培養した。その結果、A 群溶レン菌は 27 件分離され、T 型別では、12 型が 15 株と最も多く約半数を占めた。次いで 4 型 5 株、1 型 3 株であった（表 4）。また、A 群以外に G 群が 2 株分離された。松山地区においては特に患者数が増加したことから小児科定点の協力を得て、分離培養を実施したが、8 型、12 型各々 1 株ずつの分離に留まった。

月別分離状況を表 5 に示した。5 月から 7 月の分離数が多く、血清型別では 12 型の占める割合が高かったことから、同時期の患者数増加の主原因は 12 型によるものと推察された。

表 4 地区別溶血レンサ球菌分離状況

血清型別	今治	松山市	松山	八幡浜	計
1型	1	2			3
4型		5			5
8型			1		1
11型		2			2
12型	6	8	1		15
28型				1	1
G群		2			2
計	7	19	2	1	29
検査数	7	57	20	1	85

表 5 月別溶血レンサ球菌分離状況

血清型別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計 (%)
1型				2		1							3 (10.3)
4型					1		2				1	1	5 (17.2)
8型							1						1 (3.4)
11型												2	2 (6.9)
12型	1			1	3	4	3	1		1	1		15 (51.7)
28型									1				1 (3.4)
G群	1						1						2 (6.9)
計	2	0	0	3	4	5	7	1	1	1	2	3	29
検査数	5	1	1	8	11	9	32	1	4	4	3	6	85

感染性胃腸炎

検査対象病原体は主として赤痢菌、病原大腸菌、サルモネラ、病原性ビブリオ及びカンピロバクターとし、通常 4 種類の選択分離培地上に発育した典型的な集落を釣菌し、生化学的性状試験及び血清学的試験により同定した。本年より EHEC の迅速かつ確実な検出を目的として、大腸菌の VT スクリーニング試験を開始した。また、大腸菌は市販免疫血清で血清型別を実施した後、各種の病原因子に関する遺伝子増幅検査 (PCR 法) により腸管侵入性大腸菌 (EIEC) 及び病原血清型大腸菌 (EPEC) に分類した。

2004 年の病原細菌検出状況を表 4 に示した。小児を中心に 520 検体の糞便について病原菌検索を試み、また糞便由来のサルモネラ分離株 4 件については血清型別により同定を行なった。その結果、病原大腸菌が 15 件、カンピロバクターが 16 件分離され、サルモネラ菌は小児科定点からの分離株を含め 5 株全て S.Virchow であった。病原菌は年間を通じて分離されたが、6 月から 8 月の分離数が多く、夏季の感染性胃腸炎の主原因であったことが示唆された。

5 月に分離された O26 は、6 月から 7 月にかけて松山市内の幼稚園で発生した集団感染事例の初発患者で、定点把握感染症の病原体検索において EHEC が分離された初めての事例であった。O112ac 及び O 型別不能株の 2 株はともに腸管侵入性遺伝子 (*invE*) が陽性であったことから、EIEC と同定された。また 4 種類の腸管付着性に関する PCR の結果、複数陽性株を含めて、*eaeA* が 6 株、*astA* が 6 株、*aggR* が 2 株から検出され、EPEC と同定された。

また、カンピロバクターは、生化学的性状試験により 16 株全て *Campylobacter jejuni* と同定され、小児の感染性胃腸炎において主要な病原菌であったことが推察された。

その他、赤痢菌、病原ビブリオ等は分離されなかった。

表 6 感染性胃腸炎からの病原細菌月別検出状況

病原細菌	血清型別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
病原大腸菌	腸管出血性大腸菌					1								1
	腸管侵入性大腸菌						1							1
							1							1
											1		1	2
		1												1
		1												1
							1							1
											1			1
		1												1
			1											1
								1						1
								1						1
											1			1
	小計	3	1	0	0	1	4	2	0	0	3	0	1	15
<i>Campylobacter jejuni</i>		1	2	0	0	2	1	6	0	1	1	2	0	16
<i>Salmonella</i> Virchow		0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	5
計		4	3	0	0	3	5	9	4	1	4	2	1	36
検査検体数		39	32	59	48	42	56	48	45	42	25	38	50	524

2 ウイルス検査状況

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱に定められた指定届出機関のうち、病原体定点はインフルエンザ定点 12（内科 4、小児科 8）、小児科定点 8、基幹定点 6、眼科定点 2 の医療機関が設定されている。病原体検査対象疾患のうち、ウイルス性疾患はインフルエンザ定点のインフルエンザ、小児科定点では咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、麻疹、流行性耳下腺炎、眼科定点では流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、基幹定点では無菌性髄膜炎、成人麻疹である。これらの医療機関から、病原体検査要領に基づいて採取された検体について、ウイルス学的検査を実施した。

検査材料：2004 年 1 月から 12 月の間に採取された臨床材料について、ウイルス培養用には輸送培地として 0.2% ウシ血清アルブミン加 VIB 培地を必要に応じて用い、検体は検査に供するまでは - 80 で保存した。感染性胃腸炎患者便は、密閉容器に採取され搬入されたものを検体とし、検査に供するまでは - 30 で保存した。

検査方法：ウイルス培養には FL、RD-18 s、Vero 細胞を常用し、インフルエンザ流行期には MDCK 細胞を併用した。また、夏季の急性気道疾患患者検体の一部は、哺乳マウスによるウイルス分離を行った。感染性胃腸炎起因ウイルス検索には、電子顕微鏡法（EM）および RT-PCR 法を実施した。EM で検出されたロタウイルスは、イムノクロマト法（第一化学）および SDS-PAGE 法で群別し、アストロウイルスは ELISA 法による血清型別を行った。ノロウイルス（NV）遺伝子の検出には、COGF/R プライマーと RINGTaqMan プロブを用いた、影山らのリアルタイム PCR 法を実施した。サポウイルス（SV）遺伝子の検出は、岡田らの SV 系プライマー（1st SV-F1/R1、nested SV-F21/R2）を用いた nested PCR を行った。

（1）病原体定点種類別検体数

2004 年に、病原体定点から受け付けた検体数は 1,334 件で、病原体定点種類別診断名別の受け付け状況を表 1 に示した。

インフルエンザ定点からの検体数は 58 件で、内科定点から 15 件、小児科定点から 43 件と約 74% が小児科定点からの検体であった。小児科定点対象疾患では感染性胃腸炎が最も多く 546、手足口病 23、ヘルパンギーナ 14、流行性耳下腺炎 11、咽頭結膜熱 12 件であった。眼科定点対象疾患では流行性角結膜炎 10 であった。基幹定点対象疾患では無菌性髄膜炎 12 であった。年間を通して検体採取のなかった医療機関はインフルエンザ定点 3、小児科定点 3、基幹定点 1、眼科定点 1 施設であった。これら以外に、SARS 疑い例 2 例の発生があり、行政対応として血液 4 件、咽頭ぬぐい液、便（腸内容物）、喀痰の各 3 件について、LAMP 法による病原体検査を実施した（いずれも陰性）。

2004 年に流行のみられた疾患であるインフルエンザ、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナなどにおいて、それぞれの主要原因と推測されるウイルスを検出して特定することが可能であった。またその他の疾患でも、それぞれの検体からウイルスを検出して、患者情報の裏付けをすることができた。サーベイランスの対象疾患に該当しない診断名である下気道炎、上気道炎、熱性疾患（不明熱）、不明発疹症などの検体数がかなりの比重を占めているが、これらの検体からもその年に流行しているウイルスが高率に検出されており、各種疾患の発生

動向をみる上で、貴重な病原体情報を得ることができた。採取検体数は概ね、一年間に流行する疾患の動向を捉えるのに必要なだけの採取協力が得られていると考えられたが、医療機関ごとにとみると検体数に差がみられており、県内の全地区から検体が採取されれば、対象とする疾患の地域的な流行が、より確実に把握できると期待される。

表1 定点医療機関からの臨床診断名別検体受付状況(2004年)

保健所名	種別	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	下気道炎	上気道炎	気管支喘息	急性脳炎	不明熱	不明発疹症	突発性発疹	その他	不明・記載なし	合計
四国中央	小児科					1	2													3
	基幹				1					3										4
新居浜	小児科	16	6	4	24	4	6	3			6	77				8	1	1		156
	基幹									2										2
西条中央	インフルエンザ	11	4																	15
今治中央	小児科	10		7	12	4	2	7				2								44
	眼科								10											10
	基幹																			0
松山中央	インフルエンザ																			0
	小児科																			0
	基幹																	1		1
大洲	インフルエンザ																			0
八幡浜中央	小児科			1		1														2
	基幹									4										4
宇和島中央	小児科																			0
	基幹									3				1				2		6
松山市	インフルエンザ																			0
	小児科	3	8		509	13	4	1			124	73	2		300	27	1	4	18	1087
	小児科																			0
	眼科																			0
合 計		40	18	12	546	23	14	11	10	12	130	152	2	1	300	35	2	8	18	1334

(2) 気道感染症等由来検体からの検出

細胞培養による月別ウイルス検出状況を表 2 に、臨床診断名別ウイルス検出状況を表 3 に示した。951 検体（定点外医療機関の検体 154 件も含む）の分離培養によって、360 株のウイルスが検出された（検出率 37.9%）。

インフルエンザウイルス：1 月～3 月および 11・12 月に検出され、A 香港型（AH3）が 1～3 月に 72 株、11・12 月に B 型が 4 株分離された。本年の流行シーズン（2003/2004 シーズン）は AH3 のみによる小規模流行であった。AH3 の検出は、インフルエンザ（インフルエンザ様疾患を含む）検体からが 51 株と大多数を占めたが、下気道炎、上気道炎、熱性疾患からも 21 株が検出された。分離株 AH3 の抗原性は、そのほとんどで HI 抗体価が 2003/2004 シーズンのワクチン株（A/パナマ/2007/99）から 3～4 管差以上の抗原変異を示していた。年末に分離した B 型 4 株は、2004/2005 シーズンのワクチン株（B/上海/361/2002）の類似株であった。

RS ウイルス：例年は、インフルエンザシーズンに相前後して分離されてきたが、冬季の 1～4 月に 15 株、9～12 月に 27 株検出され、特に 12 月には 15 株が集中して分離された。夏季における検出は、昨年に続いて本年も 6・7 月にそれぞれ 1 株ずつみられた。抗原性の差により、

表 2 細胞培養による月別ウイルス検出状況（2004 年）

ウイルス型		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
コクサッキーA群	2型	1					3		2	3				9
	4型				4	12	15	5						36
	9型							2						2
	16型							2	1	1	1			5
コクサッキーB群	1型					1	2	7	7		3	1		21
	2型	1	1				1							3
	5型						3	6	3	1				13
エコー	3型							2	4	6	2		1	15
	6型	2		1	1	2	1	3	7		1			18
	7型							5		2	4	1	1	13
ポリオ	1型					1						1	1	3
	3型					1				2				3
インフルエンザ	AH3	38	24	10										72
	B											3	1	4
パラインフルエンザ	2型									1				1
RS		5	5	1	4		1	1		1	3	8	15	44
ムンプス		1			1		2	2	2	1	2		5	16
ライノ	36型				1									1
	A群	2	3		1			2						8
ライノ様ウイルス						2	2	1	1	1				7
アデノ	1型	1	1		1	3	3	1				1	2	13
	2型	1		3	1	2	3		1					11
	3型	1		2	2	1		5	2					13
	5型	1	1	1		1	1			2				7
	37型								1					1
	NT	1												1
単純ヘルペス	1型	2		2			1	1	1		1	1	1	10
未同定							2		2		3	2	1	10
合 計		55	36	21	16	26	40	45	34	21	20	18	28	360
検 査 数		96	83	86	68	72	95	95	74	69	68	69	76	951

A・B 2 つのグループにタイピングしたところ、A グループ 32 株、B グループ 8 株(1 月 3 株、2 月 4 株、4 月 1 株)、NT 4 株であった。

ムンプスウイルス：流行性耳下腺炎は、3～4 年の周期で流行が繰り返されており、本年は患者数の増加傾向がみられたため、原因ウイルスが昨年より多い 16 株分離された。これらのうち髄液からの検出は 4 例(無菌性髄膜炎(AM)の併発 2 例、急性脳症 1 例、不明熱 1 例)であった。

ライノ、パラインフルエンザ：1～9 月の間に、ライノウイルス 36 型 1 株、A 群 8 株、ライノ様ウイルス 7 株が、上・下気道炎、発疹症、不明熱等から検出された。パラインフルエンザウイルス 2 型が 9 月にクループ症候群から 1 株分離された。

表 3 臨床診断名別ウイルス検出状況 (2004 年)

ウイルス型		インフル エンザ	インフル エンザ 様疾患	咽 頭 結 膜 熱	手 足 口 病	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	腸 重 積 症	下 気 道 炎	上 気 道 炎	不 明 熱	不 明 発 疹 症	急 性 脳 症	そ の 他	合 計
コクサッキーA群	2型					2					1	2	3	1			9
	4型			2		6					1	10	13	1		3	36
	9型													1		1	2
	16型					4								1			5
コクサッキーB群	1型					1		4				2	12			2	21
	2型												2			1	3
	5型				1	1		2	1			4	2	1		1	13
エコー	3型			1					2			5	7				15
	6型	1						1		1	1	3	10			2	18
	7型					1	1	6		1	3			1			13
ポリオ	1型				1						1		1				3
	3型												2			1	3
インフルエンザ	AH3	44	7								2	9	10				72
	B	1										3					4
パラインフルエンザ	2型															1	1
RS			1								18	8	17				44
ムンプス							5	2					7		1	1	16
ライノ	36型												1				1
	A群										1	2	3			2	8
ライノ様ウイルス												3	2	2			7
アデノ	1型								2	3	2	5				1	13
	2型			1					1			3	6				11
	3型			6			1		1	1	2	1				1	13
	5型										1		6				7
	37型						1										1
	NT										1						1
単純ヘルペス	1型					1		1			1		4	1		2	10
未同定				2		1				1	1	2		2		1	10
合計		46	8	10	8	13	6	3	15	8	34	63	114	11	1	20	360

エンテロウイルス：エンテロウイルスは、毎年夏季を中心として流行が見られ、小児における急性気道疾患の重要な原因ウイルスとなっている。

ヘルパンギーナからは、コクサッキーウイルス A4 型 (CA4) が、6～7 月の間に 6 株、CA2 が 8 月に 2 株分離され、本年のヘルパンギーナは CA4 を主流として、CA2 との混合流行であったと考えられた。ヘルパンギーナ以外の熱性疾患、上気道炎等からも 4～7 月にかけて CA4 が 30 株、2～9 月に CA2 が 9 株、CA9 が 7 月に 2 株分離されており、この時期に CA4 を主流とした CA 群の流行が認められた。

手足口病の起因ウイルスである CA16 型は、7～10 月の間に 5 株 (手足口病から 4 株、不明発疹症から 1 株) 分離された。このうち手足口病の 1 株は、水疱内容物からの検出であったことから、CA16 が本年の流行の主原因ウイルスであったと推測された。本年の手足口病の流行は小規模に止まったため、ウイルス分離株数も少数であった。

その他のエンテロウイルスは、主として夏季における気道感染症、熱性疾患から CB1 型 21 株、CB2 型 3 株、CB5 型 13 株が、エコーウイルス (E) は 42 株 (3 型 15、6 型 18、7 型 13 株) 検出された。これらのうち AM から検出されたのは、CB1 型 4 株、CB5 型 2 株、E6 型 1 株、E7 型 6 株で、本年の AM 流行は多種類のウイルスが原因であったことがうかがえた。流行性耳下腺炎から E7 が検出された 1 症例は、ムンプスウイルスとの重感染例であった。ポリオウイルスは、ポリオ生ワクチン接種時期の 5 月と 9 月にそれぞれ 2 株 (1 型 1 株、3 型 3 株) 分離されたが、いずれもワクチン接種者検体からの検出であった。また、ワクチン接種者との接触者からの検出 (11・12 月) が 2 例みられた。

アデノウイルス (Ad)：Ad で多く検出されたのは 1 型 13 株、2 型 11 株、3 型 13 株で年間を通して分離されたが、咽頭結膜熱患者数の増加時期に相応して、第 29～35 週の間は Ad3 型のみが検出されており、この疾患の流行の主要因と考えられた。Ad は、概して気道感染症や熱性疾患からの検出が多く、血清型も様々であったが、特徴的な診断名別の検出として、咽頭結膜熱から Ad3 型 6 株、流行性角結膜炎から Ad37 型 1 株、腸重積から Ad1 型 2 株、2 型 1 株、3 型 1 株が分離された。

ヒト単純ヘルペス - 1 型 (HSV-1)：年間通して、主に熱性疾患から 10 株が検出された。

検体種類別ウイルス検出数：臨床検体 951 件の検体種類別のウイルス検出数を表 4 に示した。呼吸器からの検体が最も多く、咽頭ぬぐい液 767 件、鼻汁 67 件、鼻腔ぬぐい液 (対象をインフルエンザのみとした) 9 件、気管吸引液等 1 件であった。これらの検体から検出されたウイルスはそれぞれ、280 株 (検出率 36.5%)、38 株 (56.7%)、9 株 (100%) で、気管吸引液等からは分離されなかった。インフルエンザ、RS ウイルスは、鼻汁から高率に検出されており、これらのウイルスを検出するためには、鼻汁がより適していると考えられた。

髄液を採取された症例は、AM27、脳炎 4、脳症 2、痙攣重積 4、不明熱 5、その他 2 例、計 45 例で、検出されたウイルスはムンプス 4 株、CB1 型 2 株、CB5 型 2 株、E6 型 1 株、E7 型 2 株であったが、髄液からのウイルス分離率は、他の検体に比較して低率であった。AM 患者からの検体採取にあたっては、髄液のみでなく他の検体も同時に採取し、検査する必要があると考えられた。ムンプスウイルスを検出した 4 症例は 4 歳が 2 例、7 歳、8 歳各 1 例であった。

皮膚病巣（水疱内容物）は、手足口病患者から採取された1検体のみであったが、起因ウイルスCA16型が検出された。病巣からのウイルス検出率は高く、直接診断に結びつく点でも非常に有用な検体である。

眼科検体では、結膜擦過物10検体中Adが2株、HSV-1が1株検出されたが、眼脂1検体からは分離されなかった。尿7例からも、ウイルスは分離されなかった。

表4 臨床材料別ウイルス検出数（2004年）

臨床材料別		咽頭ぬぐい液 (うがい液)	咽頭ぬぐい液 (鼻汁)	鼻腔ぬぐい液	気管吸引液・ 喀痰	髄液	便 (直腸ぬぐい液)	皮膚病巣 (水疱内容物)	結膜ぬぐい液 (結膜擦過物)	結膜ぬぐい液 (眼脂)	尿	合計
検体数		767	67	9	1	45	43	1	10	1	7	951
検出数		280	38	9	0	11	17	1	3	1	0	360
検出率(%)		36.5	56.7	100.0	0.0	24.4	39.5	100.0	33.3	100.0	0.0	37.9
コクサッキーA	2型	9										9
	4型	35								1		36
	9型	2										2
	16型	4						1				5
コクサッキーB	1型	16				2	3					21
	2型	2	1									3
	5型	9				2	2					13
エコー	3型	13					2					15
	6型	16				1	1					18
	7型	9				2	2					13
ポリオ	1型	2	1									3
	3型	3										3
インフルエンザ	AH3	33	30	9								72
	B	3	1									4
バラインフルエンザ	2型	1										1
RS		39	5									44
ムンプス		12				4						16
ライノ	36型	1										1
	A群	8										8
ライノ様ウイルス		7										7
アデノ	1型	11					2					13
	2型	10					1					11
	3型	10					2		1			13
	5型	7										7
	37型								1			1
	NT	1										1
単純ヘルペス	1型	9							1			10
未同定		8					2					10

週別ウイルス検出数：2004年に、流行の見られた疾患からの、週別ウイルス検出数を図1と図2に示した。図1には、2003/2004シーズンのインフルエンザ患者数と、ウイルス検出数の推移を週別に示した。患者数の増減とウイルス検出数はよく連動して推移しており、本シーズンはA香港型のみの流行であった。ウイルスは、患者数が増加傾向を示した第3週から、ほぼ流行の終息した14週までに72株が検出された。

図2は手足口病、ヘルパンギーナ、AM等の起因ウイルスとなった各種エンテロウイルス、および咽頭結膜熱を含む気道疾患等から検出されたウイルスの、週別検出数を示した。それぞれの患者数の増加に伴って、対応するウイルスが検出された。ヘルパンギーナ流行における、大きい患者ピークの形成の主要原因はCA4であったが、流行の終わり頃(第34～40週)の患者数の微増には、CA2が関与したことが推測できた。手足口病は、冬季に入っても患者発生が遷延してみられたが、それに伴ってCA16も42週まで検出された。

CB群およびEは、夏季～秋季にかけて多くの気道疾患、熱性疾患の病因ウイルスとして検出されたが、AM患者数の増加した時期(第31～42週)には、AMの起因ウイルスとして髄液からCB1、CB5、E6、E7が検出された。

ムンプスは、例年より多い16株が年間を通して検出されたが、患者数が6月下旬以降ほぼ一定で推移し、その報告数が昨年の約4倍に昇ったことが背景となっている。冬季に流行するRSウイルスは、インフルエンザウイルスと競合する年始時期の検出数は少なく、45週以降には多数検出された。RSウイルスの2つの抗原グループA・Bのうち、1・2月はBが主流、11・12月はAが主流株であった。

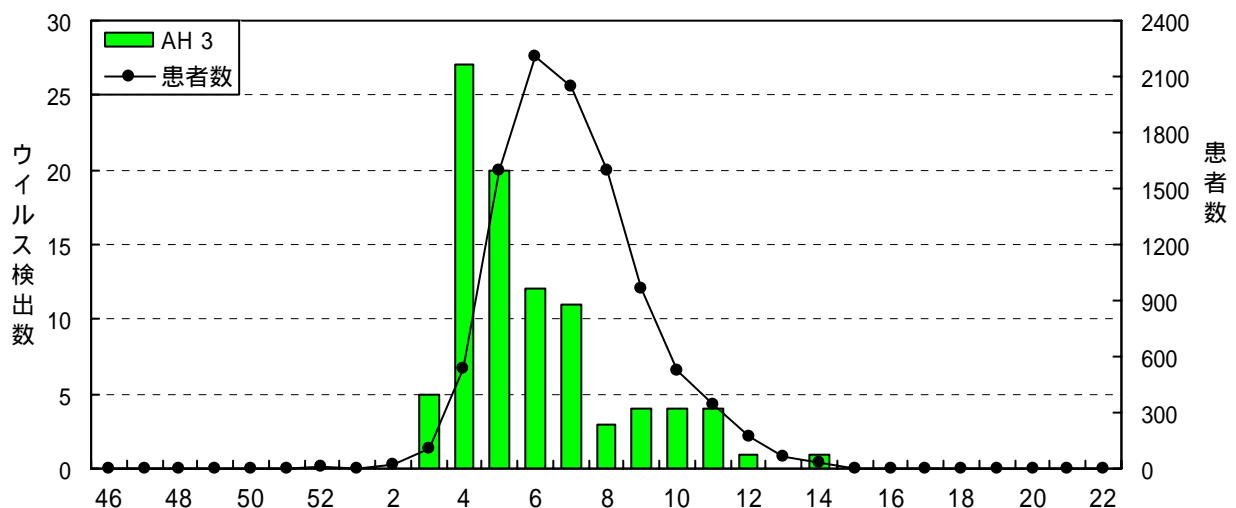


図1 週別の患者発生数とインフルエンザウイルス検出数の推移 (2003/2004シーズン)

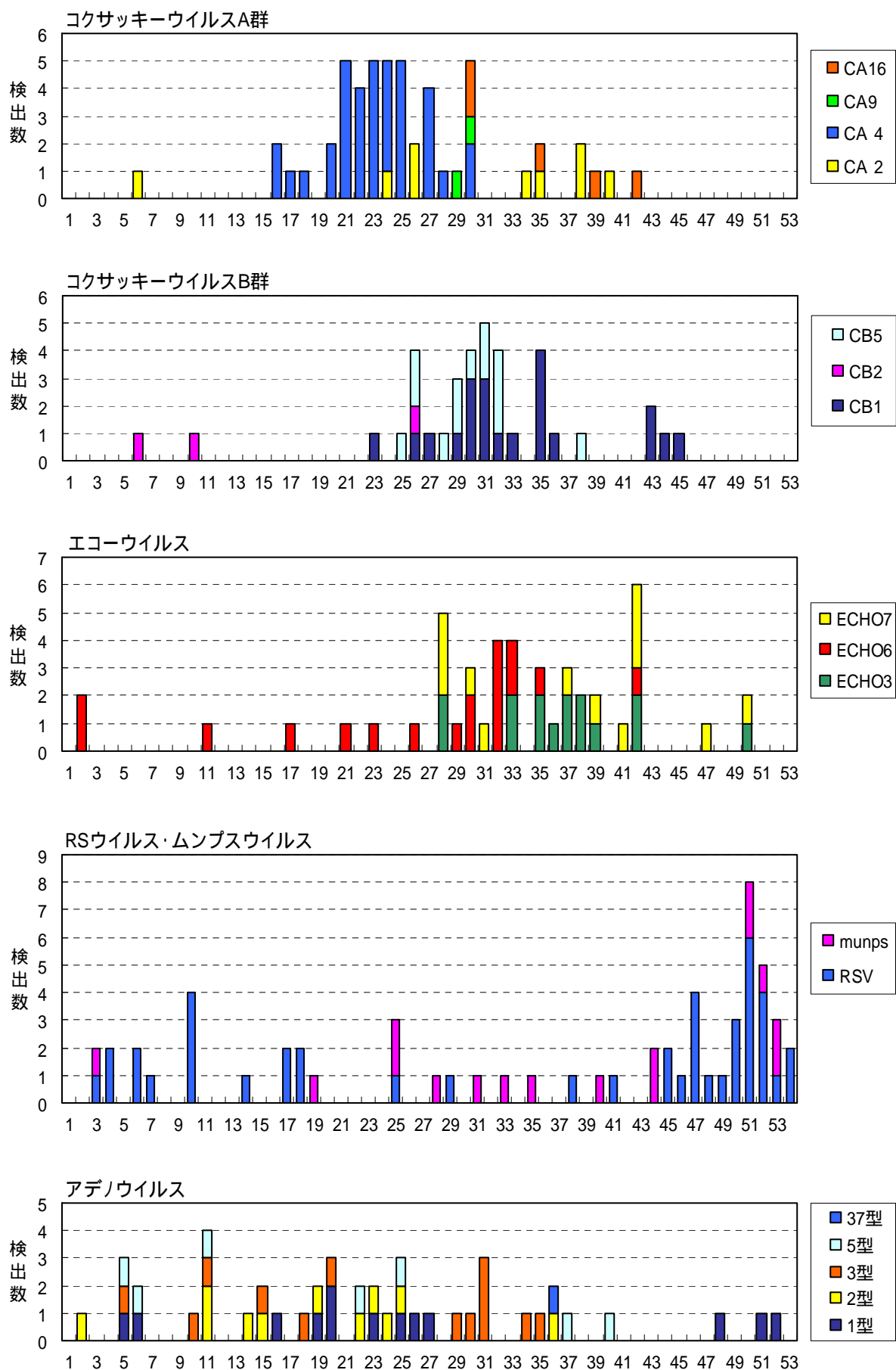


図 2 週別ウイルス検出数

年齢別ウイルス検出数：インフルエンザウイルスの年齢別検出数を表 5 に示した。AH3 の検出 72 株のうち、4 歳以下の乳幼児が最も多く 36.1%を占め、次いで 10～14 歳 22.2%、5～9 歳 19.4%の順であった。20 歳以上の検出数は、15.3%であった。

表 6 にはエンテロウイルス（CA、CB、E）および RS ウイルスの年齢別検出数を示した。ヘルパンギーナの主要原因であった CA4 の検出は、1～4 歳で約 83%を占めたものの、乳児から 9 歳の学童期までの比較的広い年齢層で見られ、CA2 は 4 歳以下、CA9 は 5～9 歳にみられた。CB および E の検出は 2 歳以下が大半であったが、3～9 歳にもみられた。これらのウイルスによる、AM 発症 8 例のうち CB1 の 3 例、CB5 の 2 例、E7 の 2 例は、全て 1 歳未満児であり、E6 の 1 例のみが 6 歳児であった。手足口病の起因ウイルス CA16 の 5 株は、4 歳以下で検出された。RS ウイルス 44 株では、1 歳未満が 27%、1～2 歳が 57%と 2 歳以下が約 84%を占めていた。乳児および若年幼児層における、気道感染症の要因としてインフルエンザを含め、エンテロウイルス、RS ウイルスの重要性が示された。

表 5 インフルエンザウイルスの年齢別検出数(2004 年)

年齢区分	A香港型					B型		
	検出数	インフル エンザ	下気道炎	上気道炎	熱性疾患	検出数	インフル エンザ	上気道炎
0～4	26	13	2	3	8	2		2
5～9	14	12		2		2	1	1
10～14	16	11		3	2			
15～19	5	5						
20～29	1	1						
30～39	2	1		1				
40	8	8						
合計	72	51	2	9	10	4	1	3

表 6 エンテロウイルス等の年齢別検出数(2004 年)

年齢区分	コクサッキーウイルス							エコーウイルス			RS ウイルス
	CA2	CA4	CA9	CA16	CB1	CB2	CB5	ECHO3	ECHO6	ECHO7	
<1	2	2		1	5(6)	1	4	3	3	5(9)	12
1～2	3	23		3	8	1	6	6	6	3	25
3～4	4	7		1	4			4	3	1	5
5～6		2	1		2	1		2	4		1
7～9		2	1		1		3		1		
10～19											1
20									1		
合計	9	36	2	5	20(21)	3	13	15	18	9(13)	44

()は検出株数

(3) 感染性胃腸炎からの検出

表 7 と図 3 に、感染性胃腸炎患者 552 例から、EM および PCR で検出したウイルス 253 例（検出率 45.8%）の月別検出数を、図 4 には検出された各ウイルスの月別検出率を、図 5 には検出ウイルスの年齢分布を、それぞれに示した。

感染性胃腸炎からのウイルス検出状況：本年の検出ウイルス数は、NV が 144 例（G1-11、G2-133）と検出割合が最も多く（56.9%）ついで、ロタの 56 例（A 群 55、NT1）（22.1%）、SV の 27 例（17.1%）、アデノ 15 例（5.9%）、アストロ 11 例（4.4%）であった。本年は、NV の検出数が昨年より大幅に増加したが、ロタ、SV、アデノ、アストロは前年なみの検出であった。図 3・図 4 の胃腸炎からの月別ウイルス検出数・検出率の増減は、感染性胃腸炎患者数の増減とよく一致しており、検出されたこれらのウイルスが、冬季を中心とする感染性胃腸炎患者多発の要因となったことが明らかであった。

NV は、1～7 月および 11・12 月に多く検出されており、8 月を除いた夏季も含めて長期に渡って感染性胃腸炎の主要原因ウイルスであった。ロタは 1～5 月に検出され、特に 2～4 月が多かった。SV は、2～6 月および冬季の 11・12 月に検出された。アストロは 1 月、7 月に各 1 例、5 月には 9 例が集中して検出された。アストロの血清型別は 1 型 7、5 型 2、NT2 例であった。アデノは 4・5・7 月に多かったものの、ほぼ年間を通して検出された。図 4 にみられるように、検出ウイルスはそれぞれの消長パターンを示しながら流行しており、それらが重なったために多種類のウイルスが同時に流行した結果、患者数増大に繋がった。また、5 月中旬から 7 月中旬にかけて患者数の減少が停滞し、微増傾向をみせた要因は、NV の長期間に渡る流行と SV、アストロの流行が重なったことによると考えられた。各月の胃腸炎起因ウイルス検出率は、1 月 65.0、2 月 78.9、3 月 73.8、4 月 56.6、5 月 86.0、12 月 73.7%と非常に高率を示した。

表 7 感染性胃腸炎患者からのウイルス検出状況 (2004)

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
NV G1	1	4		1					1		1	3	11
NV G2	21	13	15	5	16	17	6			1	5	34	133
SV		4	5	4	8	3					1	2	27
ロタ A	3	8	27	16	1								55
ロタ NT					1								1
アデノ		1	1	4	2		3				1	3	15
アストロ	1				9		1						11
検出数	26	30	48	30	37	20	10		1	1	8	42	253
検査数	40	38	65	53	43	53	51	46	37	27	42	57	552
検出率(%)	65.0	78.9	73.8	56.6	86.0	37.7	19.6		2.7	3.7	19.0	73.7	45.8

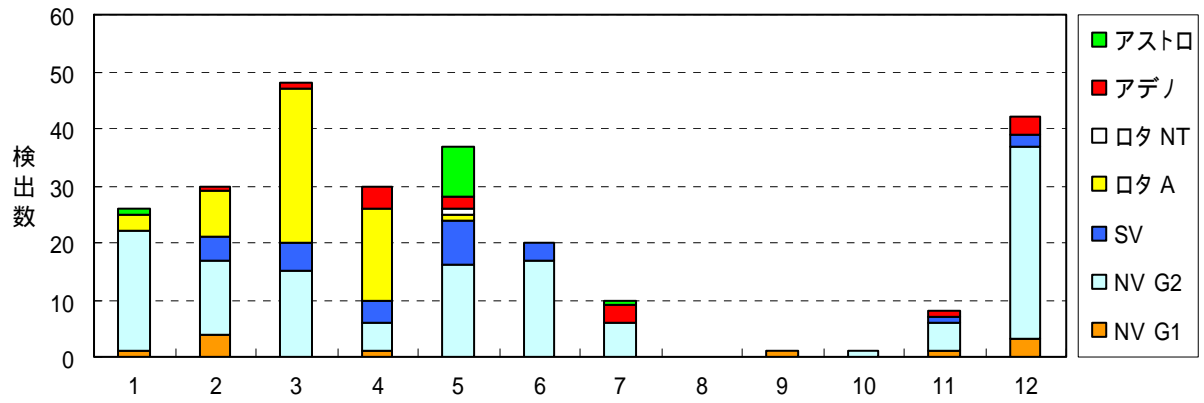


図3 感染性胃腸炎患者からのウイルス検出数

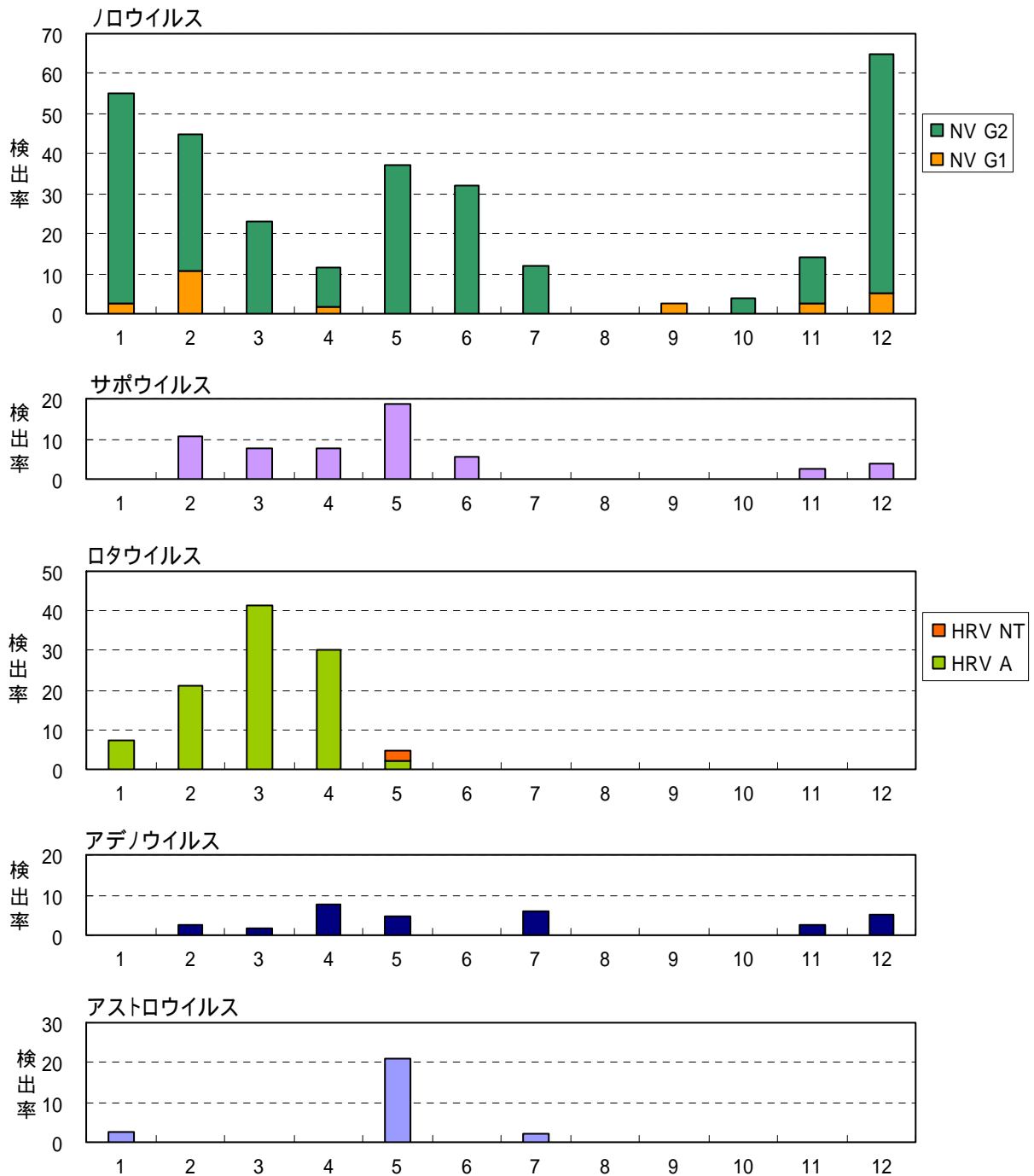


図4 感染性胃腸炎起因ウイルスの月別検出率 (2004)

胃腸炎起因ウイルス年齢別分布：図 5 に検出ウイルスの年齢別検出割合を示した。NV は、乳児を含む低年齢幼児から 10 歳以上の学童期児童までの、幅広い年齢層に満遍なく感染していることがうかがえた。SV は乳児での感染割合が最も多く、5 歳以上の高年齢幼児や学童期児童の占める割合は、ロタと同様に少なかった。アストロは 7 歳以上の学童期児童の割合が最も大きかった。SV、アデノ、アストロでは約 6 割が 2 歳以下の乳幼児で占められ、特にロタ A は 2 歳以下の乳幼児の感染が約 70% を占めていた。これらのウイルスは、いずれも乳幼児から学童期児童にいたる広汎な年齢層の、主要な胃腸炎起因ウイルスであった。

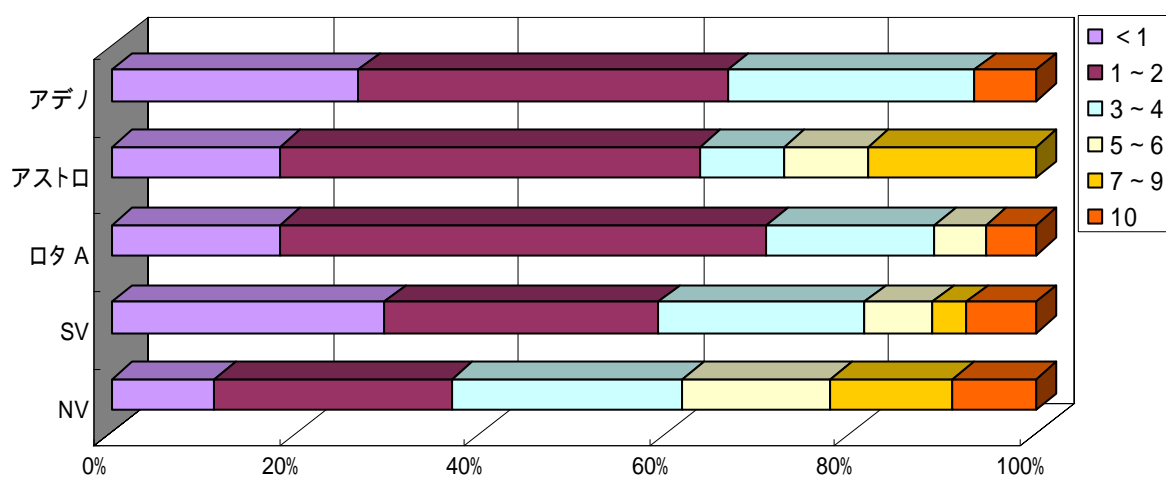


図 5 感染性胃腸炎起因ウイルス年齢別検出割合

2004 年（平成 16 年）結核発生動向調査結果
- 速報値 -

2004 年(平成 16 年) 結核発生動向調査結果(速報値)

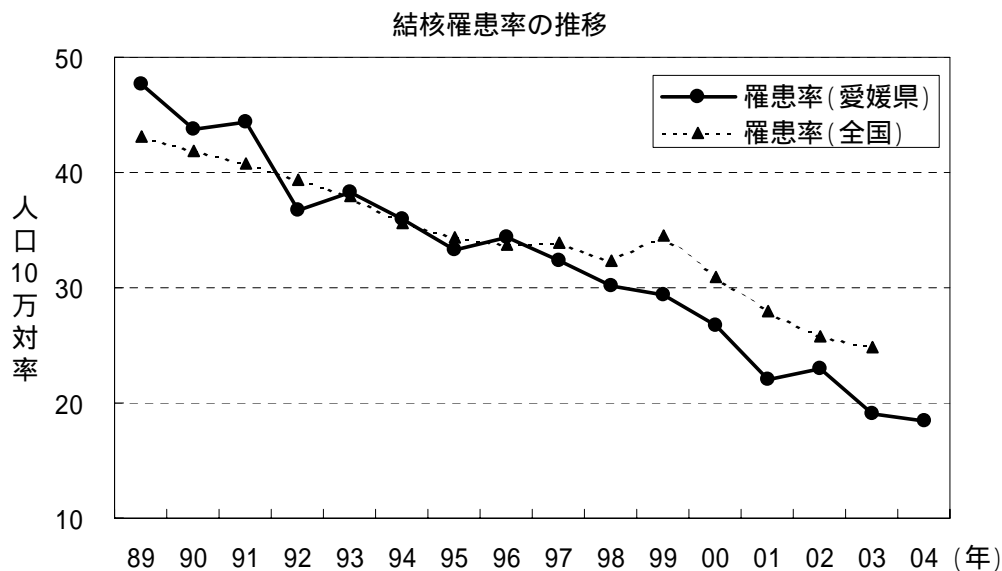
1 概況

2004 年の結核新登録患者及び罹患率(人口 10 万対率)は前年に比べて減少した。愛媛県内の結核患者は全国と比べて高齢者の占める割合が高く、感染の危険が高い塗抹陽性患者も 70 歳以上の高齢者の占める割合が 6 割を超えている。保健所別では、中予地区及び八幡浜・大洲地区での罹患率が高かった。

2 新登録患者の状況

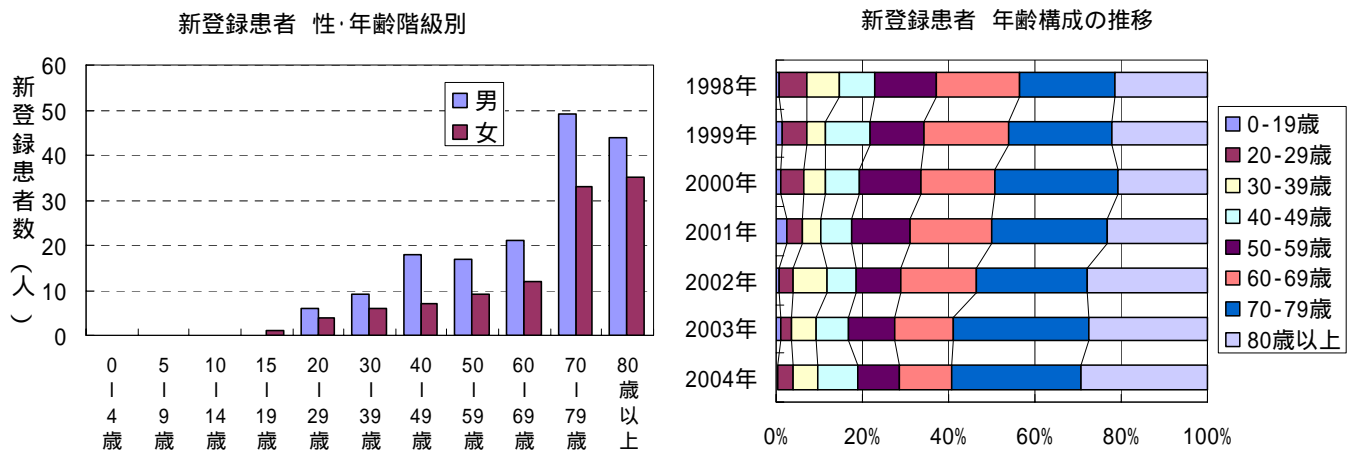
新登録患者数及び罹患率の動向

2004 年に新たに結核患者として登録された患者数(新登録患者数)は 271 人で、前年より 12 人の減少となった。2004 年の結核罹患率(人口 10 万人あたりの新登録患者数)は 18.4 で、2003 年の 19.1 から 3.7%減少したが、2003 年の減少率(17.0%)と比較すると小幅の減少に留まった。全国では「結核緊急事態宣言」が出された 1999 年以後罹患率は順調に減少していたが、近年その減少傾向に鈍化が見られており、愛媛県においても今後の動向が注目される。



性・年齢階級別

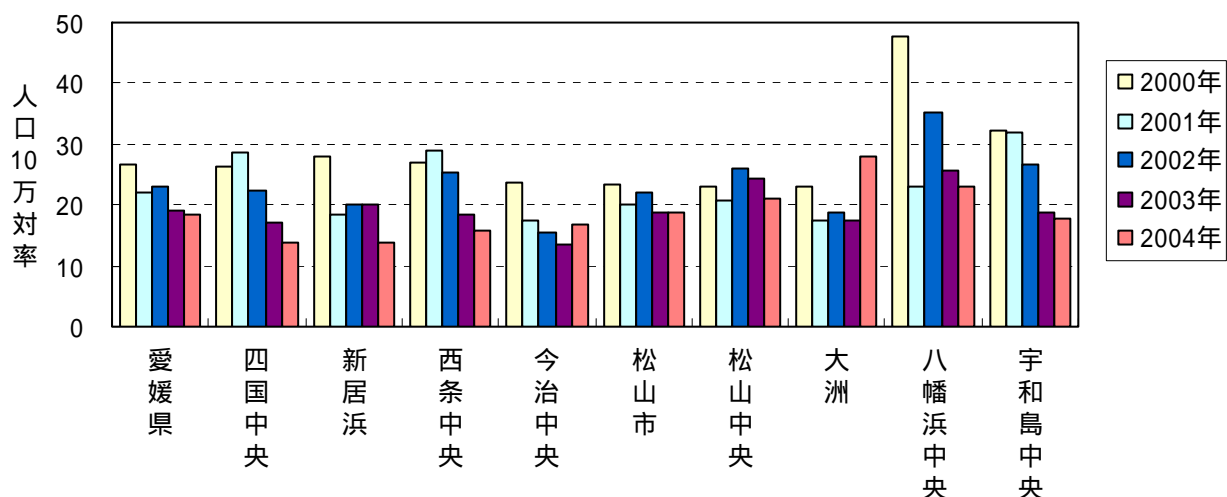
2004 年の新登録患者数を性・年齢階級別に見ると、全年齢では男性(164 人)が女性(107 人)よりも 1.5 倍多く、40 歳代で最大 2.6 倍であった。新登録患者の年齢構成の推移をみると、70 歳以上の高齢者が占める割合が年々増加しており、2004 年は 70 歳以上が新登録患者全体の 59.4%(161 人)を占めた。



保健所別

保健所別の罹患率を比較すると、2004 年の県全体の罹患率（18.4）を上回ったのは、大洲保健所（27.9）、八幡浜中央保健所（23.0）、松山中央保健所（21.0）、松山市保健所（18.6）の 4 保健所であり、中予地区及び八幡浜・大洲地区で高かった。2003 年と比較して罹患率の増加が見られたのは大洲保健所（+59.4%）及び今治中央保健所（+25.4%）、横ばいが松山市保健所であり、その他の保健所ではいずれも減少していた。減少率の大きな保健所は、新居浜保健所（-31.5%）、四国中央保健所（-18.7%）であった。

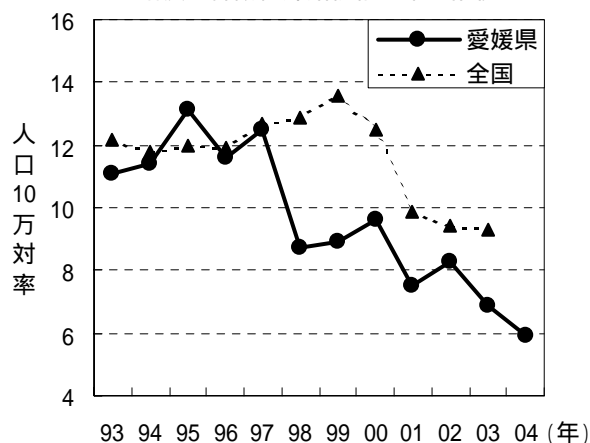
新登録患者 保健所別罹患率の推移



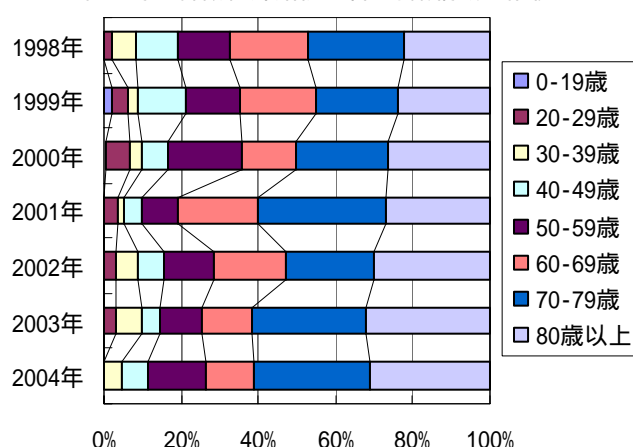
喀痰塗抹陽性肺結核患者数の動向

新登録患者のうち、排菌により感染の危険の高い喀痰塗抹陽性肺結核患者数（罹患率）は 2004 年 87 人（5.9）で、前年の 102 人（6.9）から 14.5%の低下であった。新登録塗抹陽性肺結核罹患率の年次推移をみると、増減を繰り返しながら概ね減少傾向にある。しかし、新登録塗抹陽性肺結核患者の年齢構成は高齢者の割合が増加する傾向にあり、2004 年における 70 歳以上の占める割合は 60.9%に上っている。高齢者の排菌患者は、診断の遅れや治療の困難等の課題が多く、院内感染や他の年齢層への感染源としても重要である。

喀痰塗抹陽性肺結核罹患率の推移



新登録塗抹陽性肺結核患者 年齢構成の推移



3 年末現在結核登録者の状況

2004 年末の愛媛県における結核登録患者数は 582 人で、前年より 108 人の減少であった。結核登録率（人口 10 万人あたりの年末現在結核登録者）は 39.4 で、2003 年の 46.6 から 15.5%減少した。

また、年末現在の活動性結核患者数（年末時点で結核の治療を受けている、あるいは治療の必要がある患者数）は 246 人で、前年より 18 人の減少であった。有病率（人口 10 万人あたりの年末現在活動性結核患者数）は 16.7 となり、2003 年の 17.8 から 6.2%減少した。

登録率及び有病率の推移をみると、1997 年以前は県内の人口 10 万対率が全国を上回っていたが、いずれも全国より減少率が大きく、1998 年に全国並みの数値となった。その後は県内の減少率に鈍化が見られ、全国と同様の推移を示している。

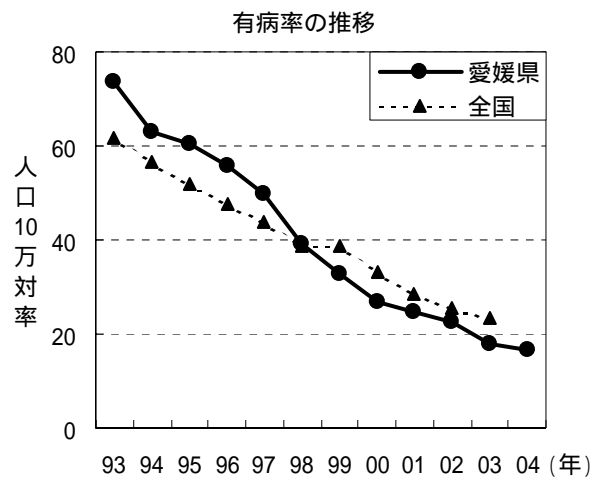
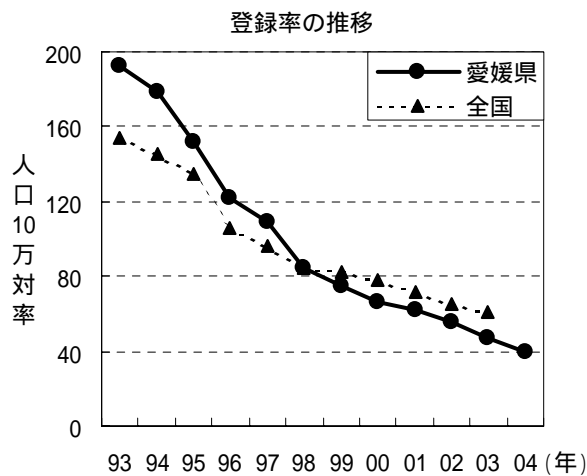


表 4-1 2004年 新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、保健所別 (速報値)

	活 動 性 結 核								(別掲) マル初	(別掲) 非 定 型
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性		抗 酸 菌 性
		喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他				
		総 数	初 回 治 療	再治療						
	総 数	総 数	初 回 治 療	再治療	結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他	肺 外 結 核 活 動 性	治 療 中	治 療 中	
愛媛県 総数	271	189	87	81	6	47	55	82	18	52
四国中央	13	9	3	3		1	5	4		10
新 居 浜	17	11	5	4	1	1	5	6		1
西条中央	18	15	6	5	1	3	6	3		7
今治中央	31	22	6	5	1	9	7	9	2	6
松 山 市	89	59	30	27	3	16	13	30	2	12
松山中央	37	28	16	16		2	10	9	6	6
大 洲	19	13	5	5		5	3	6		
八幡浜中央	23	13	6	6		3	4	10		2
宇和島中央	24	19	10	10		7	2	5	8	8

* マル初:結核の感染が強く疑われ、発病予防のための治療(予防内服)を受けているもの。

表 4-2 2004年 新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、性、年齢階級別 (速報値)

	活 動 性 結 核								(別掲) マル初	(別掲) 非 定 型 抗 酸 菌 陽 性
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性		
		喀 痰 塗 抹 陽 性				その他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他			
		総 数	初 回 治 療	再治療						
愛媛県 総数	271	189	87	81	6	47	55	82	18	52
男	164	114	60	56	4	28	26	50	7	16
女	107	75	27	25	2	19	29	32	11	36
0-4歳									7	
男									3	
女									4	
5-9歳									3	
男									2	
女									1	
10-14歳									1	
男									1	
女										
15-19歳	1	1					1		4	
男									1	
女	1	1					1		3	
20-29歳	10	7				1	6	3	3	1
男	6	3					3	3		1
女	4	4				1	3		3	
30-39歳	15	12	4	3	1	4	4	3	-	3
男	9	8	4	3	1	2	2	1		2
女	6	4				2	2	2		1
40-49歳	25	16	6	6		4	6	9	-	3
男	18	11	5	5		3	3	7		
女	7	5	1	1		1	3	2		3
50-59歳	26	22	13	12	1	5	4	4	-	2
男	17	15	11	11		2	2	2		
女	9	7	2	1	1	3	2	2		2
60-69歳	33	21	11	9	2	6	4	12	-	15
男	21	15	9	7	2	3	3	6		4
女	12	6	2	2		3	1	6		11
70-79歳	82	58	26	25	1	15	17	24	-	18
男	49	34	16	15	1	9	9	15		6
女	33	24	10	10		6	8	9		12
80歳以上	79	52	27	26	1	12	13	27	-	10
男	44	28	15	15		9	4	16		3
女	35	24	12	11	1	3	9	11		7

表 4-3 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別

保健所	2004年(速報)		2003年		2002年		2001年		2000年		1999年	
	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率
愛媛県 総数	271	18.4	283	19.1	341	23.0	329	22.1	399	26.7	439	29.3
四国中央	13	13.9	16	17.1	21	22.3	27	28.7	25	26.4	22	23.1
新居浜	17	13.7	25	20.0	25	20.0	23	18.3	35	27.9	38	30.1
西条中央	18	15.8	21	18.4	29	25.4	33	28.8	31	27.1	37	32.2
今治中央	31	16.8	25	13.4	29	15.5	33	17.5	45	23.8	37	19.4
松山市	89	18.6	89	18.6	105	22.0	95	20.0	110	23.2	133	28.3
松山中央	37	21.0	43	24.3	46	25.9	37	20.8	41	23.0	56	31.4
大洲	19	27.9	12	17.5	13	18.8	12	17.3	16	22.9	26	37.1
八幡浜中央	23	23.0	26	25.7	36	35.1	24	23.1	50	47.6	33	31.0
宇和島中央	24	17.6	26	18.8	37	26.5	45	31.8	46	32.2	57	39.3

表 4-4 新登録結核患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別

年齢階級	2004年(速報)		2003年		2002年		2001年		2000年		1999年	
	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率
0-4			2	0.7			4	1.2			1	0.2
5-9												
10-14							2	0.6	1	0.3		
15-19	1	0.4	1	0.4	2	0.6	2	0.6	3	0.8	5	1.1
20-29	10	3.7	7	2.5	12	3.5	12	3.6	21	5.3	26	5.9
30-39	15	5.5	16	5.7	26	7.6	14	4.3	20	5.0	18	4.1
40-49	25	9.2	21	7.4	23	6.7	24	7.3	32	8.0	46	10.5
50-59	26	9.6	31	11.0	36	10.6	44	13.4	57	14.3	55	12.5
60-69	33	12.2	38	13.4	59	17.3	63	19.1	68	17.0	86	19.6
70-79	82	30.3	89	31.4	88	25.8	88	26.7	114	28.6	105	23.9
80-	79	29.2	78	27.6	95	27.9	76	23.1	83	20.8	97	22.1

表 4-5 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別

保健所	2004年(速報)		2003年		2002年		2001年		2000年		1999年	
	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率
愛媛県 総数	87	5.9	102	6.9	123	8.3	111	7.5	143	9.6	133	8.9
四国中央	3	3.2	6	6.4	4	4.2	7	7.4	7	7.4	5	5.3
新居浜	5	4.0	6	4.8	13	10.4	5	4.0	14	11.1	12	9.6
西条中央	6	5.3	9	7.9	10	8.7	5	4.4	7	6.1	4	3.5
今治中央	6	3.2	13	7.0	12	6.4	10	5.3	14	7.4	10	5.3
松山市	30	6.3	29	6.1	33	6.9	35	7.4	42	8.9	41	8.7
松山中央	16	9.1	12	6.8	19	10.7	15	8.4	12	6.7	18	10.1
大洲	5	7.3	5	7.3	5	7.2	6	8.6	9	12.8	8	11.5
八幡浜中央	6	6.0	10	9.9	12	11.7	7	6.7	18	16.9	12	11.4
宇和島中央	10	7.3	12	8.7	15	10.7	21	14.8	20	13.8	23	16.1

表 4-6 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別

年齢階級	2004年(速報)		2003年		2002年		2001年		2000年		1999年	
	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率
0-4												
5-9												
10-14												
15-19									1	0.7	3	2.3
20-29			3	2.9	4	3.3	4	3.6	9	6.3	5	3.8
30-39	4	4.6	7	6.9	7	5.7	2	1.8	4	2.8	4	3.0
40-49	6	6.9	5	4.9	8	6.5	5	4.5	10	7.0	16	12.0
50-59	13	14.9	11	10.8	16	13.0	10	9.0	27	18.9	19	14.3
60-69	11	12.6	13	12.7	23	18.7	23	20.7	20	14.0	26	19.5
70-79	26	29.9	30	29.4	28	22.8	37	33.3	34	23.8	28	21.1
80-	27	31.0	33	32.4	37	30.1	30	27.0	38	26.6	32	24.1

表 4-7 2004年 新登録患者数 - 登録時結核病類、性、年齢階級別

	新登録 患 者 総 数	肺結核	肺外結核										
			結核性 胸膜炎	肺 門 リンパ 節結核	結核性 髄膜炎	腸結核	脊 椎 結 核	他の骨 ・関節 結 核	尿 路 結 核	性 器 結 核	他 の リンパ 節結核	その他 の臓器 の結核	粟 粒 結 核
愛媛県 総数	271	192	59	1	4	2	4	1	1	1	14	3	4
男	164	116	45	1	2	1	2		1		4	2	2
女	107	76	14		2	1	2	1		1	10	1	2
0-4歳													
男													
女													
5-9歳													
男													
女													
10-14歳													
男													
女													
15-19歳	1	1											
男													
女	1	1											
20-29歳	10	7		1							1		1
男	6	3		1							1		1
女	4	4											
30-39歳	15	13	1		1								
男	9	8	1										
女	6	5			1								
40-49歳	25	16	9								2		
男	18	11	7								2		
女	7	5	2										
50-59歳	26	22	2		1		2				1		
男	17	15	1		1		1				1		
女	9	7	1				1						
60-69歳	33	21	6			1	1				5		
男	21	15	4			1	1				1		
女	12	6	2								4		
70-79歳	82	60	19					1		1	4	1	2
男	49	36	17										1
女	33	24	2					1		1	4	1	1
80歳以上	79	52	22		2	1	1		1		1	2	1
男	44	28	15		1				1			2	
女	35	24	7		1	1	1				1		1

注：結核病類は重複あり

表 4-8 2004年 新登録肺結核患者数 - 登録時職業、菌情報、保健所別

	総 数		接客業等		保健関係		教員・医師		小中学生		高大学生		他職業		不 明	
	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他
愛媛県 総数	87	102	1	2	1	2		1				2	85	95		
四国中央	3	6		1									3	5		
新 居 浜	5	6											5	6		
西条中央	6	9											6	9		
今治中央	6	16				1						1	6	14		
松 山 市	30	29		1	1	1		1				1	29	25		
松山中央	16	12	1										15	12		
大 洲	5	8											5	8		
八幡浜中央	6	7											6	7		
宇和島中央	10	9											10	9		

表 4-9 2004年 新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、発見方法別

	活 動 性 結 核								(別掲) マル初	(別掲) 非 定 型 抗 酸 菌 性
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活動性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他			
			総 数	初 回 治 療	再治療					
									治療中	治療中
愛媛県 総数	271	189	87	81	6	47	55	82	18	52
健康診断	23	23	6	6		6	11		16	5
個別検診	5	5	2	2		1	2			
集団検診（定期）	18	18	4	4		5	9		2	5
学校検診	2	2					2			
住民検診	3	3					3		2	3
職場検診	11	11	3	3		4	4			2
施設検診	2	2	1	1		1				
集団検診（定期外）									13	
業態者検診									1	
家族検診									7	
その他									5	
集団検診（その他）									1	
医療機関受診 その他 不明	248	166	81	75	6	41	44	82	2	47

表 4-10 2004年 新登録有症状肺結核患者数 - 登録時総合患者分類コード、発見の遅れの期間別

	肺 結 核 活 動 性					
	総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他
		総 数	初回治療	再治療		
発病～初診の期間						
総数	99	60	56	4	16	23
1月未満	69	42	40	2	11	16
1月以上2月未満	12	7	7		1	4
2月以上3月未満	7	5	4	1	1	1
3月以上6月未満	6	4	3	1	2	
6月以上	2	2	2			
不明・該当せず	3				1	2
初診～登録の期間						
総数	99	60	56	4	16	23
1月未満	74	49	45	4	9	16
1月以上2月未満	16	7	7		4	5
2月以上3月未満	4	2	2		2	
3月以上6月未満	4	2	2		1	1
6月以上	1					1
不明・該当せず						
発病～登録の期間						
総数	99	60	56	4	16	23
1月未満	42	27	25	2	4	11
1月以上2月未満	23	13	13		5	5
2月以上3月未満	13	9	9		2	2
3月以上6月未満	15	9	7	2	4	2
6月以上	3	2	2			1
不明・該当せず	3				1	2

表 4-11 2004年 新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、化療内容、保健所別(その1)

	活 動 性 結 核								(別掲) マル初	(別掲) 非 定 型 抗 酸 菌 性
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他			
			総 数	初 回 治 療	再治療					
総数										
総数	271	189	87	81	6	47	55	82	18	52
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	97	74	43	39	4	19	12	23		8
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	139	96	37	35	2	25	34	43		11
INH,RFPの2剤併用	9	2					2	7		
その他の2剤併用										11
その他の3剤以上併用	1	1				1				13
INH単独									18	
不明・化療なし	25	16	7	7		2	7	9		9
松山市										
総数	89	59	30	27	3	16	13	30	2	12
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	44	32	20	19	1	8	4	12		2
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	39	24	10	8	2	7	7	15		4
INH,RFPの2剤併用	2	1					1	1		
その他の2剤併用										2
その他の3剤以上併用	1	1				1				4
INH単独									2	
不明・化療なし	3	1					1	2		
四国中央										
総数	13	9	3	3		1	5	4		10
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用										1
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	1	1					1			
INH,RFPの2剤併用										
その他の2剤併用										
その他の3剤以上併用										
INH単独										
不明・化療なし	12	8	3	3		1	4	4		9
新居浜										
総数	17	11	5	4	1	1	5	6		1
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	4	3	2	1	1	1		1		
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	10	6	1	1			5	4		
INH,RFPの2剤併用										
その他の2剤併用										1
その他の3剤以上併用										
INH単独										
不明・化療なし	3	2	2	2				1		
西条中央										
総数	18	15	6	5	1	3	6	3		7
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	8	7	3	2	1	2	2	1		3
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	10	8	3	3		1	4	2		
INH,RFPの2剤併用										
その他の2剤併用										2
その他の3剤以上併用										2
INH単独										
不明・化療なし										
今治中央										
総数	31	22	6	5	1	9	7	9	2	6
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	12	10	2	1	1	4	4	2		1
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	13	10	4	4		4	2	3		3
INH,RFPの2剤併用	2							2		
その他の2剤併用										1
その他の3剤以上併用										1
INH単独									2	
不明・化療なし	4	2				1	1	2		

INH:イソニアジド、RFP:リファンピシン、PZA:ピラジナミド、EB:エタンブトール、SM:ストレプトマイシン

表 4-11 2004年 新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、化療内容、保健所別(その2)

	活 動 性 結 核								(別掲) マル初	(別掲) 非 定 型 抗 酸 菌 陽 性
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他			
			総 数	初 回 治 療	再治療					
松山中央									治療中	治療中
総数	37	28	16	16		2	10	9	6	6
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	9	6	5	5		1		3		
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	25	20	10	10		1	9	5		3
INH,RFPの2剤併用	1							1		
その他の2剤併用										2
その他の3剤以上併用										1
INH単独									6	
不明・化療なし	2	2	1	1			1			
大洲										
総数	19	13	5	5		5	3	6		
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	6	4	2	2		1	1	2		
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	9	7	2	2		4	1	2		
INH,RFPの2剤併用	3	1					1	2		
その他の2剤併用										
その他の3剤以上併用										
INH単独										
不明・化療なし	1	1	1	1						
八幡浜中央										
総数	23	13	6	6		3	4	10		2
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	5	5	5	5						
PZA以外のINH,RFPを含む3剤以上	17	8	1	1		3	4	9		1
INH,RFPの2剤併用	1							1		
その他の2剤併用										1
その他の3剤以上併用										
INH単独										
不明・化療なし										
宇和島中央										
総数	24	19	10	10		7	2	5	8	8
INH,RFP,PZAとEB or SMの4剤併用	9	7	4	4		2	1	2		1
上記以外のINH,RFPを含む3剤以上	15	12	6	6		5	1	3		
INH,RFPの2剤併用										
その他の2剤併用										2
その他の3剤以上併用										5
INH単独									8	
不明・化療なし										

INH:イソニアジド、RFP:リファンピシン、PZA:ピラジナミド、EB:エタンブトール、SM:ストレプトマイシン

表 4-12 2004年 年末現在登録者数 - 年末現在総合患者分類コード、保健所別

	総数	活 動 性 結 核								不活動性結核	活動性不明	(別掲)マル初		(別掲)非定型抗酸菌性	
		総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活動性						
			総 数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他							
				総 数	初 回 療 養	再治療									
愛媛県 総数	582	246	181	93	81	12	42	46	65	307	29	11	9	93	26
四国中央	43	15	11	5	5		1	5	4	22	6			13	2
新 居 浜	67	32	21	8	7	1	5	8	11	29	6			9	4
西条中央	37	16	14	5	4	1	2	7	2	20	1			12	7
今治中央	57	26	19	11	7	4	6	2	7	29	2	2		9	2
松 山 市	144	65	49	27	23	4	14	8	16	78	1		6	19	
松山中央	97	42	32	19	18	1	3	10	10	46	9	3	2	15	3
大 洲	35	13	11	4	4		4	3	2	21	1				
八幡浜中央	40	16	9	5	5		2	2	7	24			1	8	2
宇和島中央	62	21	15	9	8	1	5	1	6	38	3	6		8	6

表 4-13 2004年 年末現在登録者数 - 年末現在総合患者分類コード、性、年齢階級別

	総数	活 動 性 結 核								不活動性結核	活動性不明	(別掲)マル初		(別掲)非定型抗酸菌性	
		総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 核 活動性						
			総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性		登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他								
				総 数	初 回 療 養			再治療							
												治 療 中	観 察 中	治 療 中	観 察 中
愛媛県 総数	582	246	181	93	81	12	42	46	65	307	29	11	9	93	26
男	368	159	117	66	57	9	27	24	42	192	17	6	2	26	8
女	214	87	64	27	24	3	15	22	23	115	12	5	7	67	18
0-4歳	1										1	4			
男												2			
女	1										1	2			
5-9歳	1										1	3			
男												2			
女	1										1	1			
10-14歳	1										1	1	2		
男												1	1		
女	1										1		1		
15-19歳	2	1	1					1		1		1	2		
男												1			
女	2	1	1					1		1			2		
20-29歳	14	4	2				1	1	2	8	2	2	5	2	
男	8	3	1					1	2	4	1		1	2	
女	6	1	1				1		4	4	1	2	4		
30-39歳	39	14	13	6	5	1	4	3	1	21	4	-	-	3	
男	19	10	9	5	4	1	2	2	1	7	2			2	
女	20	4	4	1	1		2	1		14	2			1	
40-49歳	50	23	15	8	8		3	4	8	22	5	-	-	3	1
男	40	18	11	7	7		2	2	7	18	4				
女	10	5	4	1	1		1	2	1	4	1			3	1
50-59歳	75	26	22	13	12	1	5	4	4	45	4	-	-	7	2
男	56	17	16	11	11		3	2	1	35	4			1	1
女	19	9	6	2	1	1	2	2	3	10				6	1
60-69歳	75	34	23	14	11	3	6	3	11	37	4	-	-	23	7
男	50	23	17	12	9	3	3	2	6	24	3			5	1
女	25	11	6	2	2		3	1	5	13	1			18	6
70-79歳	158	72	54	22	20	2	11	21	18	83	3	-	-	35	6
男	112	48	38	16	14	2	9	13	10	63	1			10	2
女	46	24	16	6	6		2	8	8	20	2			25	4
80歳以上	166	72	51	30	25	5	12	9	21	90	4	-	-	20	10
男	83	40	25	15	12	3	8	2	15	41	2			6	4
女	83	32	26	15	13	2	4	7	6	49	2			14	6

資 料

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱

第一 目的

感染症の患者発生状況に関する情報（以下「患者情報」という。）及び感染症の病原体に関する情報（以下「病原体情報」という。）を迅速かつ的確に収集し、及び分析し、その結果を感染症情報として速やかに地域に公表する感染症発生動向調査事業（以下「事業」という。）を実施することにより、感染症の予防、医療、研究等に役立て、有効かつ確かな感染症対策の確立に資することを目的とする。

第二 対象感染症

事業の対象とする感染症は次のとおりとする。

一 全数把握の対象

1 一類感染症

- (1) エボラ出血熱 (2) クリミア・コンゴ出血熱
(3) 重症急性呼吸器症候群（病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る）
(4) 痘そう (5) ペスト (6) マールブルグ病 (7) ラッサ熱

2 二類感染症

- (8) 急性灰白髄炎 (9) コレラ (10) 細菌性赤痢 (11) ジフテリア (12) 腸チフス
(13) パラチフス

3 三類感染症

- (14) 腸管出血性大腸菌感染症

4 四類感染症

- (15) E型肝炎 (16) ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）
(17) A型肝炎 (18) エキノコックス症 (19) 黄熱 (20) オウム病 (21) 回帰熱
(22) Q熱 (23) 狂犬病 (24) 高病原性鳥インフルエンザ (25) コクシジオイデス症
(26) サル痘 (27) 腎症候性出血熱 (28) 炭疽 (29) つつが虫病 (30) デング熱
(31) ニパウイルス感染症 (32) 日本紅斑熱 (33) 日本脳炎
(34) ハンタウイルス肺症候群 (35) Bウイルス病 (36) ブルセラ症 (37) 発しんチフス
(38) ボツリヌス症 (39) マラリア (40) 野兔病 (41) ライム病
(42) リッサウイルス感染症 (43) レジオネラ症 (44) レプトスピラ症

5 五類感染症

- (45) アメーバ赤痢 (46) ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）
(47) 急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く） (48) クリプトスポリジウム症
(49) クロイツフェルト・ヤコブ病 (50) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症
(51) 後天性免疫不全症候群 (52) ジアルジア症 (53) 髄膜炎菌性髄膜炎
(54) 先天性風しん症候群 (55) 梅毒 (56) 破傷風
(57) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (58) バンコマイシン耐性腸球菌感染症

二 定点把握の対象（五類感染症）

- (59) RSウイルス感染症 (60) 咽頭結膜熱 (61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
(62) 感染性胃腸炎 (63) 水痘 (64) 手足口病 (65) 伝染性紅斑 (66) 突発性発しん
(67) 百日咳 (68) 風しん (69) ヘルパンギーナ (70) 麻しん（成人麻しんを除く）
(71) 流行性耳下腺炎 (72) インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く）
(73) 急性出血性結膜炎 (74) 流行性角結膜炎 (75) 性器クラミジア感染症
(76) 性器ヘルペスウイルス感染症 (77) 尖圭コンジローマ (78) 淋菌感染症
(79) クラミジア肺炎（オウム病を除く） (80) 細菌性髄膜炎

- (81)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (82)マイコプラズマ肺炎 (83)成人麻しん
(84)無菌性髄膜炎 (85)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
(86)薬剤耐性緑膿菌感染症

三 結核

第三 実施主体

実施主体は県とし、愛媛県医師会等関係機関の協力を得て事業を実施する。

第四 実施体制の整備

一 地方感染症情報センター及び基幹地方感染症情報センター

1 地方感染症情報センター

県管轄区域内の患者情報及び病原体情報を収集・分析し、これらを全国情報等と併せて医師会等の関係機関に提供するため、地方感染症情報センターを設置する。

地方感染症情報センターは、愛媛県立衛生環境研究所（以下「衛生環境研究所」という。）内に置く。

2 基幹地方感染症情報センター

県域内の全ての患者情報及び病原体情報を収集・分析し、これらを全国情報等と併せて地方感染症情報センター、医師会等の関係機関に提供するため、基幹地方感染症情報センターを設置する。

基幹地方感染症情報センターは、衛生環境研究所内に置く。

二 指定届出機関（定点）

県は、定点把握対象の五類感染症について、患者情報を把握するため患者定点を、病原体情報を収集するため病原体定点を選定する。

三 愛媛県感染症対策推進協議協議会

本事業に関する事項については、愛媛県感染症対策推進協議会において協議することとし、愛媛県感染症対策推進協議会設置要綱第7条の規定に基づく解析評価担当委員（以下「解析評価委員」という。）が解析評価を行う。

第五 事業の実施

一 一類感染症、二類感染症、三類感染症及び四類感染症

1 医師

(1) 医師は、第二の(1)から(7)、(9)、(10)、(12)及び(13)については疑似症患者、患者及び無症状病原体保有者を診断したとき、また、第二の(8)、(11)及び(14)から(44)については患者及び無症状病原体保有者を診断したときは、別記様式1又は別記様式3により、直ちに最寄りの保健所に届出を行う。

(2) 保健所から当該患者の病原体検査のための検体又は病原体情報の提供の依頼を受けた場合にあっては、協力可能な範囲において、保健所の協力を得て別記様式2の検査票を添付して衛生環境研究所に送付する。

2 保健所

(1) 医師から届出を受けた保健所は、別記様式4に該当する項目について、直ちに本庁及び地方感染症情報センターへコンピュータ・オンラインシステムにより伝送する。

(2) 保健所は、当該医師に対し、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の衛生環境研究所への提供について、別記様式2の検査票を添付して依頼する。

なお、前記(2)の医師から衛生環境研究所への検体等の送付は、保健所において実施する。

3 衛生環境研究所

- (1) 衛生環境研究所は、別記様式 2 の検査票及び検体又は病原体情報が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、別記様式 2 により保健所、本庁及び地方感染症情報センターに送付する。
- (2) 検査の困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。
- (3) 患者が一類感染症と診断されている場合、集団発生があった場合等の緊急の場合にあっては、国から依頼があれば、検体を国立感染症研究所に送付する。

4 地方感染症情報センター

- (1) 地方感染症情報センターは、患者情報について、保健所からの情報の伝送があり次第、コンピュータ・オンラインシステムにより、国立感染症研究所感染症情報センター内に設置する中央感染症情報センターに伝送する。
- (2) 別記様式 2 をもって衛生環境研究所から送付された検査情報について、直ちに国立感染症研究所に報告する。

二 全数把握対象の五類感染症

1 医師

- (1) 医師は、第二の一の 5 に掲げる全数把握対象の五類感染症について、別に定める報告基準（平成 11 年 3 月 30 日 健医感発第 46 号 厚生省 保健医療局結核感染症課長通知。以下「報告基準」という。）により患者等を診断したときは、別記様式 5 により、7 日以内に最寄りの保健所に届出を行う。
- (2) 保健所から当該患者の病原体検査のための検体又は病原体情報の提供の依頼を受けた場合にあっては、協力可能な範囲において、保健所の協力を得て別記様式 2 の検査票を添付して衛生環境研究所に送付する。

2 保健所

- (1) 医師から届出を受けた保健所は、別記様式 6 に該当する項目について、医師が患者を診断してから 7 日以内の可能な限り早い段階で本庁及び地方感染症情報センターへコンピュータ・オンラインシステムにより伝送する。
- (2) 保健所は、第二の(45)、(47)、(49)、(50)、(51)、(53)、(54)、(56)、(57)又は(58)の患者を診断した医師に対し、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の衛生環境研究所への提供について、別記様式 2 の検査票を添付して依頼する。

なお、前記(2)の医師から衛生環境研究所への検体等の送付は、保健所において実施する。

3 衛生環境研究所

- (1) 衛生環境研究所は、別記様式 2 の検査票及び検体又は病原体情報が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、別記様式 2 により保健所、本庁及び地方感染症情報センターに送付する。
- (2) 検査の困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。
- (3) 集団発生があった場合等の緊急の場合において、国から依頼があれば、検体を国立感染症研究所に送付する。

4 地方感染症情報センター

- (1) 地方感染症情報センターは、患者情報について、保健所が診断した医師から届出を受けてから 7 日以内に、コンピュータ・オンラインシステムにより、中央感染症情報センターに伝送する。
- (2) 別記様式 2 をもって衛生環境研究所から送付された検査情報について、直ちに国立感染症研究所に報告する。

三 定点把握対象の五類感染症

1 定点の選定

(1) 患者定点

県は、第二の二に掲げる定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、関係医師会等の協力を得て、対象疾病に応じ、次に掲げる医療機関のうちから可能な限り無作為に患者定点を選定する。患者定点数は、別に定める基準（国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱。以下「算定基準」という。）を準用し算定する。

ア 第二の(59)から(71)までに掲げるもの （小児科定点）	小児科を標榜する医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）
イ 第二の(72)に掲げるインフルエンザ （高病原性鳥インフルエンザを除く） （インフルエンザ定点）	上記アで選定した小児科に加え、内科を標榜する医療機関（主として内科医療を提供しているもの）
ウ 第二の(73)及び(74)に掲げるもの （眼科定点）	眼科を標榜する医療機関（主として眼科医療を提供しているもの）
エ 第二の(75)から(78)までに掲げるもの （STD定点）	産婦人科又は産科若しくは婦人科（産婦人科系） 性病科又は泌尿器科若しくは皮膚科若しくは皮膚泌尿器科（泌尿器科・皮膚科系）を標榜する医療機関（主として各々の標榜科の医療を提供しているもの）
オ 第二の(79)から(86)までに掲げるもの （基幹定点）	原則患者を 300 人以上収容する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）

(2) 病原体定点

県は、病原体の分離等の検査情報を収集するため、患者定点として選定された医療機関のうちから病原体定点を選定する。病原体定点数は、算定基準を準用し算定する。

2 調査単位等

(1) 患者情報の調査単位は、前記 1 の(1)のア、イ、ウ及びオ（第二の(81)、(85)及び(86)に関する患者情報を除く）により選定された患者定点にあつては 1 週間（月曜日から日曜日）とし、前記 1 の(1)のエ及びオ（第二の(81)、(85)及び(86)に関する患者情報のみ）により選定された患者定点にあつては各月とする。

(2) 病原体検査については、効果的・効率的な検体の採取、搬送がなされるよう留意する。

3 実施方法

(1) 患者定点

ア 患者定点として選定された医療機関は、調査単位の期間の診療時における報告基準により患者発生状況を把握するとともに、次の様式により、管轄保健所へ報告するものとする。

前記 1 の(1)のアにより選定された小児科定点	別記様式 7
前記 1 の(1)のア及びイにより選定されたインフルエンザ定点	別記様式 8
前記 1 の(1)のウにより選定された眼科定点	別記様式 9
前記 1 の(1)のエにより選定された性感染症定点	別記様式 10
前記 1 の(1)のオにより選定された基幹定点	別記様式 11

イ 前記アの報告は、調査単位が週の場合は翌週の月曜日に、月単位の場合は翌月の初日に、郵送又は F A X その他地域の特性に応じた適切な方法により報告するものとする。

(2) 病原体定点

病原体定点として選定された医療機関は、愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領により微生物学的検査のための検体を採取するとともに、別記様式 2 の検査票を

添えて、保健所との連携を図りながら速やかに衛生環境研究所へ送付する。

(3) 保健所

ア 保健所は、患者定点から得られた患者情報（別記様式 7 から 11）の情報項目を、調査単位が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の 3 日までに、本庁及び地方感染症情報センターへコンピュータ・オンラインにより伝送する。

イ 対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、本庁及び地方感染症情報センターへ報告する。なお、前記(2)の医師から衛生環境研究所への検体等の送付は、保健所において実施する。

(4) 衛生環境研究所

ア 衛生環境研究所は、別記様式 2 の検査票及び検体が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を病原体情報として保健所を経由して病原体定点に通知するとともに保健所、本庁及び地方感染症情報センターに送付する。

イ 検査の困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。なお、集団発生があった場合等の緊急の場合において、国から依頼があれば、検体を国立感染症研究所に送付する。

(5) 地方感染症情報センター

ア 地方感染症情報センターは、患者情報について、保健所から情報の伝送があり次第、コンピュータ・オンラインシステムにより、中央感染症情報センターに伝送する。

イ 別記様式 2 をもって衛生環境研究所から送付された病原体情報について、直ちに国立感染症研究所に報告する。

四 結核

1 医師

医師は、結核の患者等を診断したときは、2 日以内に、最寄りの保健所に届出を行う。

2 保健所

保健所は、結核予防法の規定による届出等に基づく結核患者等の情報のうち、次の表に掲げる項目を、新たに同法第 24 条第 1 項に規定する結核登録票（以下「登録票」という。）に登録した者（以下「新登録患者」という。）に係るものにあつては翌月の 10 日までにコンピュータ・オンラインシステムにより、12 月 31 日現在において登録票に登録している者（以下「登録者」という。）及び 1 月 1 日から 12 月 31 日までの間に登録票から除外した者（以下「登録除外者」という。）に係るものにあつては翌年の 1 月 20 日までにコンピュータ・オンラインシステム又はフロッピーディスクにより、本庁及び地方感染症情報センターへ伝送又は送付する。

新登録患者	(1) 患者の生年月日、性別及び居住地の市町村名 (2) 登録までの状況 (3) 病状及び治療状況
登録者	(1) 登録者の生年月日、性別及び居住地の市町村名 (2) 登録当時の状況 (3) 現在の病状及び治療状況 (4) 病状等の経過
登録除外者	(1) 登録除外者の生年月日、性別及び居住地の市町村名 (2) 登録時以降の経過の概要 (3) 除外年月日及び除外理由

3 地方感染症情報センター

地方感染症情報センターは、保健所からの結核患者等の情報について、新登録患者に係るものにあつては翌月の 15 日までにコンピュータ・オンラインシステムにより、登録者及び登録除外者に係るものにあつては翌年の 1 月末日までにコンピュータ・オンラインシステム又はフロッピーディスクにより、中央感染症情報センターに伝送又は送付する。

第六 積極的疫学調査

保健所は、一類感染症、二類感染症、三類感染症又は四類感染症が発生した場合若しくは五類感染症等に係る感染症発生動向調査において通常と異なる傾向が認められた場合等には、関係者の理解と協力を得ながら、本庁、衛生環境研究所、関係医師会、市町村等関係機関と密接な連携を図り、地域における詳細な流行状況や原因不明の感染症等の迅速な把握に努める。

第七 地方感染症情報センター等の情報の収集、分析及び提供

- 一 基幹感染症情報センターは、地方感染症情報センターが収集した患者情報、病原体情報並びに全国情報等と併せて、解析委員の意見を聴取し県域全体としての総合的解析評価を行い、その結果を愛媛県感染症情報として、速やかに地方感染症情報センター、医師会、教育委員会その他の関係機関へ提供する。
- 二 地方感染症情報センター及び保健所は、本事業により収集した情報等を、地域医師会、市町村等関係機関へ、適宜適切に提供する。
- 三 情報の提供を行うときは、個人情報の保護に十分留意する。

第八 その他

- 一 県は、効果的かつ円滑な感染症発生動向調査体制を構築するため、松山市と密接な連携を図る。
- 二 本事業に協力を得た医師、解析評価委員に対して予算の範囲内で謝金を支出する。
- 三 この要綱で定めるもののほか、感染症発生動向調査事業の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成 13 年 1 月 1 日から施行する。
- 2 愛媛県結核・感染症発生動向調査実施要綱（昭和 62 年 1 月 1 日）は、廃止する。

附 則

この実施要綱の改正は、平成 14 年 11 月 1 日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成 15 年 8 月 1 日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成 15 年 11 月 5 日から施行する。

別記様式一覧表

別記様式 1	一類感染症、二類感染症及び三類感染症医師届出票（患者）
別記様式 2	一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び五類感染症検査票（病原体）
別記様式 3	四類感染症医師届出票（患者）
別記様式 4	一類感染症、二類感染症、三類感染症及び四類感染症保健所報告項目（患者）
別記様式 5	五類感染症（全数把握対象）医師届出票（患者）
別記様式 6	五類感染症（全数把握対象）保健所報告項目（患者）
別記様式 7	五類感染症（定点把握対象）小児科患者定点報告票
別記様式 8	五類感染症（定点把握対象）インフルエンザ患者定点報告票
別記様式 9	五類感染症（定点把握対象）眼科患者定点報告票
別記様式10	五類感染症（定点把握対象）性感染症患者定点報告票
別記様式11	五類感染症（定点把握対象）基幹患者定点報告票

別記様式 1

愛媛県知事

殿

一類感染症、二類感染症及び三類感染症発生届出票

保健所コード

西暦

ID

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 12 条の規定により、以下のとおり届け出る。

医師の氏名

報告年月日(年 月 日)

所属する病院・診療所等施設名

印(自署または記名押印のこと)

上記施設の・所地電話番号 *

(電話)

(* 所属する施設がない場合は、医師の自宅の住所・電話番号を記載すること)

1 患者氏名	2 性別	3 診断時の年齢	4 患者職業
	男・女	生年月日 明・大・昭・平 年 月 日	
5 患者住所	6 患者所在地		
	電話()		
7 保護者氏名	8 保護者連絡先	電話()	
		(7、8 は患者が未成年の場合のみ記入)	
		電話()	

9 病 名	10 診 断 方 法	11 症 状	12 発病年月日
・エボラ出血熱 ・クリミア・コンゴ出血熱 ・重症急性呼吸器症候群 (病原体が SARS コロナウイルスであるものに限る) ・痘そう ・ペスト ・マールブルグ病 ・ラッサ熱 ・コレラ ・細菌性赤痢 ・腸チフス ・パラチフス ・急性灰白髄炎 ・ジフテリア ・腸管出血性大腸菌感染症	・病原検査 (検体) (方法) (型) ・血清学的検査 (検体) (方法) (型) ・臨床決定 ・その他 () ・病原検査 (検体) (方法) (型) ・血清学的検査 (検体) (方法) (型) ・臨床決定 ・その他 () ・病原検査 (検体) (方法) (型) ・血清学的検査 (検体) (方法) (型) ・その他 () ・病原検査 (検体) (方法) (型) ・血清学的検査 (検体) (方法) (型) ・その他 ()	・有 [] ・無	平成 年 月 日 13 初診年月日 平成 年 月 日 14 診断(検索)年月日 平成 年 月 日 15 感染したと推定される年月日 平成 年 月 日 16 死亡年月日 平成 年 月 日
17 推定される感染地域・感染原因・感染経路			
・ 最近数年間の主な居住地 1 日本国内 2 その他 () 3 不明 ・ 推定される感染地域 1 日本国内 2 その他 () 3 不明 ・ 推定される感染原因・感染経路 []			
18 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために必要と認める事項			

この届出は診断後直ちに行ってください

(2、9 から11、17欄は該当する番号等を で囲み3、4、12から16は年齢・年月日等を記入すること。 欄は、死亡者を検索した場合のみ記入すること)

別記様式 2

保健所コード 西暦 ID 衛研受付番号 病原体定ポイントコード

一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び五類感染症検査票（病原体）

患者	性別 (男・女)	年齢 (歳ヵ月)
----	-------------	-------------

[主治医等記載欄]		
医療機関等名及び主治医等医師名(記載者)		
検体送付日	年	月 日
診断名		
発病日	年	月 日
検取日	年	月 日
査材料の種類	・ふん便(腸内容物、直腸ぬぐい液)・髄液・尿 ・喀痰・気管吸引液・穿刺液(腹水、胸水、関節液、その他) ・咽頭ぬぐい液(うがい液、鼻汁)・皮膚病巣(水疱内容、痂皮、創傷) ・結膜ぬぐい液(結膜擦過物、眼脂)・陰部尿道頸管擦過物/分泌物 ・細胞診、生検、剖検材料(臓器) ・血液(全血、血清、血漿、血漿、抗凝固剤) ・その他 []	
臨床徴候等	・無症状 ・発熱(最高) ・関節痛、筋肉痛 ・口内炎、上気道炎、下気道炎(肺炎、気管支炎) ・発疹(水疱、丘疹、紅斑、バラしん)、出血傾向 ・リンパ節腫脹、腫脹(部位)、浮腫(部位) ・ショック症状(低血圧、循環不全) ・その他の症状(上記以外の症状や臨床徴候)	
臨 床 事 項	[]	
基礎疾患		
転 帰	経過観察中、軽快、治癒、死亡(原因)	
主治医等から地方衛生研究所への連絡事項		

[保健所等記載欄](主治医記載可)		
発生の状況	・散発 ・集団発生 有の場合(保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、宿舎・寮、病院、老人ホーム、福祉・看護施設、旅館・ホテル、飲食店、事業所、その他 [])	・地域流行 ・家族内発生 (無、 有)
	最近の海外渡航歴	国名 期間 年 月 日 ~ 年 月 日 最近の接種年月日 年 月 日
ワクチン接種歴	ワクチン名	
[地方衛生研究所記載欄]		
記載者名		
抗体検出方法	(蛍光、IP、ELISA、CF、HI、PA、中和、イムノプロット、ゲル内沈降、凝集反応、その他)	
結果	()	
検出年月日	年 月 日	
病原	・分離培養 (培養細胞：細胞名 []) [陽性となった方法で囲んで下さい] 人工培地、発育鶏卵、動物、その他)	
検出	・抗原検出等 (電顕、鏡検、蛍光、EIA、凝集反応、その他) ・遺伝子検出 (1.非増幅/ハイブリ、PAGE、その他) 2.増幅[PCR、その他])	
検出病原体(群、型、亜型)		
[その他特記事項]		

注1) 主治医記載欄については、検体送付日において記載できる範囲で記載をお願いします。
注2) ワクチン接種歴については、当該疾患に係るものにつき記載して下さい。
注3) 二類、三類感染症について医療機関(民間検査所を含む)で病原体を分離した場合は、可能な範囲で地方衛生研究所への分離株の送付をお願いします。

別記様式3

保健所コード

西 暦

ID

四 類 感 染 症 発 生 届

愛媛県知事 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日(平成 年 月 日) 印

医 師 の 氏 名 (自署または記名押印のこと)

所属する病院・診療所等施設名
上記施設の住所・電話番号* (電話)
(*所属する施設がない場合は医師の自宅の住所・電話番号を記載すること)

1 患者氏名	2 性 別	3 診断時の年齢
	男 ・ 女	生年月日 明・大・昭・平 年 月 日 歳
4 患者職業	5 患者住所	
		電話()
6 患者所在地		
		電話()
7 保護者氏名	8 保護者連絡先	(7、8は患者が未成年の場合のみ記入)
		電話()

9 病 名 (該当する番号等を で囲むこと)	1 E型肝炎
	2 ウエストナイル熱
	(1)ウエストナイル熱、2)ウエストナイル脳炎)
	3 A型肝炎
	4 エキノコックス症
	(1)単包条虫、2)多包条虫)
	5 黄熱
	6 オウム病
	7 回帰熱
	8 Q熱
	9 狂犬病
	10 高病原性鳥インフルエンザ
	11 コクシジオイデス症
	12 サル痘
	13 腎症候性出血熱
	14 炭疽
	15 つつが虫病
	16 デング熱
	(1)デング熱、2)デング出血熱)
	17 ニパウイルス感染症
	18 日本紅斑熱
	19 日本脳炎
	20 ハンタウイルス肺症候群
	21 Bウイルス病
	22 ブルセラ症
	23 発しんチフス
	24 ポツリナス症
	(1)食餌性(食中毒)、2)乳児、 2)創傷、4)成人定着、5)不明)
	25 マラリア
	(1)三日熱、2)四日熱、3)卵形、 4)熱帯熱、5)不明)
26 野兔病	
27 ライム病	
28 リッサウイルス感染症	
29 レジオネラ症	
30 レプトスピラ症	

10 診 断 方 法	1) 病 原 検 査 (検体) (方法) (型)	
	2) 血清学的検査 (検体) (方法) (型)	
	3) 臨 床 決 定	
	4) そ の 他 () (該当するもの全てに記載すること)	
11 診 断 時 の 症 状	1) 有 ()	
	2) 無	
12	発 病 年 月 日	平成 年 月 日
13	初 診 年 月 日	平成 年 月 日
14	診 断 (検 索) 年 月 日	平成 年 月 日
15	感染したと推定される年月日	昭和・平成 年 月 日
16	死 亡 年 月 日	平成 年 月 日
17・18 推定される感染地域・感染原因・感染経路		
・最近数年間の主な居住地 1 日本国内 2 その他() 3 不明		
・推定される感染地域 1 日本国内 2 その他() 3 不明		
・病原体や媒介動物等との接触または生息場所での活動 1 あり() 2 その他		
・推定される感染源・感染経路等 1 経口感染(推定される飲食物) 2 媒介動物等からの感染(動物の種類) 3 その他() 4 不明		
・同疾患または同様の症状の者の発症 1 同居者にいる 2 同じ職場や学校等にいる 3 その他() 4 いらない		

この届出は診断後直ちに行ってください

(2、9から11、17・18欄は該当する番号等を で囲み、3、4、12から16欄は年齢・年月日を記入すること。 欄は、死亡者を検索した場合のみ記入すること。)

別記様式 4

一類感染症、二類感染症、三類感染症及び四類感染症保健所報告項目（患者）

一類感染症、二類感染症、三類感染症及び四類感染症につき、保健所が、地方感染症情報センターへコンピュータ・オンラインにより伝送する項目は以下のとおりとする。

別記様式 1 及び別記様式 3 のうち、

「 9 病名」

「10 診断方法」

「11 症状」

「12 発病年月日」

「13 初診年月日」

「14 診断（検案）年月日」

「15 感染したと推定される年月日」

「16 死亡年月日」

「17・18 推定される感染地域・感染原因・感染経路」

及び

「 3 診断時の年齢」のうち、患者の「生年月日」

以上

別記様式5 - 1

保健所コード

西 暦

ID

五 類 感 染 症 発 生 届
(クロイツフェルト・ヤコブ病、後天性免疫不全症候群、先天性風しん症候群を除く)

愛媛県知事 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 1 2 条の規定により、以下のとおり届け出る。
報告年月日(平成 年 月 日)

医 師 の 氏 名 _____ 印
(自署または記名押印のこと)

所属する病院・診療所等施設名 _____
上記施設の住所・電話番号* _____ (電話 _____)

(* 所属する施設がない場合は医師の自宅の住所・電話番号を記載すること)

1	性 別	男 ・ 女	4	診 断 方 法	1) 病 原 検 査 (検体 _____) (方法 _____) (型 _____)				
2	診断時の年齢	歳			2) 血清学的検査 (検体 _____) (方法 _____) (型 _____)				
3	病 名 (該当する番号等を 囲む)	1	アメーバ赤痢	5	診 断 時 の 症 状	3) 臨 床 決 定 _____)			
		2	ウイルス性肝炎			4) そ の 他 (_____) (該当するもの全てに記載すること)			
		[1) B 型、 2) C 型、 3) D 型、 4) その他 (_____) 5) 不明]							
		3	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)						
		[1) 病原体 (_____) 2) 病原体不明]							
		4	クリプトスポリジウム症						
		5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						
		6	ジアルジア症						
		7	髄膜炎菌性髄膜炎						
		8	梅毒						
		[1) 早期顕症梅毒 (Ⅰ 期、 Ⅱ 期) 2) 晩期顕症梅毒、 3) 無症候梅毒 4) 先天梅毒]							
9	破傷風								
10	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症								
11	バンコマイシン耐性腸球菌感染症								
6 発 病 年 月 日					平成	年	月	日	
7 初 診 年 月 日					平成	年	月	日	
8 診 断 (検 索) 年 月 日					平成	年	月	日	
9 感染したと推定される年月日					昭和・平成	年	月	日	
10 死 亡 年 月 日					平成	年	月	日	
11・12 推定される感染地域・感染原因・感染経路									
・最近数年間の主な居住地 1 日本国内 2 その他 (_____) 3 不明									
・推定される感染地域 1 日本国内 2 その他 (_____) 3 不明									
・病原体や媒介動物等との接触または生息場所での活動 1 あり (_____) 2 その他 _____									
・推定される感染源・感染経路等 1 経口感染 (推定される飲食物 _____) 2 性行為感染 ア：異性間性的接触 イ：同性間性的接触 3 静注薬使用 4 母子感染 5 輸血 6 媒介動物等からの感染 (動物の種類 _____) 7 その他 (_____) 8 不明									
・同疾患または同様の症状の者の発症 1 同居者にいる 2 同じ職場や学校等にいる 3 その他 (_____) 4 いらない									

この届出は診断から7日以内に行ってください

(2、9 から 11、17・18 欄は該当する番号等を 囲み、 3、4、12 から 16 欄は年齢・年月日を記入すること。 欄は、死亡者を検索した場合のみ記入すること。)

別記様式5 - 2

保健所コード						西 暦			I D		

クロイツフェルト・ヤコブ病発生届

愛媛県知事

殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日(平成 年 月 日)

医師の氏名 _____ 印

(自署または記名押印のこと)

所属する病院・診療所等施設名 _____

上記施設の住所・電話番号* _____

(電話 _____)

(* 所属する施設がない場合は医師の自宅の住所・電話番号を記載すること)

1 性 別	男 ・ 女	
2 診断時の年齢	歳	
3 病名	クロイツフェルト・ヤコブ病 1) 弧発性CJD 2) 家族性CJD 3) 新変異型CJD 4) GSS 5) FFI (ア. 確実 イ. ほぼ確実 ウ. 疑い)	
4 診断方法	1) 病原検査(異常プリオンたん白の検出) 部位 (1) 脳 (2) 扁桃 (3) その他 方法 (1) Western Blot 法 (2) 免疫染色法型 (免疫染色法による) (1) アミロイド斑型 (2) シナプス型 2) プリオンたん白遺伝子検査 (1) コドン() の異常 (2) コドン129の多型 (ア. M/M イ. M/V ウ. V/V) (3) コドン219の多型 (ア. E/E イ. E/K ウ. K/K) (4) その他() 3) 臨床決定 4) その他() (該当するもの全てに記載すること)	
5 診断時の症状	1) 有 (ア. 進行性痴呆 (年 月より) イ. 記憶障害 (年 月より) ウ. 精神・知能障害 (年 月より) エ. 臨床的に頑固な不眠 (年 月より) オ. 視覚異常 (年 月より) カ. 錯感覚、異常感覚 (年 月より) キ. 錐体路症状 (年 月より) ク. 痙性対麻痺 (年 月より) ケ. 錐体外路症状 (年 月より) コ. 筋強剛 (年 月より) サ. 小脳症状 (年 月より) シ. ミオクローヌス (年 月より) ス. 無動性無言状態 (年 月より) セ. 脳波検査でPSDあり (年 月より) ソ. その他() (年 月より) 2) 無	
6 発 病 年 月 日	平成	年 月 日
7 初 診 年 月 日	平成	年 月 日
8 診 断 (検 索) 年 月 日	平成	年 月 日
9 感染したと推定される年月日	昭和・平成	年 月 日
10 死 亡 年 月 日	平成	年 月 日

この届出は診断から7日以内に行ってください

11・12 推定される感染地域・感染原因・感染経路	
・最近数年間の主な居住地 1) 日本国内 2) その他() 3) 不明 ・推定される感染地域 1) 日本国内 2) その他() 3) 不明 ・同疾患または同様の症状の者 1) 家族にいる 2) 同じ職場等にいる 3) その他() 4) いらない	・推定される感染経路等 1) ヒト乾燥硬膜 2) ヒト下垂体由来成長ホルモン製剤 3) 角膜手術 4) 手術等観血的処置 (種類) 5) 輸血等 6) その他() 7) 不明

(1、3から5、11、12欄は該当する番号等を で囲み、2、6から10欄は年齢・年月日を記入すること。欄は、死亡者を検索した場合のみ記入すること。)

別記様式5 - 3

保健所コード

西 暦

I D

後天性免疫不全症候群発生届
(HIV感染症を含む)

愛媛県知事

殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日(平成 年 月 日)

医師の氏名

印

(自署または記名押印のこと)

所属する病院・診療所等施設名

上記施設の住所・電話番号*

(電話

(*所属する施設がない場合は医師の自宅の住所・電話番号を記載すること)

1	性 別	男 ・ 女
2	診断時の年齢	歳
3	病名	1) 無症候キャリア 2) AIDS 3) その他()
4-1	診断方法	・抗HIV抗体スクリーニング検査 1)ELISA法 2)PA法 3)IC法 4)その他() ・確認検査 1)Western Blot 法 2)IFA法 3)その他() ・病原検査 1)HIV抗原検査 2)ウイルス分離 3)PCR法 4)その他() ・18か月未満の児の免疫学的所見 () (該当する全てに をすること)
5	診断時の症状	1) 有 2) 無 (無症候性キャリアの場合は、当欄の記載は不要)
6	発病年月日	平成 年 月 日 (AIDSの指標疾患(4-2)の発病日)
7	初診年月日	平成 年 月 日
8	診断(検索)年月日	平成 年 月 日 (AIDSの場合は指標疾患(4-2)の発病日)
9	感染したと推定される年月日	昭和・平成 年 月 日
10	死亡年月日	平成 年 月 日

4-2	AIDSと診断した指標疾患(該当する全てに)	1) カンジタ症(食道、気管、気管支、肺) 2) クリプトコッカス症(肺以外) 3) コクシジオイデス症(全身に播種したもの 肺、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの) 4) ヒストプラズマ症(全身に播種したもの 肺、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの) 5) カリニ肺炎 6) トキソプラズマ脳症(生後1か月以後) 7) クリプトスポリジウム症(1か月以上続く下痢を伴ったもの) 8) イソスポラ症(1か月以上続く下痢を伴ったもの) 9) 化膿性細菌感染症(13歳未満で、ヘモフィルス、連鎖球菌等の化膿性細菌により 敗血症 肺炎 髄膜炎 骨関節炎 中耳・皮膚粘膜以外の部位や深在臓器の膿瘍のいずれかが、2年以内に、二つ以上多発あるいは繰り返して起こったもの) 10) サルモネラ菌血症(再発を繰り返すもので、チフス菌によるものを除く) 11) 活動性結核(肺結核又は肺外結核) 12) 非定型抗酸菌症(全身に播種したもの 肺、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの) 13) サイトメガロウイルス感染症(生後1か月以後で、肝、脾、リンパ節以外) 14) 単純ヘルペスウイルス感染症(1か月以上持続する粘膜、皮膚の潰瘍を呈するもの 生後1か月以後で気管支炎、肺炎、食道炎を併発するもの) 15) 進行性多巣性白質脳症 16) カボシ肉腫 17) 原発性脳リンパ腫 18) 非ホジキンリンパ腫(LSG分類により 大細胞型、免疫芽球型 Burkitt 型) 19) 侵襲性子宮頸癌 20) 反復性肺炎 21) リンパ性間質性肺炎/肺リンパ過形成: LIP / PLH complex (13歳未満) 22) HIV脳症(痴呆又は亜急性脳炎) 23) HIV消耗性症候群(全身衰弱又はスリム病)
-----	-------------------------	---

11・12 推定される感染地域・感染原因・感染経路	
・最近数年間の主な居住地 1) 日本国内 2) その他() 3) 不明 ・推定される感染地域 1) 日本国内 2) その他() 3) 不明 ・同疾患または同様の症状の者 1) 家族にいる 2) その他() 3) 不明	・推定される感染経路等 1) 性行為感染 ア.異性間性的接触 イ.同性間性的接触 2) 静注薬物使用 3) 母子感染 4) 輸血 5) その他() 6) その他() 7) 不明

(1、3から5、11、12欄は該当する番号等を で囲み、2、6から10欄は年齢・年月日を記入すること。 欄は、死亡者を検索した場合のみ記入すること。)

この届出は診断から7日以内に行ってください

別記様式5 - 4

保健所コード						西 暦				I D			

先天性風しん症候群発生届

愛媛県知事

殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日(平成 年 月 日)

医師の氏名 _____ 印

(自署または記名押印のこと)

所属する病院・診療所等施設名 _____

上記施設の住所・電話番号* _____ (電話 _____)

(*所属する施設がない場合は医師の自宅の住所・電話番号を記載すること)

1 性 別	男 ・ 女	
2 診断時の年齢	歳	
3 病名	先天性風しん症候群	
4 診断方法	1) 病 原 検 査 (検体 _____) _____)	
	2) 血清学的検査 (検体 _____) _____)	
	3) 臨 床 決 定	
	4) そ の 他 (_____) (該当するもの全てに記載すること)	
5 診断時の症状	1) 有 _____	
	2) 無 _____	
6 発 病	年 月 日	平成 年 月 日
7 初 診	年 月 日	平成 年 月 日
8 診 断 (検 索)	年 月 日	平成 年 月 日
9 感染したと推定される年月日		昭和・平成 年 月 日
10 死 亡	年 月 日	平成 年 月 日

11・12 推定される感染地域・感染原因・感染経路	
・最近数年間の主な居住地 1) 日本国内 2) その他(_____) 3) 不明 ・推定される感染地域 1) 日本国内 2) その他(_____) 3) 不明	・母親の妊娠中の風しん罹患歴 1) あり 2) なし ・母親の風しん抗体価と測定時期 _____ ・母親の風しん予防接種歴 1) あり 2) なし

この届出は診断から7日以内に行ってください

(1、3から5、11、12欄は該当する番号等を で囲み、2、6から10欄は年齢・年月日を記入すること。欄は、死亡者を検索した場合のみ記入すること。)

別記様式 6

五類感染症（全数把握対象）保健所報告項目（患者）

五類感染症のうち全数把握対象のものにつき、保健所が、地方感染症情報センターへコンピュータ・オンラインにより伝送する項目は以下のとおりとする。

別記様式 5 のうち、すべての項目

以上

別記様式7

感染症発生動向調査(小児科定点)

調査期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (週報)

西暦 年 第 週 保健所コード 定点コード

年齢		~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15~19	20歳以上	合計
疾患名	R S ウ イ ル ス 感 染 症	男														
		女														
咽 頭 結 膜 熱	男															
	女															
A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	男															
	女															
感 染 性 胃 腸 炎	男															
	女															
水 痘	男															
	女															
手 足 口 病	男															
	女															
伝 染 性 紅 斑	男															
	女															
突 発 性 発 し ん	男															
	女															
百 日 咳	男															
	女															
風 し ん	男															
	女															
へ ル パ ン ギ ー ナ	男															
	女															
麻 し ん (成人麻しんを除く)	男															
	女															
流 行 性 耳 下 腺 炎	男															
	女															

別記様式 8

感染症発生動向調査(インフルエンザ定点)

調査期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (週報)

西暦 年 第 週 保健所コード 定点コード

年 齢		～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	合 計
疾患名	男																					
	女																					
インフルエンザ (高病原性鳥インフル エンザを除く)																						

別記様式 9

感染症発生動向調査(眼科定点)

調査期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (週報)

西暦 年 第 週

保健所コード

定点コード

疾患名	年齢	～6ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	合計
		急性出血性結膜炎	男																	
	女																			
流行性角結膜炎	男																			
	女																			

別記様式10

感染症発生動向調査(STD定点)

調査期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (月報)

西暦 年 月 日 保健所コード 定点コード

年齢		0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上	合 計
疾患名	性器クラミジア感染症	男																
		女																
性器ヘルペスウイルス感染症		男																
		女																
尖圭コンジローマ		男																
		女																
淋菌感染症		男																
		女																

感染症発生動向調査(基幹定点)

調査期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

[illegible]

病名	検査方法
1:細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	1:分離・培養
2:無菌性髄膜炎	2:抗原検出
3:マイコプラズマ肺炎	3:核酸・PCR
4:クラミジア肺炎(オウム病を除く)	4:塗末検鏡
5:成人麻疹	5:電顕
	6:血清

調査期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (月報)

ID 番号	性	年・月・齡	病名	採取年月日	採取部位
			1 2 3		
			1 2 3		
			1 2 3		
			1 2 3		
			1 2 3		

病名

1:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

2:ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

3:薬剤耐性緑膿菌感染症

愛媛県感染症対策推進協議会設置要綱

(設 置)

第1条 愛媛県における感染症の発生動向の把握、感染拡大防止対策等の一元化を図り、健康危機管理に即した迅速で実践的な体制を構築するとともに、予防接種業務の円滑な推進及び知事が県内居住者に対し実施した予防接種に起因する事故原因の調査・究明に資することを目的として、愛媛県感染症対策推進協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(任 務)

第2条 協議会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) 感染症発生の防止の施策に関する事項
- (2) 医療機関の確保、医療機関の連絡体制に関する事項
- (3) 感染症及び予防接種に関する知識の普及啓発に関する事項
- (4) 感染症患者の人権への配慮等に関する事項
- (5) 予防接種法(昭和23年法律第68号)結核予防法(昭和26年法律第96号)に基づき、知事が県内居住者に対し実施した予防接種に起因する事故原因の調査・究明に関する事項
- (6) 愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱(平成13年1月1日制定)に基づく感染症発生動向調査に関する事項

(組 織)

第3条 協議会は、委員16人以内で組織する。

(委 員)

第4条 協議会は、次に掲げる者のうちから、知事が委嘱し、又は任命する。

- (1) 社団法人愛媛県医師会の会員
- (2) 社団法人愛媛県獣医師会の会員
- (3) 感染症発生動向調査の専門家
- (4) 感染症対策の専門家
- (5) 第二種感染症指定医療機関の医師
- (6) 愛媛県予防接種センターの医師
- (7) 学識経験者
- (8) 感染症対策関係の行政担当者

2 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任させることができる。

(会 長)

第5条 協議会に会長を置く。

2 会長は、委員の互選によって定め、副会長は会長が指名した者をもって充てる。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会 議)

第6条 協議会は、会長が必要に応じ招集し会長が議長となる。

(解析評価担当委員)

第7条 愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱(平成13年1月1日制定)に規定する感染症発生動向調査にかかる情報の解析評価を担当する解析評価担当委員をおく。

2 解析評価担当委員は、会長が協議会の委員のうちから指名する。

(関係者の出席)

第8条 会長が必要と認めた時は、協議会の会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、保健福祉部健康衛生局健康増進課において処理する。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が、協議会に諮って定める。

附 則

この要領は、平成15年8月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成16年1月13日から施行する。

愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領

第一 趣旨

感染症の病原体に関する情報は、患者への良質かつ適切な医療の提供のために不可欠であり、かつ、感染症の発生の予防及びまん延の防止のために極めて重要な意義を有している。このことから、愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領を定め、病原体の検査情報を収集するものとする。

第二 病原体検査の対象感染症

愛媛県感染症発生動向調査事業において病原体検査の対象とする感染症は、次のとおりとする。

一 全数把握の対象

1 一類感染症

- (1) エボラ出血熱 (2) クリミア・コンゴ出血熱
(3) 重症急性呼吸器症候群（病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る）
(4) 痘そう (5) ペスト (6) マールブルグ病 (7) ラッサ熱

2 二類感染症

- (8) 急性灰白髄炎 (9) コレラ (10)細菌性赤痢 (11)ジフテリア (12)腸チフス
(13)パラチフス

3 三類感染症

- (14)腸管出血性大腸菌感染症

4 四類感染症

- (15) E型肝炎 (16)ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）
(18)エキノコックス症 (19)黄熱 (20)オウム病 (21)回帰熱 (22)Q熱 (23)狂犬病
(24)高病原性鳥インフルエンザ (25)コクシジオイデス症 (26)サル痘
(27)腎症候性出血熱 (28)炭疽 (29)つつが虫病 (30)デング熱
(31)ニパウイルス感染症 (32)日本紅斑熱 (33)日本脳炎
(34)ハンタウイルス肺症候群 (35)Bウイルス病 (36)ブルセラ症 (37)発しんチフス
(38)ボツリヌス症 (40)野兎病 (41)ライム病 (42)リッサウイルス感染症
(43)レジオネラ症 (44)レプトスピラ症

5 五類感染症

- (45)アメーバ赤痢 (47)急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）
(49)クロイツフェルト・ヤコブ病 (50)劇症型溶血性レンサ球菌感染症
(51)後天性免疫不全症候群 (53)髄膜炎菌性髄膜炎 (54)先天性風しん症候群
(56)破傷風 (57)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症
(58)バンコマイシン耐性腸球菌感染症

二 定点把握対象の五類感染症（病原体定点別）

1 小児科病原体定点

- (60)咽頭結膜熱 (61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (62)感染性胃腸炎
(64)手足口病 (67)百日咳 (69)ヘルパンギーナ (70)麻しん（成人麻しんを除く）
(71)流行性耳下腺炎

2 インフルエンザ病原体定点（内科病原体定点及び小児科病原体定点）

- (72)インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く）

3 眼科病原体定点

- (73)急性出血性結膜炎 (74)流行性角結膜炎

4 基幹病原体定点

(80)細菌性髄膜炎 (83)成人麻しん (84)無菌性髄膜炎

第三 病原体別検査実施機関

一 病原体別検査実施機関の分担

病原体によっては、施設面又は技術的に衛生環境研究所又は保健所で検査の実施が困難な場合があるため、国立感染症研究所、衛生環境研究所及び保健所で病原体検査を分担する。検査実施機関別の検査対象感染症は、別表1のとおりとする。

二 医療機関・医師

第二の一に掲げる検査対象感染症の患者を診断した医師は、保健所から病原体検査のための検体提供の依頼を受けた場合にあっては、可能な範囲において検体採取に協力するものとする。採取された検体は、別記様式2（愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱第五の一の1の(2)に定める様式をいう。以下同じ。）の検査票を添えて、速やかに保健所へ提出する。

三 病原体定点に選定された医療機関

第二の二に掲げる病原体定点の検査対象感染症の患者を診断した医師は、概ね第四に示した検体数について、第五の別表2に掲げる検査材料を採取する。採取された検体は、別記様式2の検査票を添えて、速やかに保健所へ提出する。

四 保健所

保健所は、医療機関における検体の採取や搬送に協力し、第二の一に掲げる検査対象感染症のうち(9)、(10)、(12)、(13)及び(14)の検体の提供を受けた場合は、可能な範囲において検査を実施し、その結果を診断した医師に通知する。その他の検体の提供を受けた場合は、別記様式2の検査票を添えて、検体を衛生環境研究所へ搬送する。

五 衛生環境研究所

- 1 衛生環境研究所は、検体と別記様式2の検査票が搬入された場合は、当該検体を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに本庁及び地方感染症情報センターに通知する。
- 2 衛生環境研究所において、検査の実施が困難な検体については、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。

六 地方感染症情報センター

- 1 地方感染症情報センターは、医療機関、保健所、衛生環境研究所等から得た病原体検査情報を、感染症検査情報オンラインシステムにより中央感染症情報センターへ送付する。
- 2 地方感染症情報センターは、病原体検査情報を患者発生動向調査等の関連情報とともに解析し、医療機関等関係機関へ還元する。

第四 定点把握の五類感染症の病原体検査検体数

定点把握の五類感染症の病原体検査検体数は、病原体定点の種別に応じて、年間1定点当たり概ね次のとおりとする。

一 小児科病原体定点

1 検査対象感染症につき、概ね10件以内の検体を採取する。

10 検体 × 8 検査対象感染症 = 80 件

二 インフルエンザ病原体定点

概ね月当たり10件以内で、インフルエンザ流行中の適当な時期に採取する。

10 検体 × 3 月 = 30 件

三 眼科病原体定点

1 検査対象感染症につき、概ね20件以内の検体を確保する。

20 検体 × 2 検査対象感染症 = 40 件

四 基幹病原体定点

1 検査対象感染症につき、概ね 20 件以内の検体を採取する。

20 検体 × 3 検査対象感染症 = 60 件

第五 採取すべき検査材料種別

病原体検査のために採取すべき検査材料は、別表 2 のとおりとする。

第六 病原体検査検体の採取、保存、輸送等

一 細菌感染症

1 採取方法

(1) 糞便

ア 抗生物質投与前の糞便の一部を滅菌綿棒で取り、輸送用培地（キャリーブリア培地等）の寒天部に深く差し込み密栓する。止むを得ない場合は、直腸スワブを採取し、前項と同様輸送用培地に綿棒を差し込み密栓する。

イ 検体採取後は、室温で保存し、速やかに検査に供する。遅くとも 24 時間以内に分離培養するのが望ましい。

(2) 鼻咽頭拭液

ア 滅菌綿棒で鼻腔又は咽頭部を十分に拭い、輸送用培地（キャリーブリア培地等）中に綿棒を深く差し込み、直ちにキャップを確実に閉める。

イ 検体採取後は、室温で保存し、24 時間以内に分離培養するのが望ましい。

(3) 脊髄液、血液

ア 髄液は、1 ~ 5 m l を無菌的に採取し、滅菌容器に入れ密栓する。

イ 血液は、2 ~ 5 m l を無菌的に採取し、直ちにカルチャーボトルに接種し、常温で輸送する。

2 保存及び輸送方法

(1) 検査材料は、容器から内容物が漏れないようにビニールテープ等で密栓する。所定の搬送用ボックスに入れ、できるだけ速やかに室温で搬送する。

(2) 検体は、冷凍での保存・搬送はしてはならない。

(3) 検査材料は、必要事項を記入した別記様式 2 の検査票と併せて検査実施機関に送付する。

二 ウイルス感染症

1 採取方法

(1) 糞便

ア できるだけ早期（急性期）に排泄直後の糞便を採取する。

イ ウイルス分離培養検査用は糞便 2 g（2 m l）を採取するか、又は滅菌綿棒で少量（0.1-0.2 g）をウイルス分離用保存液中に取り、よく攪拌後綿棒を取り除いて密栓する。

ウ 下痢症ウイルス検出用は、母指頭大（約 5 g）以上の排泄便を採取し密栓する。

(2) 鼻咽頭拭液

滅菌綿棒で鼻腔又は咽頭部を十分に拭い、ウイルス分離用保存液中でよく攪拌し、綿球部をよく絞ったのち綿棒を取り除いて密栓する。

(3) 咽頭うがい液

滅菌生理食塩水 8 ~ 10 m l を用い咽頭の奥でよくうがいをさせ、清浄なコップ等に吐き出されたうがい液を 5 m l のウイルス分離用保存液又は滅菌ブイヨン液に等量加え密

栓する。

(4) 髄液

1 ~ 5 m l を無菌的に採取し、滅菌容器に入れ密栓する。

(5) 水疱内溶液

水疱又は膿疱の表面をアルコール綿等で消毒し、毛細管、ツベルクリン注射器等で局所を突き刺して内容液を吸引し、ウイルス分離用保存液に入れ密栓する。

(6) 結膜擦過物

滅菌綿棒で下瞼結膜を強くこする。綿棒をウイルス分離用保存液中でよく振とうして擦過物を浮遊させた後、綿球部を管壁でよく絞ったのち綿棒を取り除いて密栓する。

(7) 血液、血清

ウイルス分離用の血液は、抗凝固剤（クエン酸又は EDTA）入り採血管に 5 ~ 10 m l を採取し、室温でできるだけ速やかに検査機関に搬送する。

血清免疫学的診断用の場合は、凝固剤入り採血管に 3 ~ 5 m l を採血する。30 分程度静置後 3000 rpm で遠心分離し、血清を滅菌セラムチューブ等に採取し、搬送するまで冷凍庫（- 25 以下）に保存する。

血清免疫学的診断には、急性期（発病 3 日以内）と回復期（発病後 2 ~ 3 週間後）のペア血清が必要なことが多い。

2 保存及び搬送方法

(1) 検体は、できるだけ速やかに検査実施機関に搬送する。

(2) 検体採取当日又は翌日に検査が可能な場合は、氷冷して保存・搬送する。

(3) 2 日以上保存する場合は、密封しドライアイスアセトン又は液体窒素で急速凍結した後、- 25 以下（できれば - 70 以下が望ましい）で冷凍保存する。

(4) 冷凍して搬送する場合は、断熱性の搬送用ボックスに入れ、ドライアイス又は寒剤（例：氷 75% + 食塩 25%）を使用し、搬送中に融解しないようにする。

(5) 保存又は搬送にドライアイスを使用する場合は、CO₂ ガスが容器に入り、pH が低下するのを防ぐため、検体容器をビニールテープでシールして密封する。

第七 その他

一 県は、県内の病原体に関する情報を統一的に収集し、分析し、及び公表する体制を構築するため、松山市と緊密な連携を図る。

二 この要領に定めるもののほか、病原体検査の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要領は、平成 13 年 1 月 1 日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 15 年 11 月 5 日から施行する。

別表 1 検査実施機関別検査対象感染症一覧表

検査対象感染症 検査実施機関		全 数 数 把 握 対 象				定点把握対象
一類感染症		二類感染症	三類感染症	四類感染症	五類感染症	五類感染症
国立感染症研究所	(1) エボラ出血熱 (2) クリミア・コンゴ出血熱 (4) 痘そう (5) ペスト (6) マールブルグ病 (7) ラッサ熱			(18) エキノコックス症 (19) 黄熱 (20) オウム病 (21) 回帰熱 (23) 狂犬病 (25) コクシジオイデス症 (26) サル痘 (27) 腎症候性出血熱 (30) デング熱 (31) ニパウイルス感染症 (34) ハンタウイルス肺症候群 (35) Bウイルス病 (36) ブルセラ病 (37) 発しんチフス (40) 野兔病 (41) ライム病 (42) リッサウイルス感染症 (44) レプトスピラ症	(49) クロイツツフェルト・ヤコブ病 (54) 先天性風しん症候群 (57) ハンコマイシン耐性腸球菌感染症 (58) ハンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
衛生環境研究所	(3) 重症急性呼吸器症候群（病原体がSARSウイルスであるものに限る）	(8) 急性灰白髄炎 (11) ジフテリア		(15) E型肝炎 (16) ウエストナイル熱（ウエストナイル熱を含む） (22) Q熱 (24) 高病原性インフルエンザ (28) 炭疽 (29) つつが虫病 (32) 日本紅斑熱 (33) 日本脳炎 (38) ボンリヌス症 (43) レジオネラ症	(45) アメーバ赤痢 (47) 急性脳炎（ウエストナイル熱及び日本脳炎を除く） (50) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (53) 髄膜炎菌性髄膜炎 (56) 破傷風	(60) 咽頭結核熱 (61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (62) 感染症胃腸炎 (64) 手足口病 (67) 百日咳 (69) ヘルペシギーナ (70) 麻しん（成人麻しんを除く） (71) 流行性耳下腺炎 (72) インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く） (73) 急性出血性結膜炎 (74) 流行性角結膜炎 (80) 細菌性髄膜炎 (83) 成人麻しん (84) 無菌性髄膜炎
中央保健所		(9) コレラ (10) 細菌性赤痢 (12) 腸チフス (13) パラチフス	(14) 腸管出血性大腸菌感染症		(51) 後天性免疫不全症候群	

別表2 感染症別の採取材料一覧表

	検査対象感染症名	病原体	危険度	採取検査材料								検査方法				検査担当機関
				血液・血清	咽頭拭液	糞便	髄液	結膜拭液	尿	水疱内容	剖検生検材料 / その他	培養法	抗原検出法	抗体検出法	遺伝子検出	
3	重症急性呼吸器症候群	V	L3								肺					衛環研
8	急性灰白髄炎	V	L2	S												衛環研
9	コレラ	B	L2													保健所
10	細菌性赤痢	B	L2													保健所
11	ジフテリア	B	L2	S												衛環研
12	腸チフス	B	L3													保健所
13	パラチフス	B	L3													保健所
14	腸管出血性大腸菌感染症	B	L2													保健所
15	E型肝炎		L2	S												衛環研
16	ウエストナイル熱		L3	S							脳					衛環研
18	エキノコックス症	条虫	L1	S							手術材料					感染研
19	黄熱	V	L3								肝臓					感染研
20	オウム病	クラミジア	L2								痰、気管吸引液					感染研
21	回帰熱	スピロヘータ	L3													感染研
22	Q熱	リケッチア	L3													衛環研
23	狂犬病	V	L3								脳、気管吸引液					感染研
24	高病原性鳥インフルエンザ	V	L3	S							肺、気管吸引液					衛環研
25	コクシジオイデス症	真菌	L3								痰、膿、肺					感染研
26	サル痘	V L3 扱い	L2	S												感染研
27	腎症候性出血熱	V	L3													感染研
28	炭疽	B	L3								痰、腹水、胸水					衛環研
29	つつが虫病	リケッチア	L3													衛環研
30	デング熱	V	L2													感染研
31	ニバウイルス感染症	V	L4	S												感染研
32	日本紅斑熱	リケッチア	L3													衛環研
33	日本脳炎	V	L2								脳					衛環研
34	ハンタウイルス肺症候群	V	L3													感染研
35	Bウイルス病	V	L3	S							皮膚病巣					感染研
36	ブルセラ病	B	L3													感染研
37	発しんチフス	リケッチア	L3								動物臓器					感染研
38	ボツリヌス症	B	L2	S							摂取食品					衛環研
40	野兔病	B	L3													感染研
41	ライム病	スピロヘータ	L3								皮膚病巣					感染研
42	リッサウイルス感染症	V	L3								脳					感染研
43	レジオネラ症	B	L2	S							痰、気管吸引液					衛環研
44	レプトスピラ症	スピロヘータ	L2													感染研
45	アメーバ赤痢	原虫	L2	S							肝臓、腸、肝					衛環研
47	急性脳炎	V、B	-													衛環研
49	クロイツフェルト・ヤコブ病	プリオン	-								膿、扁桃、脾臓等					感染研
50	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	B	L2								皮膚、腹水、胸水					衛環研
51	後天性免疫不全症候群	V	L3													保健所
53	髄膜炎菌性髄膜炎	B	L2													衛環研
54	先天性風しん症候群	V	L2								白内障レンズ					感染研
56	破傷風	B	L2	S							皮膚病巣					衛環研
57	バンコク耐性ブドウ球菌感染症		L2													感染研
58	バンコク耐性腸球菌感染症		L2													感染研
60	咽頭結膜熱	V	L2								痰、気管吸引液					衛環研
61	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	B	L2													衛環研
62	感染症胃腸炎	V、B	L2	S												衛環研
64	手足口病	V	L2	S												衛環研
67	百日咳	B	L2	S							痰、鼻咽頭分泌物					衛環研
69	ヘルパンギーナ	V	L2	S												衛環研
70	麻疹	V	L2								脳(SSPE)					衛環研
71	流行性耳下腺炎	V	L2	S												衛環研
72	インフルエンザ	V	L2	S							肺、脳					衛環研
73	急性出血性結膜炎	V	L2	S												衛環研
74	流行性角結膜炎	V	L2	S												衛環研
80	細菌性髄膜炎	B	L2													衛環研
83	成人麻疹	V	L2													衛環研
84	無菌性髄膜炎	V	L2	S												衛環研

(注) 病原体: B...細菌、V...ウイルス

血液・血清: S...血清、...全血液

検査担当機関: 感染研...国立感染症研究所、衛環研...衛生環境研究所、保健所...中央保健所

愛媛県感染症発生動向調査事業報告書
平成 16 年(2004 年)

平成 17 年 9 月発行

発 行 愛媛県感染症情報センター
(愛媛県立衛生環境研究所)
愛媛県松山市三番町 8 丁目 234 番地
電話(089)931-8757
